

平成 2 4 年度
秋田県産業廃棄物実態調査
フォローアップ調査報告書
(平成 2 3 年度実績)

平成 25 年 3 月

秋 田 県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査に関する基本的事項	1
第 3 節 調査の方法	6
第 4 節 調査結果の利用上の留意事項	9
第 5 節 標本抽出・回収結果	10
第 2 章 調査結果	12
第 1 節 結果の概要	12
第 2 節 排出状況	13
第 3 節 処理状況	17
第 3 章 業種別の調査結果	25
第 1 節 建設業	25
第 2 節 製造業	29
第 3 節 電気・水道業	33
第 4 節 その他の業種	36
第 4 章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物	39
第 1 節 農業からの産業廃棄物	39
第 2 節 鉱業からの産業廃棄物	40
第 3 節 農業・鉱業を含めた排出量	42
第 5 章 産業廃棄物の移動状況	43
第 1 節 産業廃棄物の移動状況の概要	43
第 2 節 県内発生産業廃棄物の移動状況	43
第 3 節 県外発生県内搬入産業廃棄物の移動状況	44
第 6 章 産業廃棄物の推移	47
第 1 節 前回調査との比較	47
第 2 節 目標の達成状況	49
第 7 章 産業廃棄物の将来の見込み	50
第 1 節 排出量の将来予測	50
第 2 節 処理量の将来予測	53

第 8 章	意識調査結果	55
第 1 節	産業廃棄物等の発生量の見込みについて	55
第 2 節	産業廃棄物の処理に関する課題について	56
第 3 節	処理困難な廃棄物について	57
第 4 節	産業廃棄物の発生抑制や減量化に関する取り組みについて	58
第 5 節	県内の産業廃棄物処理施設について	63
第 6 節	環境保全センターのあり方について	64
第 7 節	産業廃棄物税について	65
第 8 節	県への要望について	66
第 9 章	産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査結果	67
第 1 節	報告状況について	67
第 2 節	排出量について	68
第 3 節	地域別処分量について	70
第 4 節	平成 24 年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ調査との対比	71

参 考 資 料

＜統計表＞

＜産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査結果集計表＞

＜調査票等一式＞

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の目的

本調査は、秋田県内で排出される産業廃棄物の発生及び処理・処分の状況を調査し、産業廃棄物の発生量、処理量及び処理方法等を把握することを目的に実施した。

第 2 節 調査に関する基本的事項

1 調査対象期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 1 年間

2 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める以下の産業廃棄物とした。

なお、調査に当たっては、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて以下に示す種類に更に区分した。

調査対象廃棄物 () 内は、細区分。
①燃え殻、②汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）、③廃油（一般廃油、廃溶剤、その他）、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

- (1) 法令上廃棄物とされていない有償物で今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるもの（具体的には、金属スクラップなど）については、今回の調査対象に含めた。
- (2) 紙くず、木くず（木製パレットを除く）、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。
- (3) 酸性またはアルカリ性を呈する排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

(4) 廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

特別管理産業廃棄物については、以下に示す区分とした。

特別管理産業廃棄物
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類） ②廃酸（pH が 2.0 以下の廃酸） ③廃アルカリ（pH が 12.5 以上の廃アルカリ） ④感染性廃棄物 ⑤廃石綿等 ⑥特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

3 調査対象業種及び調査事業所数

調査対象業種は、日本標準産業分類（総務省）を基本とし、秋田県内に所在する事業所のうち、産業廃棄物が比較的多量に発生する業種を調査対象とした（表 1-2-1）。

なお、農業については、県関係部局の資料に基づく資料調査、また運輸業、卸・小売業等のその他の業種については、平成 22 年度秋田県産業廃棄物実態調査報告書の結果を使用した。

業種の表記については、平成 19 年 11 月改訂版に従った。ただし、一般機械器具製造業及び精密機械器具製造業については、平成 14 年 3 月改訂版に従った。

表 1-2-1 調査対象業種及び調査事業所数

大分類	中・小分類	抽出率	調査事業所数
建設業	全業種	4.0%	255
製造業	全業種	8.0%	326
電気・ガス・熱供給・水道業	電気業、ガス業、上水道業、下水道業	100.0%	59
合	計	6.1%	640

本報告書では、産業廃棄物の発生及び処理状況の特性を考慮し、一部の業種について中・小分類により細区分し表示した。なお、その際、一部の業種の名称を表 1-2-2 に示す略称を用いて表示した。

表 1-2-2 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
建設業	建設業
製造業	製造業
食料品製造業	食料品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
繊維・衣服・その他の繊維製品製造業	繊維
木材・木製品製造業（家具を除く）	木材・木製品
家具・装備品製造業	家具・装備品
パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
印刷・同関連業	印刷
化学工業	化学
石油製品・石炭製品製造業	石油製品
プラスチック製品製造業	プラスチック
ゴム製品製造業	ゴム製品
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
窯業・土石製品製造業	窯業・土石
鉄鋼業	鉄鋼
非鉄金属製造業	非鉄金属
金属製品製造業	金属製品
一般機械器具製造業	一般機械
電気機械器具製造業	電気機械
情報通信機械器具製造業	情報通信機械
電子部品・デバイス製造業	電子部品・デバイス
輸送用機械器具製造業	輸送機械
その他の製造業	その他
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
電気業	電気業
ガス業	ガス業
上水道業	上水道業
下水道業	下水道業

4 調査対象区域

調査対象区域は、秋田県全域とし、本調査においては、表 1-2-3 に示す構成市町村により 4 区分とした。

表 1-2-3 地域区分表

地 域 名	市 町 村 名
秋田市	秋田市
県北地域	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市 (鹿角郡) 小坂町 (北秋田郡) 上小阿仁村 (山本郡) 藤里町、三種町、八峰町
県央地域	男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市 (南秋田郡) 五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南地域	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市 (仙北郡) 美郷町 (雄勝郡) 羽後町、東成瀬村

5 発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 に示す発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、とりまとめた。

なお、図 1-2-1 に示した各項目の用語の定義は、表 1-2-4 に示すとおりである。

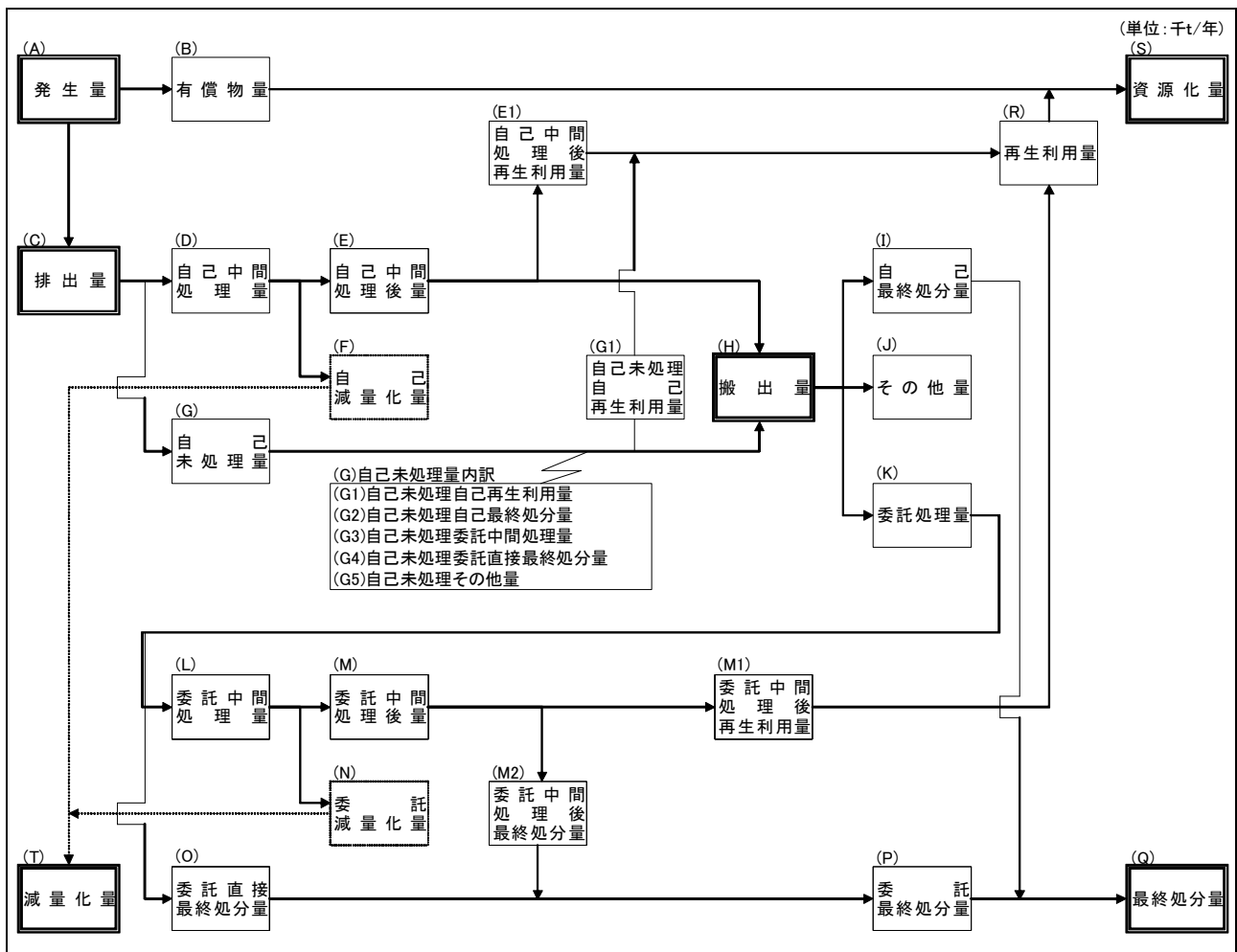


図 1-2-1 発生量及び処理状況の流れ図

表 1-2-4 発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	保管されている量、または、それ以外の量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者または、処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者または、処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1 調査方法の概要

調査は、郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料により行い、回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量に関連した指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の発生量等を推定した。

総事業所数	55,433事業所（平成21年経済センサス-基礎調査）
調査対象事業所数	10,515事業所
アンケート送付事業所数	640事業所
回収事業所数①	462事業所（転居等による未着を含む）
回収率①	72.2%
回収事業所数②	458事業所（転居等による未着を除く）
回収率②	71.6%
有効回答数	443事業所

本調査においては、発生業種の特性等を勘案し、各業種毎に次に示す調査方法を基本とした。

表 1-3-1 調査方法

業種	調査方法			備考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業			○	第4章参照
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿を基に、浄水場、下水処理場を全数抽出し、すべての施設より回答を得た。 よって、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いた。

注 1) 全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するために特定の業種及び事業所等に対して、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注 2) 標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からの報告の徴収やアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。

注 3) 資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

2 標本調査について

(1) 標本抽出方法

標本調査の抽出は、平成 21 年経済センサス-基礎調査名簿を基に、業種別、従業者規模別等に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-2 標本抽出方法

業 種	標本抽出方法等
建設業	・ 資本金 3000 万円以上の企業を全数抽出 ・ 平成 21 年度産業廃棄物排出量が 100 t 以上の企業を全数抽出
製造業	・ 平成 21 年経済センサス-基礎調査に登録された従業者 50 人以上の事業所を全数抽出 ・ 平成 21 年度産業廃棄物排出量が 100 t 以上の事業所を全数抽出
電気・水道業	電気業、ガス業 ・ 平成 21 年経済センサス-基礎調査から火力発電所、電柱置場、ガス製造施設を抽出 上下水道業 ・ 関係部局の名簿を基に、浄水場、下水処理場を全数抽出

(2) アンケート調査項目

調査票の項目は、活動量指標値と廃棄物の発生及び処理状況に関する項目とし、調査票の形式は、産業廃棄物の発生及び処理状況の特性を考慮し、①建設業、②製造業等の 2 種類とした。

調査票の項目及び形式の詳細は、本報告書の調査票一式を参照。

(3) 発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推定方法

1) 発生原単位の算出

発生原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、産業廃棄物の種類別の集計産業廃棄物発生量と、業種別の集計活動量指標から、図 1-3-1 に示す A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量（発生原単位）を算出した。

2) 調査対象全体の発生量の推定方法

1) で算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図 1-3-1 に示す B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

①発生原単位の算出

A式 $\alpha = W / O$ α : 産業廃棄物の発生原単位
 W : 標本に基づく集計産業廃棄物発生量
 O : 標本に基づく集計活動量指標

②調査対象全体の発生量の推定方法

B式 $W' = \alpha \times O'$ W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物発生量
 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図 1-3-1 発生原単位と発生量の推定計算の概念図

3) 活動量指標

標本調査対象業種において、母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表 1-3-3 業種別の活動量指標

産業分類	活動量指標等	出典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査結果表（経済産業省）

第4節 調査結果の利用上の留意事項

1 産業廃棄物の種類の区分について

発生時の廃棄物の種類に対し、中間処理により廃棄物の種類が変化する場合がある。そのため、本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で設定した。

1 段階	発生時点の種類
2 段階	排出事業者の中間処理により、変化した処理後の種類。 例；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 注）1段階時点の種類と事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3 段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類。 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

本報告書における廃棄物の種類別の記載の中で、各段階における種類を中間処理後の変化した種類で集計した場合には「種類別：変換」と表記し、変化する前（発生時）の種類で集計した場合には「種類別：無変換」と表記した。

2 建設業の地域区分について

建設業の推計計算を行うために、活動量指標として元請完成工事高を用いたが、この母集団値は県全体値のみが入手可能で、地域別の値は公表されていない。したがって、建設業の場合は、原単位法に基づく推計計算は県全体についてのみ可能であるが、本報告書では、産業廃棄物の発生量及び処理・処分量について、建設業の全体量を地域別の人口数で按分することにより、各地域別の量を算出した。

3 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千 t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千ト」で記述している。

（2）報告書の図表における数値の処理

本報告書に記載されている千ト表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。なお、表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500t/年未満であることを示している。

（3）統計表における数値の処理

統計表で使用した単位は、「千 t/年」である。なお、表中の空欄は該当値がないものの、「0」表示は500t/年未満であることを示している。

4 農業・鉱業の取り扱い

農業・鉱業については、前回調査との整合性等から、第4章にて、これらを含めた排出状況を記載し、第2～3章、第5～7章については、これらを除き取りまとめている。

第5節 標本抽出・回収結果

秋田県内に所在する総事業所数 55,433 件（平成 21 年経済センサス-基礎調査）の母集団から産業廃棄物が比較的多量に発生する業種を選定し、アンケート調査により母集団から発生する産業廃棄物推定を実施した。

アンケート調査の対象となる母集団事業所数は 10,515 件である。

このうち、業種並びに規模、地域別の特性等を考慮して、業種別、従業者規模別、地域別の抽出率を設定し、640 件（抽出率 6.1%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

転居及び廃業等の未着を含めた回収調査票の総数は 462 件（回収率 72.2%）であり、回収された調査票は 458 件（回収率 71.6%）である。このうち、廃業及び休業（建設業においては、元請工事がない場合）している事業所の調査票等を除いた有効調査票は、443 件である。

アンケート調査で回収された調査票から集計された産業廃棄物量は 1,797 千トンであり、原単位法により推計された総産業廃棄物量(1,903 千トン)に対する補足率は 94.4%である。

抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりである。

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽 出 事業所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回 収 事業所数	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有 効 調査表	(G) 集 計 活動量 指標値	(H) 母集団 の 活動量 指標値	(I) 指 標 かパー率 (G)÷(H)	(J) 集 計 廃棄物量	(K) 推 計 廃棄物量	(L) 捕捉率 (J)÷(K)
合計	10,515	640	6.1%	458	71.6%	443	-	-	-	1796.8	1,902.8	94.4%
建設業	6,396	255	4.0%	166	65.1%	164	99,158	359,657	27.6%	284.1	377.8	75.2%
製造業	4,060	326	8.0%	233	71.5%	220	574,138	1,085,217	52.9%	637.6	649.8	98.1%
食料品	690	25	3.6%	13	52.0%	13	25,575	86,670	29.5%	9.8	12.2	80.4%
飲料・飼料	80	4	5.0%	4	100.0%	4	12,215	19,522	62.6%	4.0	4.0	98.4%
繊維	553	49	8.9%	31	63.3%	29	10,373	42,601	24.3%	1.4	2.1	65.6%
木材・木製品	385	13	3.4%	11	84.6%	11	34,903	52,596	66.4%	114.8	115.5	99.4%
家具・装備品	341	6	1.8%	4	66.7%	4	7,157	7,157	100.0%	1.6	1.6	100.0%
パルプ・紙	34	5	14.7%	3	60.0%	3	36,966	39,885	92.7%	296.5	296.5	100.0%
印刷	215	5	2.3%	4	80.0%	4	1,898	9,899	19.2%	0.1	0.2	67.6%
化学	29	7	24.1%	7	100.0%	7	49,561	78,421	63.2%	9.7	9.7	99.5%
石油製品	26	2	7.7%	2	100.0%	2	120	4,790	2.5%	0.1	5.1	2.5%
プラスチック	63	7	11.1%	5	71.4%	5	9,111	21,998	41.4%	4.0	4.1	97.1%
ゴム製品	20	5	25.0%	2	40.0%	2	1,437	4,423	32.5%	0.3	0.6	53.8%
皮革	92	3	3.3%	2	66.7%	2	2,382	3,013	79.1%	0.0	0.0	100.0%
窯業・土石	180	13	7.2%	13	100.0%	13	24,161	28,671	84.3%	15.0	15.0	99.6%
鉄鋼	31	7	22.6%	6	85.7%	5	11,536	20,813	55.4%	11.0	11.1	99.3%
非鉄金属	31	11	35.5%	8	72.7%	7	29,241	37,915	77.1%	113.4	113.8	99.7%
金属製品	320	23	7.2%	16	69.6%	15	23,306	48,097	48.5%	9.8	10.3	95.1%
一般機械	358	40	11.2%	29	72.5%	28	136,669	162,186	84.3%	10.4	10.8	96.9%
電気機械	85	11	12.9%	7	63.6%	6	10,073	23,567	42.7%	0.7	0.9	81.6%
情報通信機械	33	10	30.3%	7	70.0%	5	24,251	26,950	90.0%	6.3	6.4	99.0%
電子部品・デバイス	156	60	38.5%	44	73.3%	42	192,432	296,745	64.8%	21.5	22.2	96.8%
輸送機械	49	15	30.6%	12	80.0%	10	51,807	60,662	85.4%	6.5	7.1	90.8%
その他	289	5	1.7%	3	60.0%	3	8,636	8,636	100.0%	0.6	0.6	100.0%
電気業	59	59	100.0%	59	100.0%	59	-	-	-	875.2	875.2	100.0%
電気業	6	6	100.0%	6	100.0%	6	-	-	-	433.4	433.4	100.0%
ガス業	3	3	100.0%	3	100.0%	3	-	-	-	0.0	0.0	100.0%
上水道業	21	21	100.0%	21	100.0%	21	-	-	-	35.3	35.3	100.0%
下水道業	29	29	100.0%	29	100.0%	29	-	-	-	406.4	406.4	100.0%

(活動量指標の内容)建設業:元請完成工事高等(百万円) 製造業:製造品出荷額(百万円) その他の業種:従業者数(人)

第 2 章 調査結果

平成 23 年度に秋田県で発生した産業廃棄物の推計結果は以下のとおりである。

第 1 節 結果の概要

発生量は 1,937 千トンで、有償物量は 130 千トン、有償物量を除いた排出量は 1,806 千トン、搬出量は 960 千トンとなっている。

表 2-1-1 発生・排出、処理状況

(単位:千t/年)

発 生 量	有償物量	排 出 量	搬 出 量
1,937 (100.0%)	130 (6.7%)	1,806 (93.3%)	960 (49.6%)

※搬出量とは、排出事業所内で減量（再生利用又は中間処理による減量化）
された量を除いたもの。
（ ）内のパーセントは発生量に対する割合である。

平成 23 年度の排出量に対する再生利用量の割合（以下、再生利用率という）は 39.3%、
減量化量の割合（以下、減量化率という）は 46.0%、最終処分量の割合（以下、最終処分
率という）は 13.5%となっている。

表 2-1-2 処理・処分状況

(単位:千t/年)

排 出 量	再生利用量	減 量 化 量	最終処分量	そ の 他 量
1,806 (100.0%)	711 (39.4%)	830 (46.0%)	245 (13.5%)	20 (1.1%)

※（ ）内のパーセントは排出量に対する割合である。

第2節 排出状況

1 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が789千トン（43.7%）で最も多く、次いで、がれき類が325千トン（18.0%）、以下、ばいじんが315千トン（17.4%）、木くずが128千トン（7.1%）等となっている。

なお、汚泥は排出時においては多量であるが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出量ベースでみると7.4%（71千トン）となる。

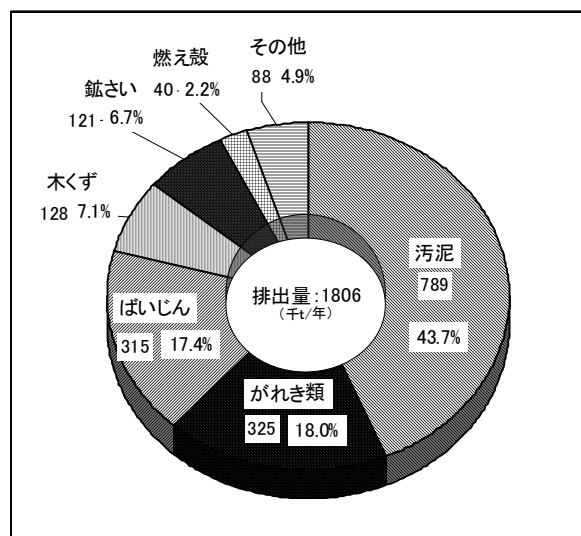


図 2-2-1 種類別排出量

表 2-2-1 種類別の排出状況

(単位: 千t/年)

種類: 変換	発 生 量	排 出 量	搬 出 量
合 計	1,937 (100.0%)	1,806 (100.0%)	960 (100.0%)
汚 泥	881 (45.5%)	789 (43.7%)	71 (7.4%)
が れ き 類	325 (16.8%)	325 (18.0%)	293 (30.6%)
ば い じ ん	323 (16.7%)	315 (17.4%)	314 (32.7%)
木 く ず	138 (7.1%)	128 (7.1%)	26 (2.7%)
鉍 さ い	121 (6.3%)	121 (6.7%)	121 (12.6%)
燃 え 殻	41 (2.1%)	40 (2.2%)	55 (5.7%)
廃プラスチック類	34 (1.8%)	34 (1.9%)	30 (3.2%)
廃 油	22 (1.1%)	11 (0.6%)	11 (1.1%)
そ の 他	51 (2.6%)	43 (2.4%)	38 (4.0%)

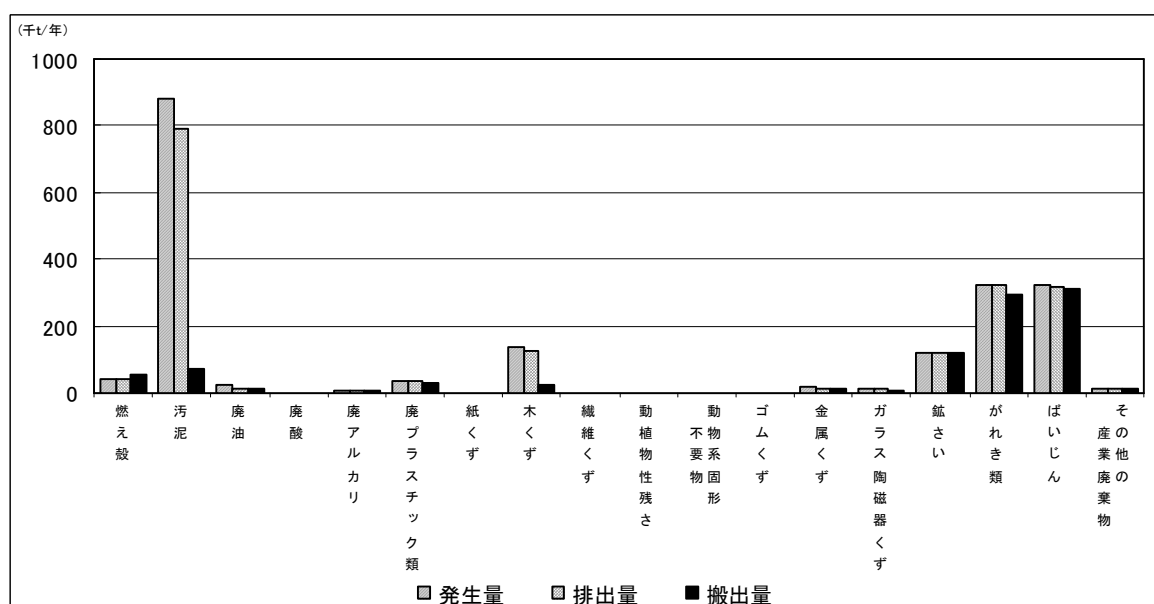


図 2-2-2 種類別の発生量、排出量、搬出量

2 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が 775 千トン（42.9%）で最も多く、以下、製造業が 627 千トン（34.7%）、建設業が 377 千トン（20.9%）となっており、この 3 業種で排出量全体の 98.5%を占めている。

なお、電気・水道業（下水道汚泥）からの汚泥は、自己中間処理により大幅に減量する。このため、下水道業は 406 千トンであるが、自己中間処理による減量化及び自己再生利用量を除いた搬出量でみると 37 千トンとなっている。

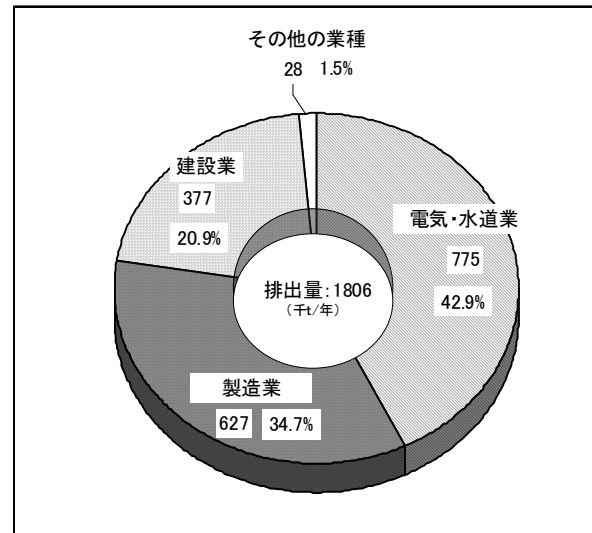


図 2-2-3 業種別排出

表 2-2-2 業種別の排出状況

(単位: 千t/年)

	発 生 量	排 出 量	搬 出 量
合 計	1,937 (100.0%)	1,806 (100.0%)	960 (100.0%)
電 気 ・ 水 道 業	875 (45.2%)	775 (42.9%)	374 (38.9%)
製 造 業	650 (33.6%)	627 (34.7%)	221 (23.0%)
建 設 業	378 (19.5%)	377 (20.9%)	342 (35.6%)
そ の 他 の 業 種	34 (1.7%)	28 (1.5%)	24 (2.5%)

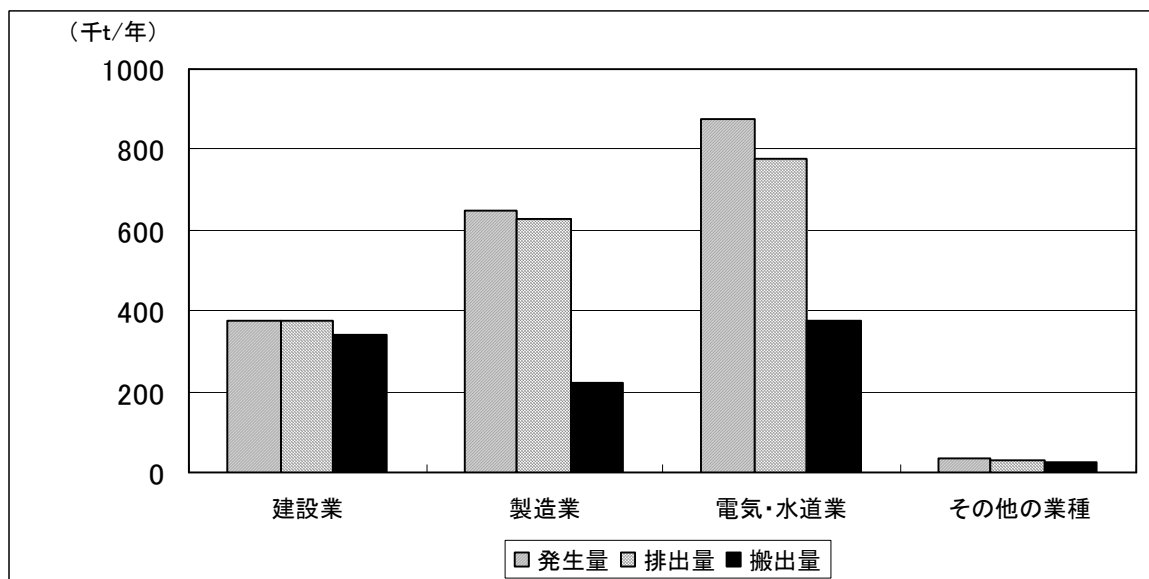


図 2-2-4 業種別の発生量、排出量、搬出量

3 業種別・種類別の排出状況

業種別・種類別の排出量は、表 2-2-3 のとおりである。

表 2-2-3 業種別・種類別の排出状況

(単位:千t/年)

業種 種類	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種	合計
燃え殻		6	35	0	40
汚泥	8	329	439	9	785
廃油	0	5	0	4	8
廃酸		1	0	0	1
廃アルカリ		6		0	6
廃プラスチック類	11	15	0	8	34
紙くず	0			0	0
木くず	24	104	0	0	128
繊維くず	0	1			1
動植物性残さ		2			2
動物系固形不要物		0			0
ゴムくず		0		0	0
金属くず	4	3	0	3	10
ガラス陶磁器くず	5	6	0	0	11
鉱さい		121			121
がれき類	320	2	4	0	325
ばいじん		17	297		315
その他(混合物等)	5	0	0	2	8
特別管理産業廃棄物	0	9	0	2	11
汚泥	0	4	0	0	4
廃油	0	3	0	0	3
廃酸	0	1	0	0	1
廃アルカリ	0	1	0		1
鉱さい	0	0	0		0
廃石綿等	0	0	0		0
感染性廃棄物		0		2	2
合計	377	627	775	28	1806

4 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、秋田市が 810 千トン（44.9%）で最も多く、以下、県北地域が 643 千トン（35.6%）、県央地域が 145 千トン（8.0%）、県南地域が 208 千トン（11.5%）となっている。

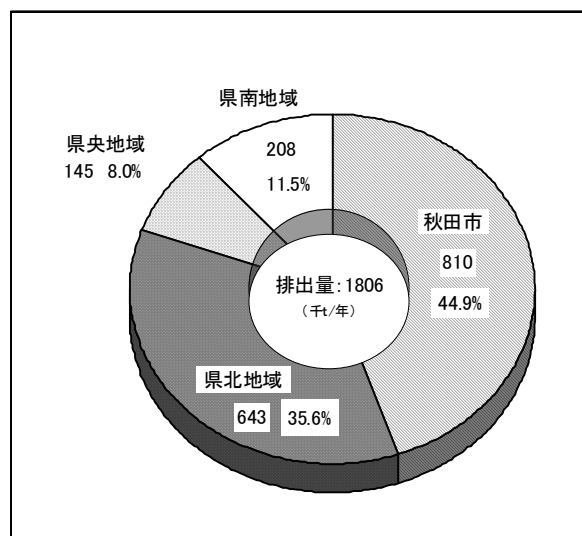


図 2-2-5 地域別排出量の内訳

表 2-2-4 地域別の排出状況

(単位: 千t/年)

	秋田市	県北地域	県央地域	県南地域	計
発生量	813 (42.0%)	754 (38.9%)	151 (7.8%)	218 (11.3%)	1,937 (100.0%)
排出量	810 (44.9%)	643 (35.6%)	145 (8.0%)	208 (11.5%)	1,806 (100.0%)
搬出量	195 (20.3%)	544 (56.7%)	101 (10.5%)	120 (12.5%)	960 (100.0%)

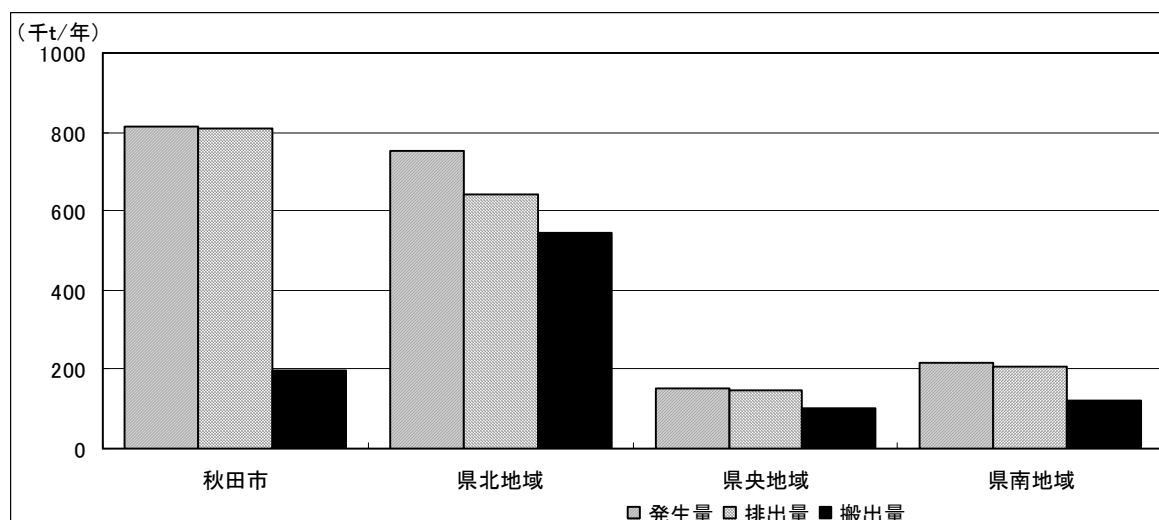


図 2-2-6 地域別の発生量、排出量、搬出量

第3節 処理状況

1 処理・処分状況の概要

平成23年度の1年間に秋田県内で発生した産業廃棄物の発生量は1,937千トンで、有償物量は130千トン、排出量は1,806千トンとなっている。

排出量1,806千トンのうち、排出事業者自らの中間処理による減量(771千トン)及び再生利用による減量(73千トン)を除いた搬出量は960千トン(排出量の53.2%)となっている。

搬出量960千トンは、自己最終処分量(113千トン)及び委託処理量(827千トン)に区分される。

委託処理量827千トンのうち、業者中間処理による減量化量が59千トン、再生利用量が636千トン、最終処分量が132千トンとなっている。

県内で排出した産業廃棄物は最終的に、減量化量が830千トン(排出量の46.0%)、再生利用量が709千トン(同39.3%)、最終処分量が245千トン(同13.5%)となっている。

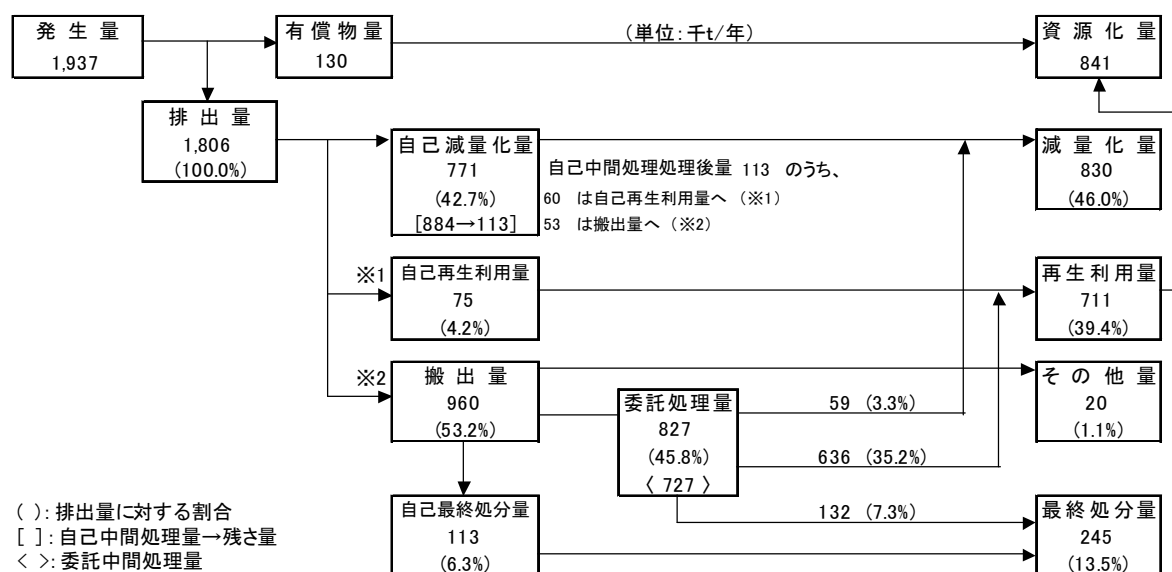


図 2-3-1 処理・処分状況

2 種類別及び業種別にみた再生利用率、減量化率、最終処分率

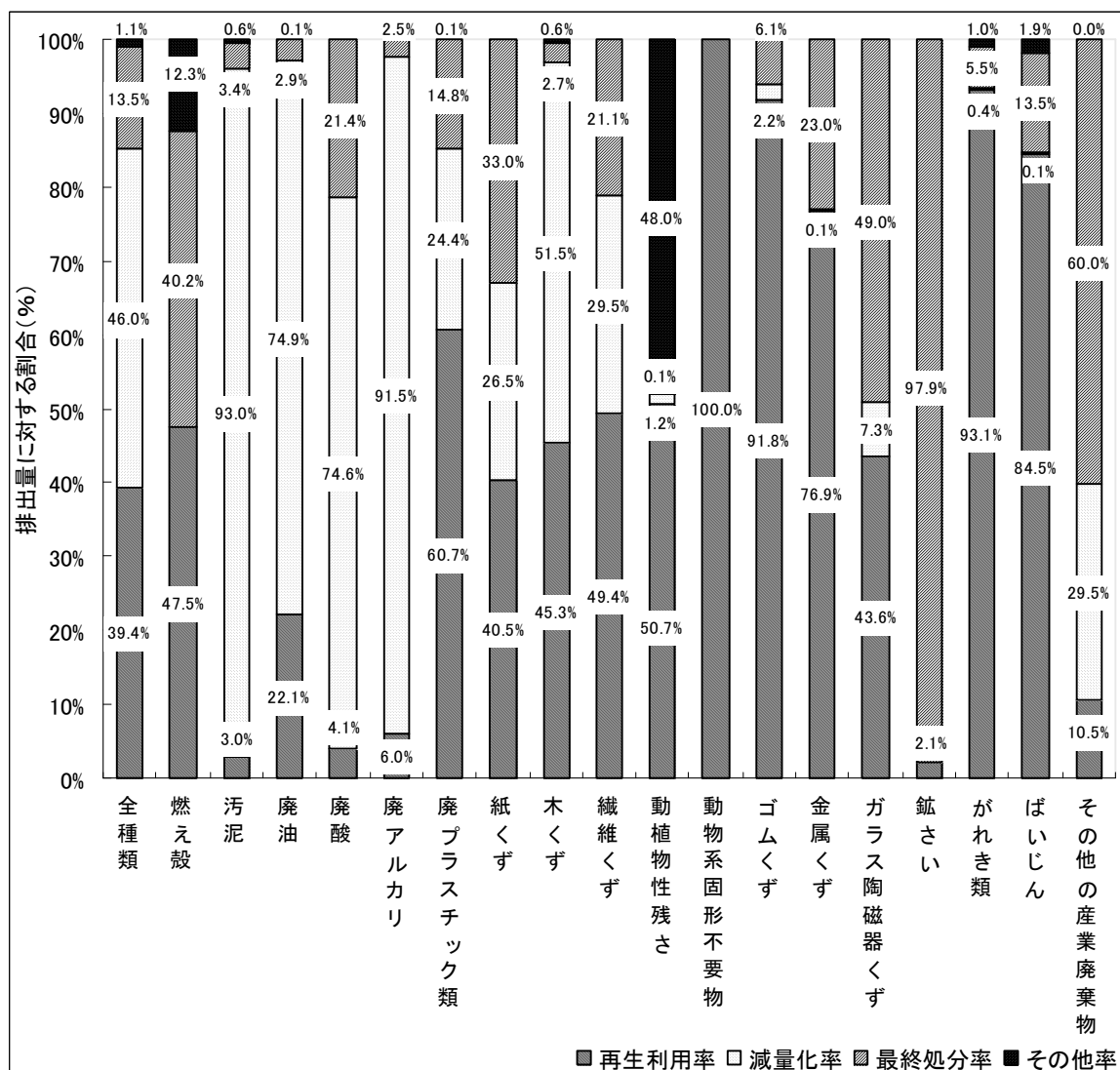


図 2-3-2 種類別の排出量に対する再生利用率、減量化率、最終処分量の構成比

排出量に対する再生利用率、減量化率、最終処分量の構成比を種類別にみると、図 2-3-2、図 2-3-3 に示すとおりである。

表 2-3-1 種類別の排出量に対する再生利用率、減量化率、最終処分量

種類:無変換 (千t/年)	全種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排 出 量	1,806	40	789	11	2	7	34	0	128	1	2	0	0	10	11	121	325	315	9
再生利用量	711	19	23	3	0	0	21	0	58	0	1	0	0	8	5	3	303	266	1
減 量 化 量	830		734	9	1	6	8	0	66	0	0		0	0	1		1	0	3
最終処分量	245	16	27	0	0	0	5	0	3	0	0		0	2	5	118	18	42	6
そ の 他 量	20	5	4	0		0	0		1		1						3	6	0

注) 例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。
しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

(参考)

発 生 量	1,937	41	881	22	2	7	34	0	138	1	2	0	0	18	11	121	325	323	9
有 償 物 量	131	0	92	10		0	0	0	10	0	0			8	0	1	1	8	0

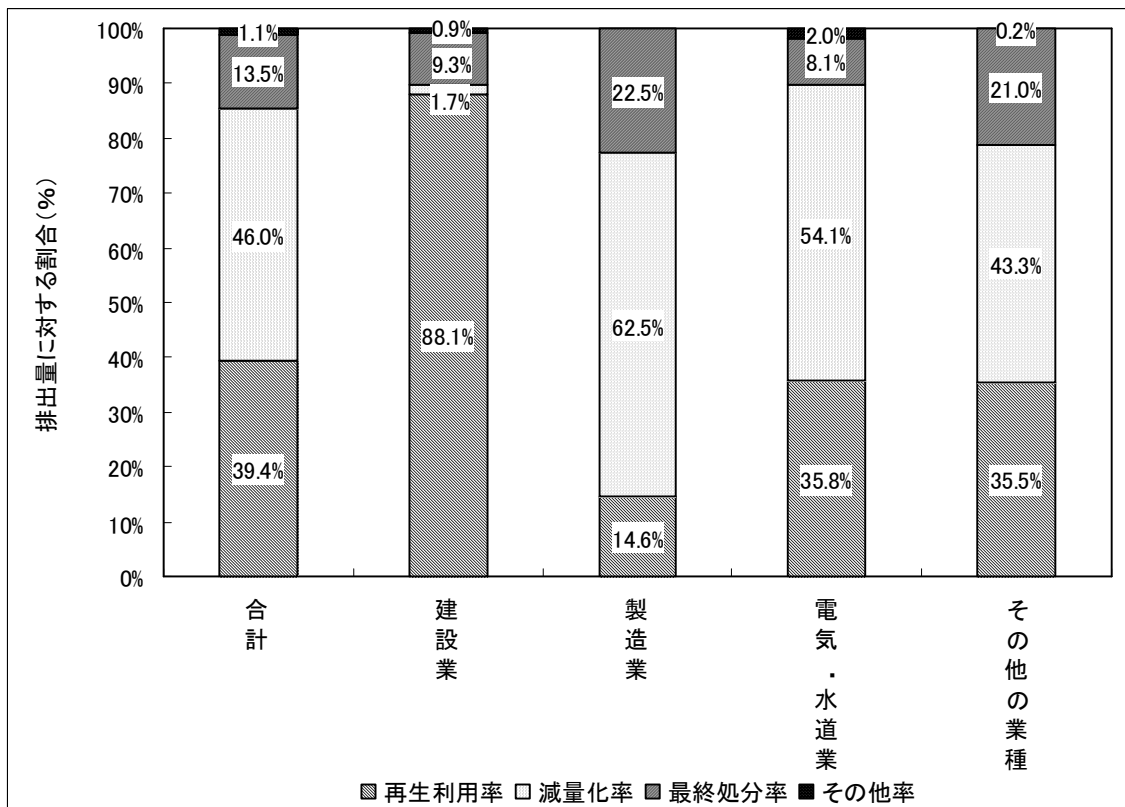


図 2-3-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

表 2-3-2 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量

業種 (千t/年)	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
排出量	1,806	377	627	775	28
再生利用量	711	332	92	278	10
減量化量	830	6	392	420	12
最終処分量	245	35	141	63	6
その他量	20	3	2	15	0

(参考)

発生量	1,937	378	650	875	34
有償物量	130	1	23	100	6

3 自己中間処理状況

自己中間処理量は 882 千トンとなっており、排出量の 48.9%を占めている。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合でみると、汚泥が 95.7%で最も高く、以下、木くずが 73.5%、ガラス陶磁器くずが 29.7%となっている。

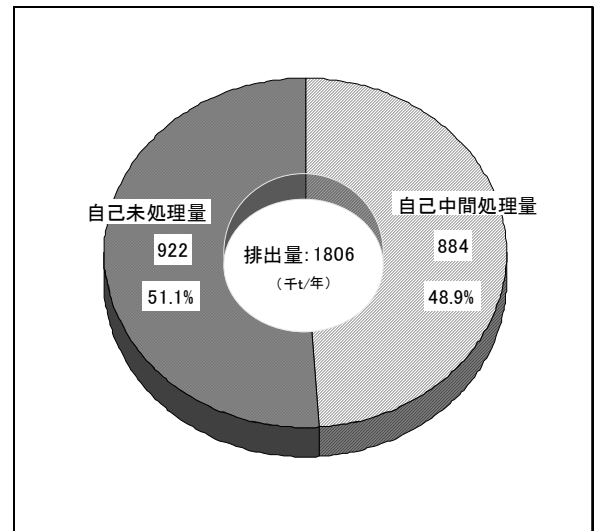


図 2-3-4 中間処理及び自己未処理量の構成

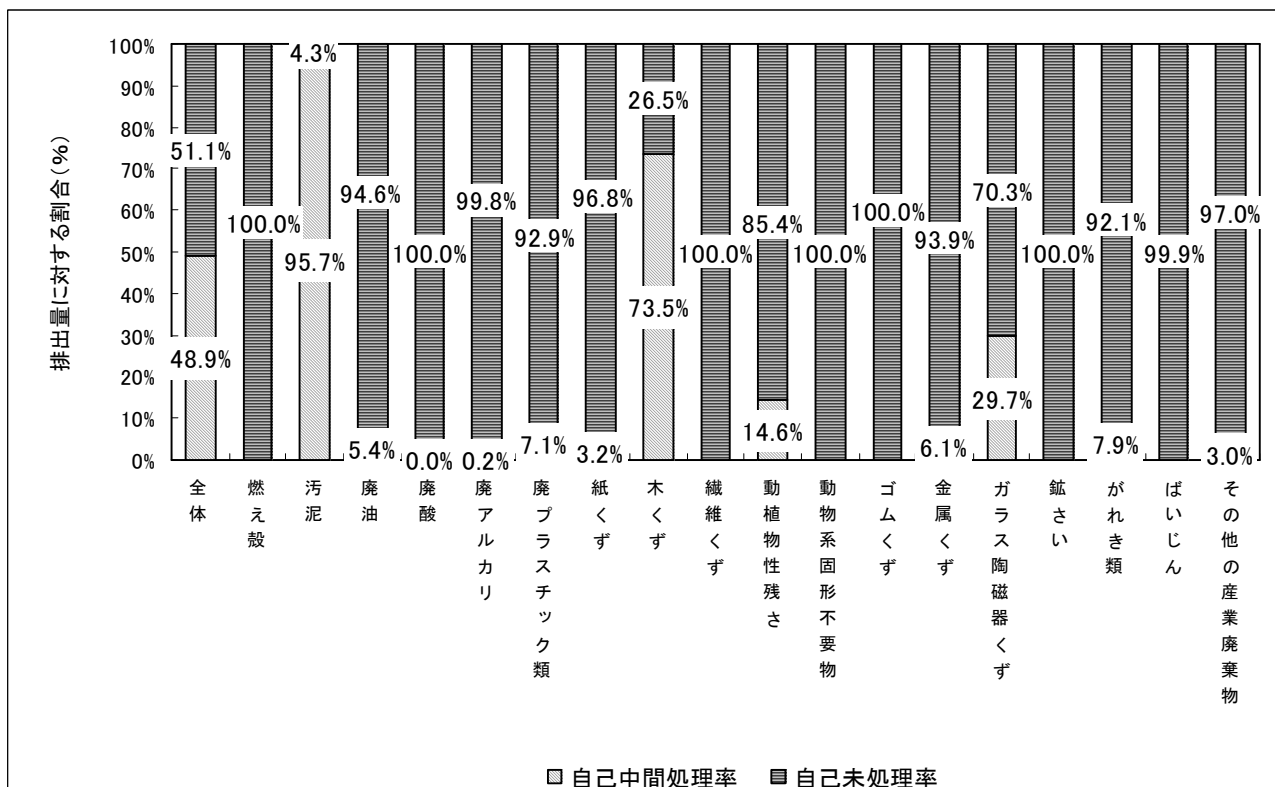


図 2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量の構成比

表 2-3-3 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量

種類:無変換 (千t/年)	計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	1,806	40	789	11	2	7	34	0	128	1	2	0	0	10	11	121	325	315	9
自己中間処理量	884		755	1		0	2	0	96		0			1	3		26	0	0
(自己減量化量)	(771)		(702)	(1)		(0)	(2)		(64)					(0)	(1)		(1)	(0)	(0)
自己未処理量	922	40	34	11	2	7	31	0	32	1	2	0	0	9	8	121	300	314	9

4 委託処理状況

委託処理量は 827 千トンであり、排出量の 45.8%を占めている。

種類別にみると、ばいじんが 308 千トン（37.3%）で最も多く、以下、がれき類が 290 千トン（35.1%）、汚泥が 64 千トン（7.7%）となっている。

委託処理量 827 千トンのうち、委託直接最終処分量は 100 千トン（委託処理量の 12.1%）、委託中間処理量は 727 千トン（同 87.9%）となっている。

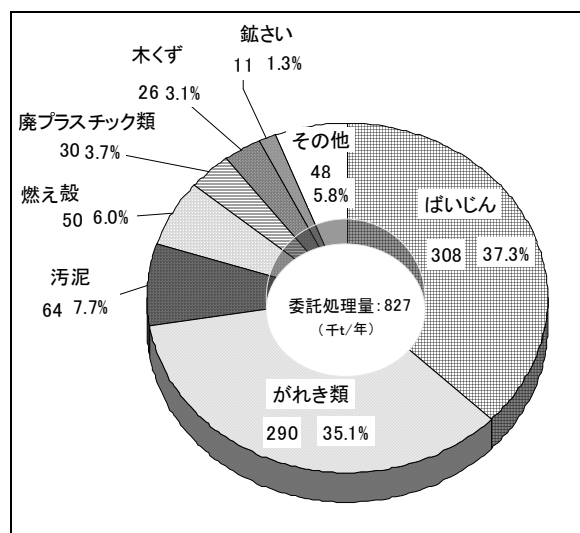


図 2-3-6 種類別委託処理量の構成比

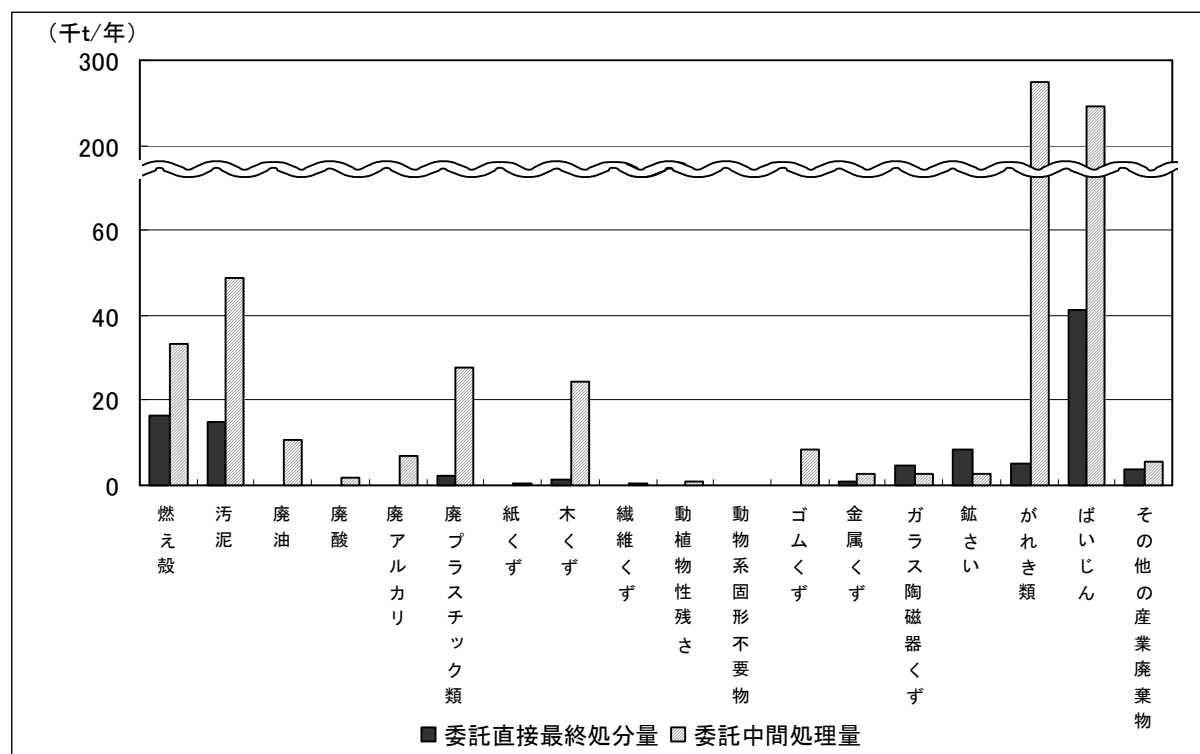


図 2-3-7 種類別の委託処理量

表 2-3-4 種類別の委託処理量

種類: 変換 (千t/年)	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
委託処理量	50	64	11	2	7	30	0	26	1	1	0	0	9	8	11	290	308	9	827
計	(6.0%)	(7.7%)	(1.3%)	(0.2%)	(0.8%)	(3.7%)	(0.0%)	(3.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.1%)	(0.9%)	(1.3%)	(35.1%)	(37.3%)	(1.1%)	(100.0%)
委託直接最終処分量	17	15				3	0	1	0				1	5	8	5	42	4	100
	(2.0%)	(1.8%)				(0.3%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)				(0.1%)	(0.6%)	(1.0%)	(0.6%)	(5.0%)	(0.4%)	(100.0%)
委託中間処理量	33	49	11	2	7	28	0	24	1	1	0	0	9	3	3	285	267	6	727
	(4.6%)	(6.7%)	(1.5%)	(0.3%)	(1.0%)	(3.8%)	(0.0%)	(3.4%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.2%)	(0.4%)	(0.4%)	(39.2%)	(36.7%)	(0.8%)	(100.0%)

5 最終処分状況

最終処分量は 245 千トンとなっており、排出量の 13.5%を占めている。

種類別にみると、鉱さいが 118 千トン（48.2%）で最も多く、以下、ばいじんが 42 千トン（17.0%）、燃え殻が 25 千トン（10.4%）、汚泥が 22 千トン（8.8%）となっている。

最終処分量 245 千トンの処理を主体別にみると、排出事業者自らの自己最終処分量が 113 千トン（最終処分量の 46.1%）、処理業者及び県市町村等の自治体による最終処分量が 132 千トン（同 53.9%）となっている。

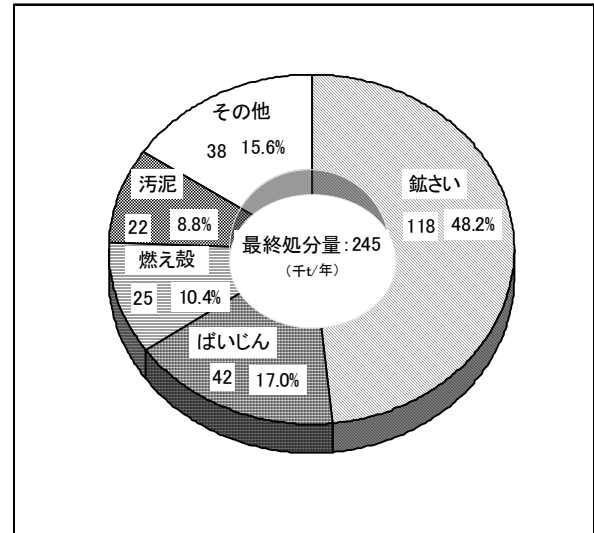


図 2-3-8 種類別最終処分量の構成比

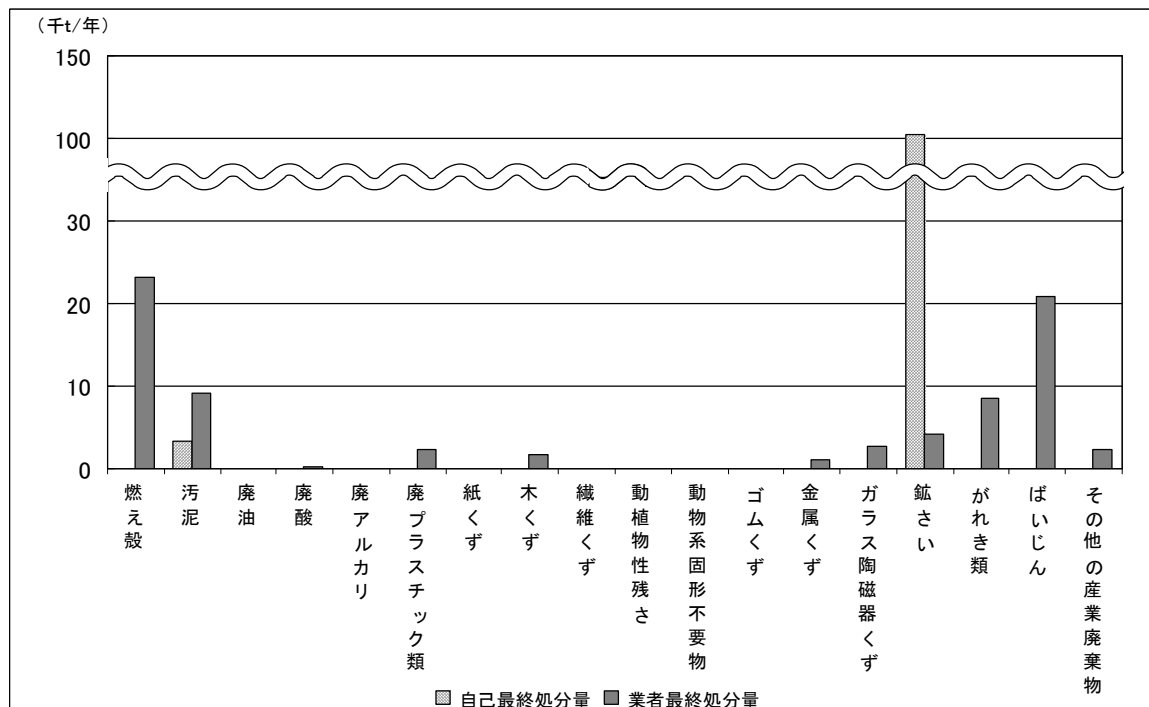


図 2-3-9 種類別の最終処分量

表 2-3-5 種類別の最終処分量

種類:変換 (千t/年)	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
最終処分量計	25 (10.4%)	22 (8.8%)	0 (0.1%)	0 (0.2%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (1.4%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)	2 (0.9%)	5 (2.1%)	118 (48.2%)	17 (7.0%)	42 (17.0%)	5 (1.9%)	245 (100.0%)
自己最終処分量	0 (0.0%)	3 (2.9%)													110 (97.1%)				113 (100.0%)
業者最終処分量	25 (19.3%)	18 (13.9%)	0 (0.1%)	0 (0.3%)	0 (0.1%)	5 (3.5%)	0 (0.1%)	3 (2.5%)	0 (0.1%)			0 (0.0%)	2 (1.7%)	5 (4.0%)	8 (6.3%)	17 (13.0%)	42 (31.6%)	5 (3.5%)	132 (100.0%)

* :業者最終処分量に県営処分場及び自治体処分場処分量を含む

6 再生利用状況

再生利用量は 709 千トンとなっており、排出量の 39.3%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 303 千トン（42.7%）で最も多く、以下、ばいじんが 266 千トン（37.5%）、木くずが 56 千トン（7.9%）、汚泥が 23 千トン（3.3%）となっている。

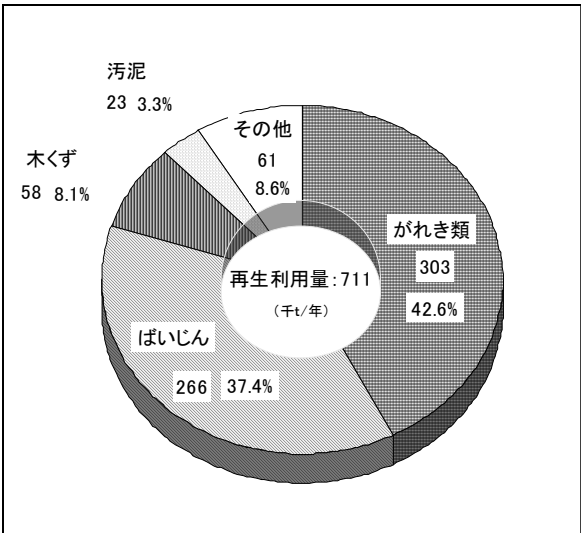


図 2-3-10 種類別の再生利用量の構成

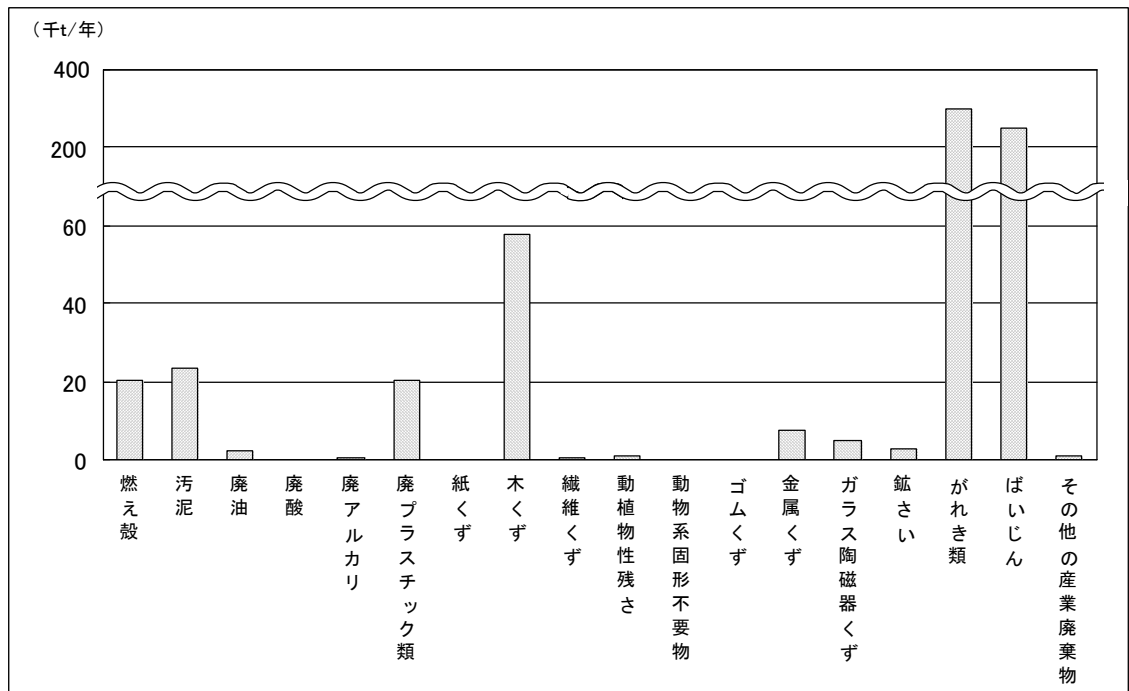


図 2-3-11 種類別の再生利用量

表 2-3-6 種類別の再生利用量

種類:変換 (千t/年)	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
排出量	40 (2.2%)	789 (43.7%)	11 (0.6%)	2 (0.1%)	7 (0.4%)	34 (1.9%)	0 (0.0%)	128 (7.1%)	1 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.6%)	11 (0.6%)	121 (6.7%)	325 (18.0%)	315 (17.4%)	9 (0.5%)	1,806 (100.0%)
再生利用量	20 (2.8%)	23 (3.3%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	20 (2.8%)	0 (0.0%)	58 (8.1%)	0 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (1.1%)	5 (0.7%)	3 (0.4%)	303 (42.6%)	266 (37.4%)	1 (0.1%)	711 (100.0%)

7 発生量及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 2-3-12 に示すとおりである。

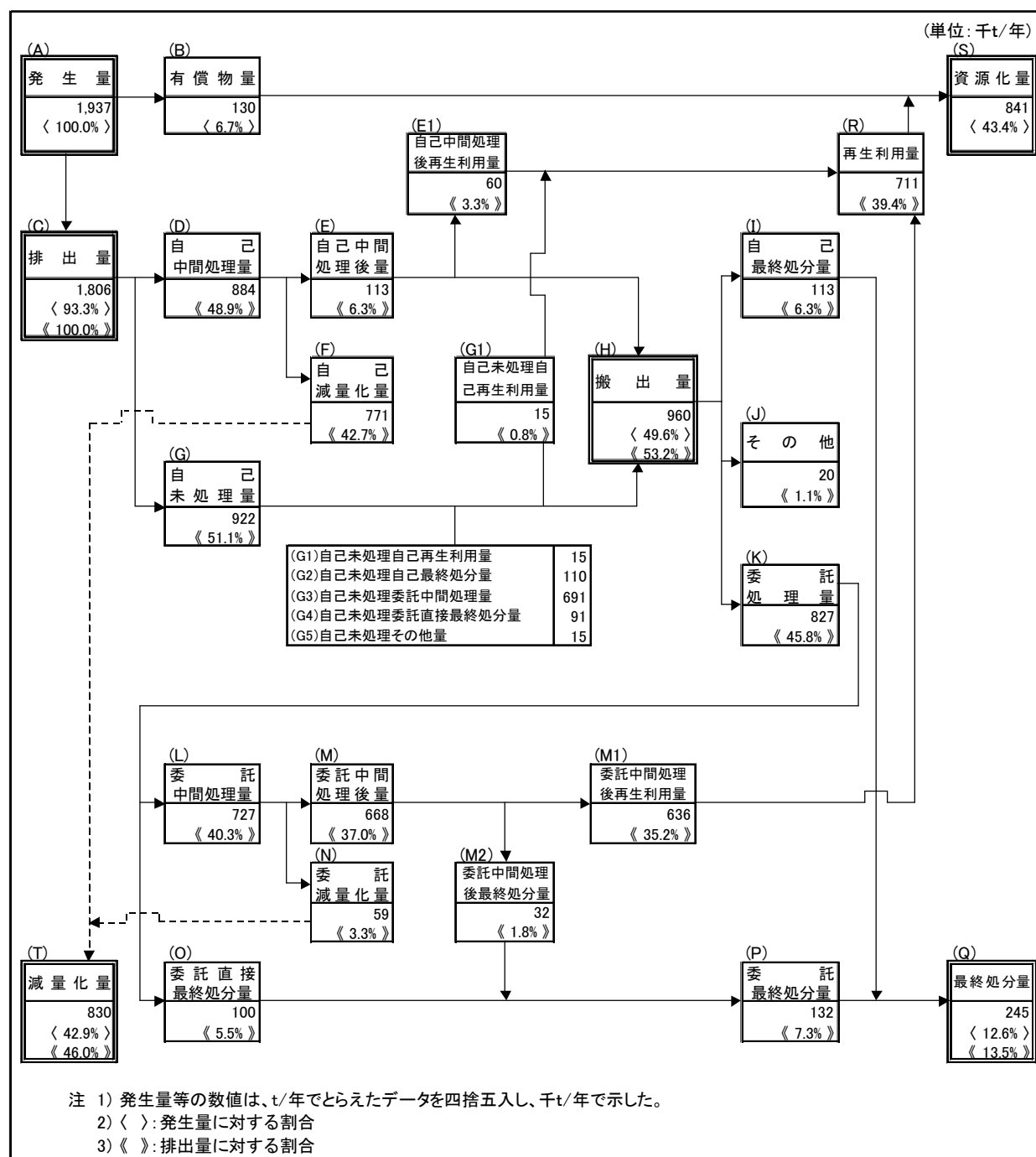


図 2-3-12 発生及び処理状況の流れ図

第3章 業種別の調査結果

第1節 建設業

建設業からの排出量は377千トンで、県全体の排出量の20.9%を占めている。

1 発生する廃棄物の概要

発生量は378千トンで、有償物量は1千トン、有償物量を除いた排出量は377千トン、搬出量は342千トンとなっている。

表 3-1-1 発生・排出状況

(単位:千t/年)			
発生量	有償物量	排出量	搬出量
378 (100.0%)	1 (0.3%)	377 (99.7%)	342 (90.5%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、がれき類の320千トン（建設業の排出量の84.9%）と木くずの24千トン（同6.2%）、廃プラスチック類の11千トン（同3.0%）で94.1%を占めている。

表 3-1-2 種類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)			
種類:変換	発生量	排出量	搬出量
合 計	378 (100.0%)	377 (100.0%)	342 (100.0%)
が れ き 類	320 (84.6%)	320 (84.9%)	288 (84.1%)
木 く ず	24 (6.2%)	24 (6.2%)	21 (6.1%)
廃プラスチック類	11 (3.0%)	11 (3.0%)	11 (3.3%)
汚 泥	8 (2.1%)	8 (2.1%)	8 (2.3%)
金 属 く ず	5 (1.3%)	4 (1.1%)	4 (1.2%)
ガラス陶磁器くず	5 (1.2%)	5 (1.2%)	5 (1.4%)
そ の 他	6 (1.5%)	6 (1.5%)	6 (1.6%)

3 処理状況

排出された377千トンの処理・処分状況をみると、6千トン（1.7%）が減量化され、再生利用量は330千トン（87.6%）、最終処分量は35千トン（9.3%）となっている。

表 3-1-3 種類別の処理・処分量

(単位:千t/年)

種類:変換	排 出 量	再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	そ の 他
合 計	377 (100.0%)	332 (100.0%)	35 (100.0%)	3 (100.0%)
が れ き 類	320 (84.9%)	297 (89.6%)	17 (48.7%)	3 (99.4%)
木 く ず	24 (6.2%)	20 (6.1%)	2 (4.4%)	0 (0.6%)
廃プラスチック類	11 (3.0%)	9 (2.7%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)
汚 泥	8 (2.1%)	1 (0.4%)	4 (10.6%)	
ガラス陶磁器くず	5 (1.2%)	1 (0.2%)	4 (11.4%)	
金 属 く ず	4 (1.1%)	3 (0.9%)	1 (3.1%)	
紙 く ず	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.3%)	
織 維 く ず	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
そ の 他	5 (1.4%)	1 (0.2%)	6 (16.1%)	

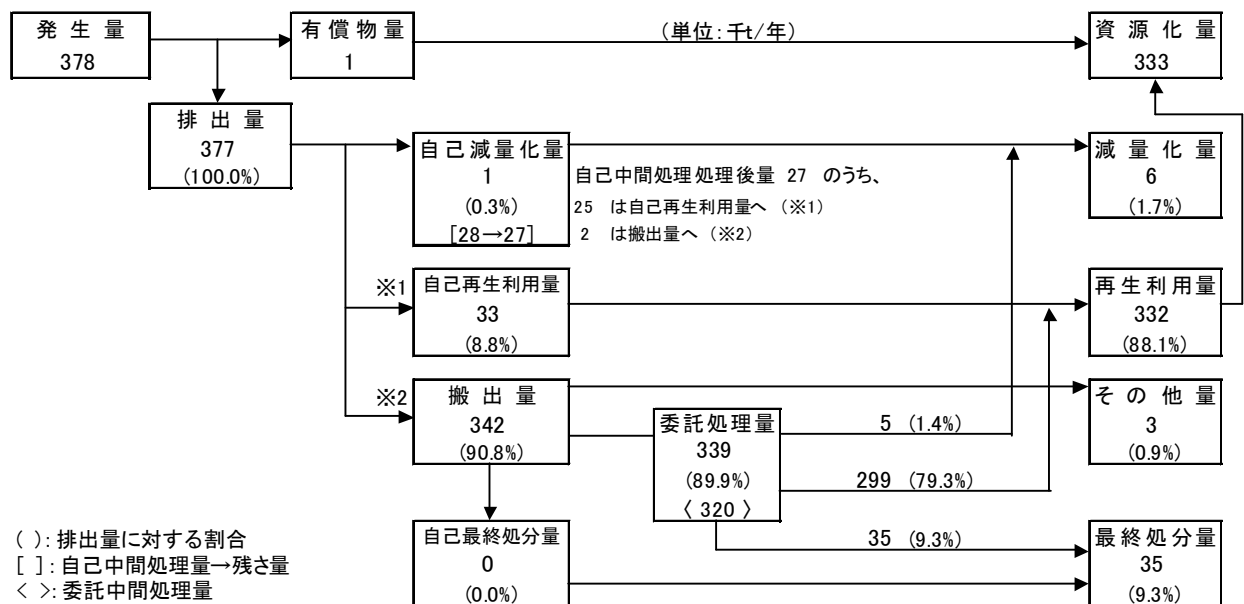


図 3-1-1 建設業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-1-2 のとおりである。

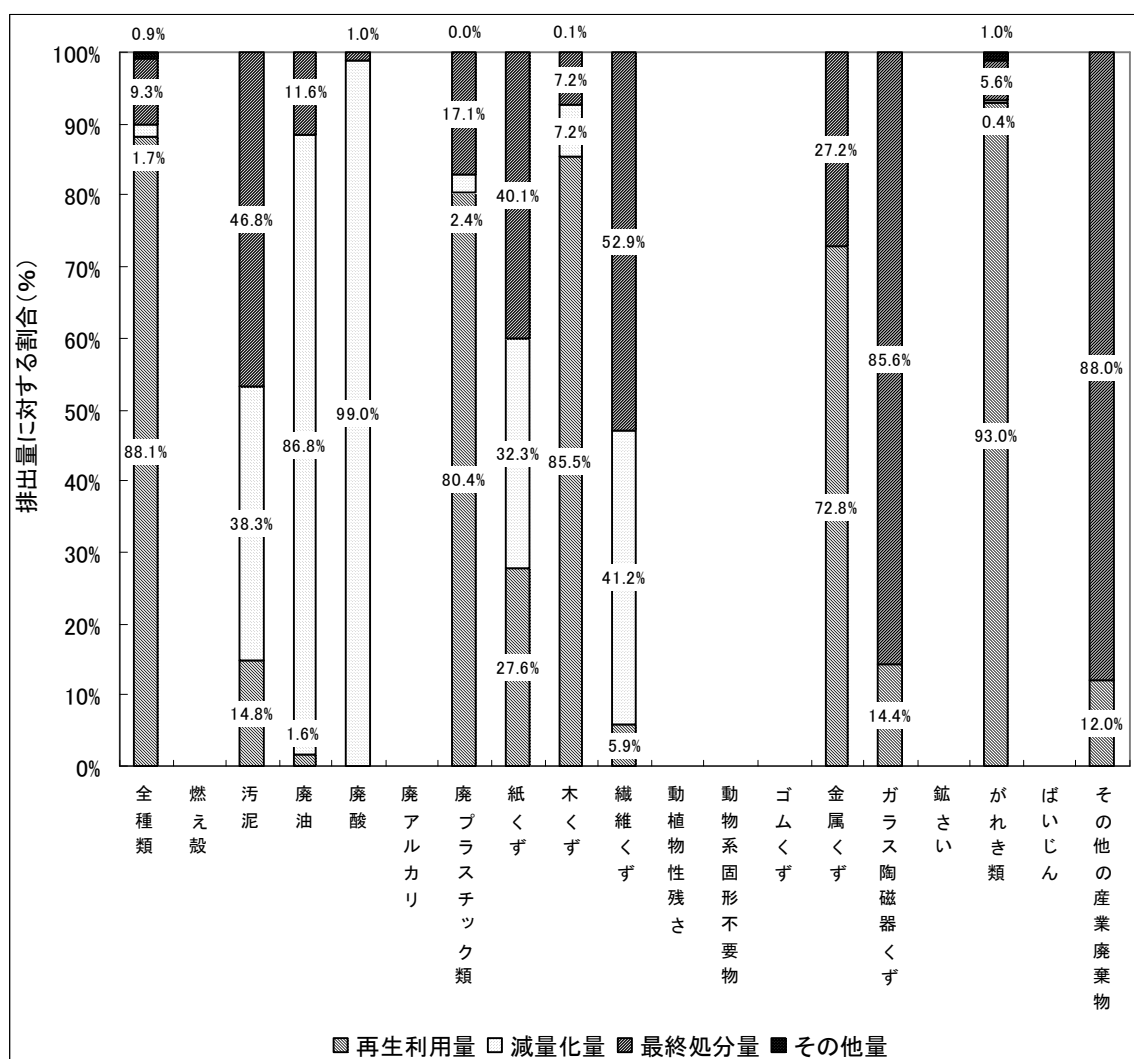


図 3-1-2 建設業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4 建設業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-1-3 に示すとおりである。

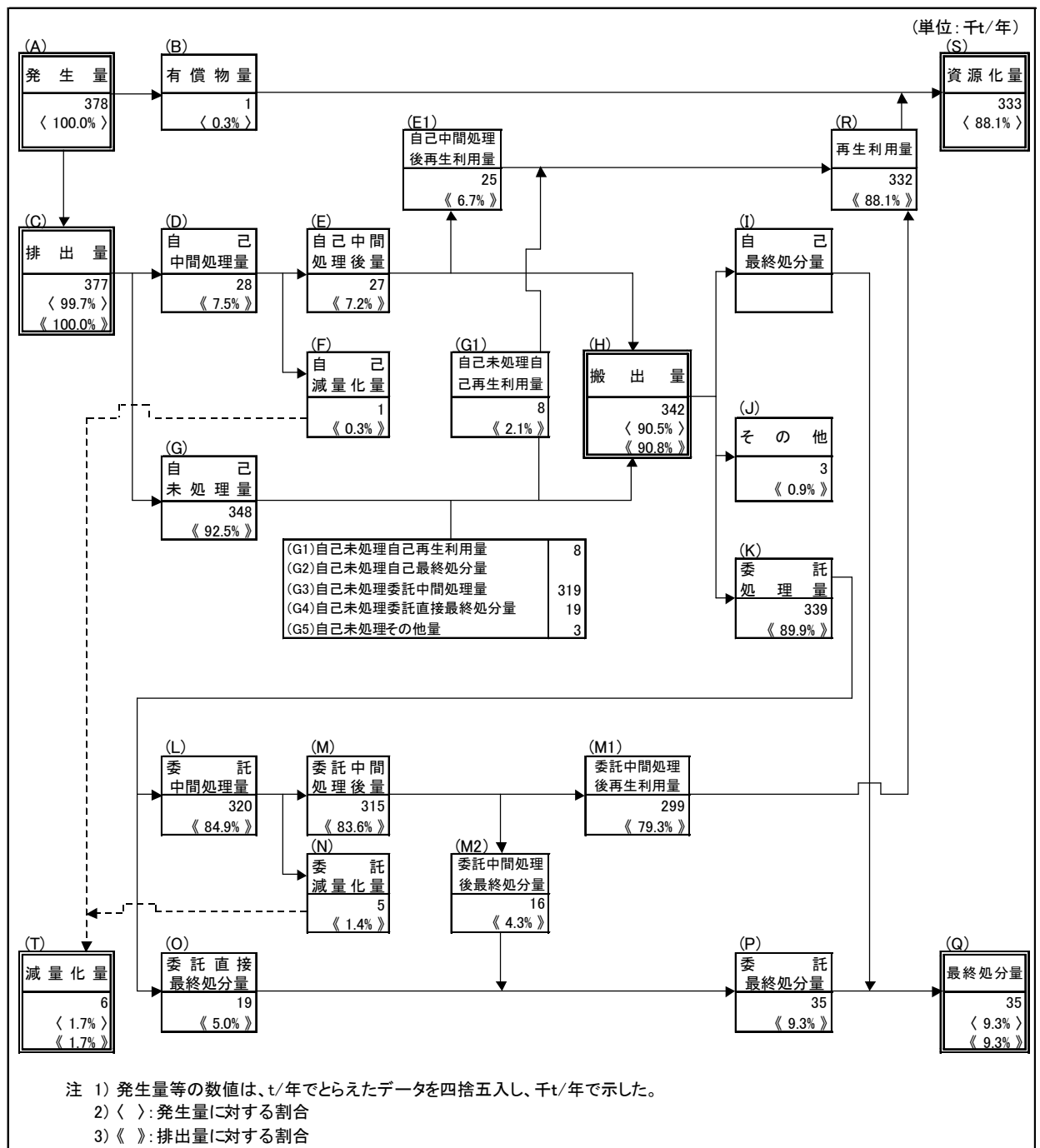


図 3-1-3 建設業の発生及び処理状況の流れ図

第2節 製造業

製造業からの排出量は 627 千トンで、県全体の排出量の 34.7%を占めている。

1 発生する廃棄物の概要

発生量は 650 千トンで、有償物量は 23 千トン、有償物量を除いた排出量は 627 千トン、搬出量は 221 千トンとなっている。

表 3-2-1 発生・排出状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
650 (100.0%)	23 (3.5%)	627 (96.5%)	221 (34.0%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 334 千トン（製造業の排出量の 53.2%）と鋳さいの 121 千トン（同 19.3%）、木くずの 104 千トン（同 16.6%）で 89.1%を占めている。

表 3-2-2 種類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)

種類:変換	発生量	排出量	搬出量
合 計	650 (100.0%)	627 (100.0%)	221 (100.0%)
汚 泥	334 (51.4%)	334 (53.2%)	21 (9.6%)
鋳 さ い	121 (18.7%)	121 (19.3%)	121 (54.7%)
木 く ず	114 (17.6%)	104 (16.6%)	5 (2.3%)
ば い じ ん	17 (2.6%)	17 (2.7%)	17 (7.8%)
廃プラスチック類	15 (2.3%)	15 (2.4%)	11 (5.2%)
廃 油	13 (1.9%)	8 (1.2%)	7 (3.3%)
そ の 他	35 (5.4%)	28 (4.5%)	38 (17.1%)

3 業種中分類別の排出状況

排出量を業種中分類別にみると、パルプ・紙の 297 千トン（製造業の排出量の 47.3%）と木材・木製品の 106 千トン（16.8%）、非鉄金属の 114 千トン（同 18.1%）で 82.2%を占めている。

表 3-2-3 業種中分類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)

	発 生 量	排 出 量	搬 出 量
合 計	650 (100.0%)	627 (100.0%)	221 (100.0%)
パ ル プ ・ 紙	297 (45.6%)	297 (47.3%)	33 (15.0%)
木 材 ・ 木 製 品	115 (17.8%)	106 (16.8%)	9 (4.1%)
非 鉄 金 属	114 (17.5%)	114 (18.1%)	114 (51.5%)
電 子 部 品	22 (3.4%)	20 (3.3%)	12 (5.4%)
窯 業 ・ 土 石	15 (2.3%)	15 (2.4%)	6 (2.7%)
食 料 品	12 (1.9%)	12 (1.9%)	5 (2.1%)
鉄 鋼	11 (1.7%)	10 (1.7%)	10 (4.5%)
一 般 機 械	11 (1.7%)	10 (1.6%)	9 (4.0%)
金 属 製 品	10 (1.6%)	9 (1.4%)	8 (3.7%)
化 学	10 (1.5%)	10 (1.5%)	5 (2.2%)
輸 送 機 械	7 (1.1%)	4 (0.6%)	2 (1.0%)
そ の 他	26 (3.9%)	21 (3.4%)	8 (3.8%)

4 処理状況

排出された 627 千トンの処理・処分状況をみると、392 千トン（62.5%）が減量化され、再生利用量は 92 千トン（14.6%）、最終処分量は 141 千トン（22.5%）となっている。

表 3-2-4 種類別の処理・処分量

(単位:千t/年)

種類:変換	排 出 量	再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	そ の 他
合 計	627 (100.0%)	92 (100.0%)	141 (100.0%)	2
汚 泥	334 (53.2%)	15 (16.7%)	12 (8.8%)	
鋳 さ い	121 (19.3%)	3 (2.8%)	118 (83.6%)	
木 く ず	104 (16.6%)	38 (41.2%)	2 (1.2%)	1
ば い じ ん	17 (2.7%)	16 (17.9%)	1 (0.6%)	
廃プラスチック類	15 (2.4%)	6 (6.6%)	1 (0.8%)	
廃 油	8 (1.2%)	0 (0.4%)	0 (0.1%)	0
そ の 他	28 (4.5%)	13 (14.5%)	7 (4.8%)	1

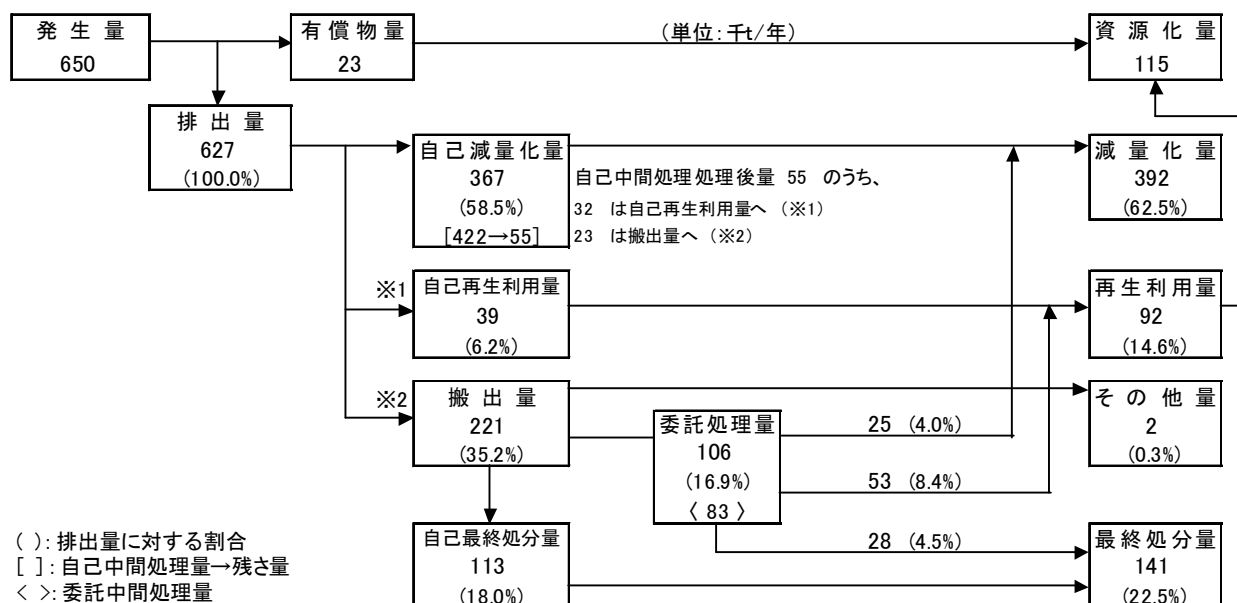


図 3-2-1 製造業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-2-2 のとおりである。

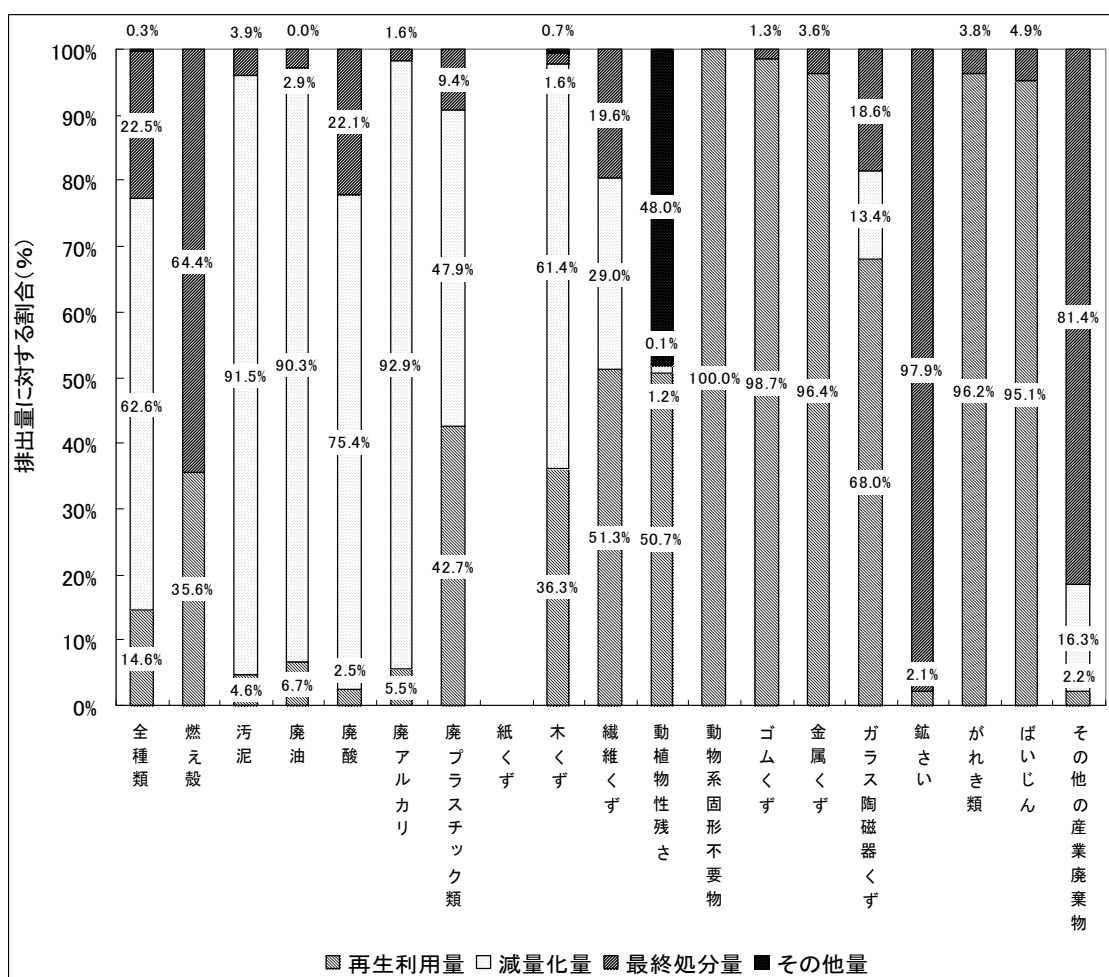


図 3-2-2 製造業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

5 製造業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-2-3 に示すとおりである。

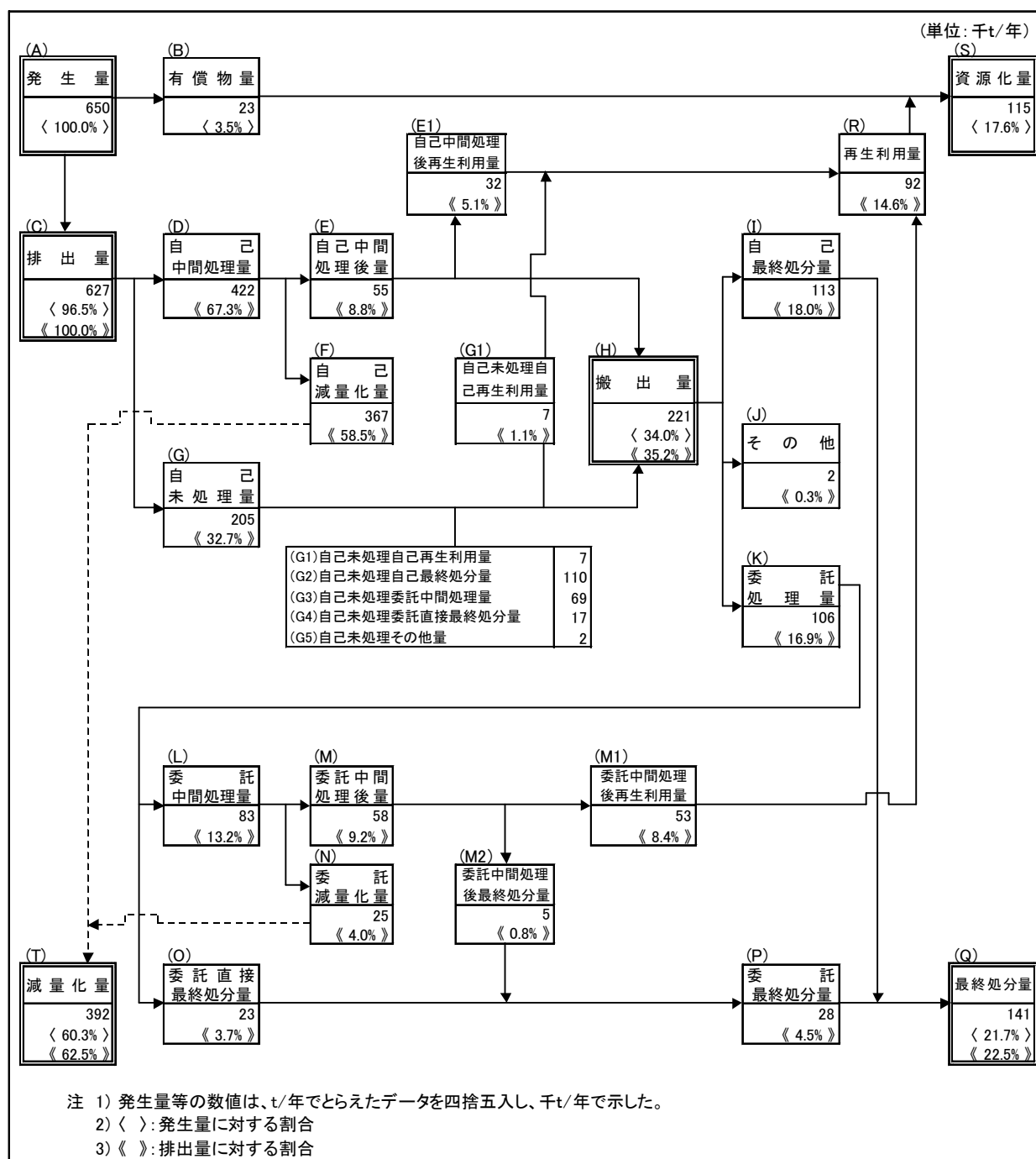


図 3-2-3 製造業の発生及び処理状況の流れ図

第3節 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は 775 千トンで、県全体の排出量の 42.9%を占めている。

1 発生する廃棄物の概要

発生量は 875 千トンで、有償物量は 100 千トン、有償物量を除いた排出量は 775 千トン、搬出量は 374 千トンとなっている。

表 3-3-1 発生・排出状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
875 (100.0%)	100 (11.4%)	775 (88.6%)	374 (42.7%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 439 千トン（電気・水道業の排出量の 56.6%）とばいじんの 297 千トン（同 38.4%）、燃え殻の 35 千トン（同 4.5%）でほぼ全量を占めている。

表 3-3-2 種類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)

種類:変換	発生量	排出量	搬出量
合計	875 (100.0%)	775 (100.0%)	374 (100.0%)
汚泥	530 (60.6%)	439 (56.6%)	37 (9.9%)
ばいじん	306 (35.0%)	297 (38.4%)	297 (79.5%)
燃え殻	35 (4.0%)	35 (4.5%)	35 (9.5%)
その他	4 (0.5%)	4 (0.5%)	4 (1.1%)

3 処理状況

排出された 775 千トンの処理・処分状況をみると、420 千トン（54.1%）が減量化され、再生利用量は 278 千トン（35.8%）、最終処分量は 63 千トン（8.1%）となっている。

表 3-3-3 種類別の処理・処分量

(単位:千t/年)

種類:変換	排出量	再生利用量	最終処分量	その他
合計	775 (100.0%)	278 (100.0%)	63 (100.0%)	15 (100.0%)
汚泥	439 (56.6%)	7 (2.4%)	3 (5.5%)	0 (3.0%)
ばいじん	297 (38.4%)	250 (89.9%)	41 (65.0%)	6 (38.5%)
燃え殻	35 (4.5%)	17 (6.2%)	19 (29.5%)	9 (58.5%)
その他	4 (0.5%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	

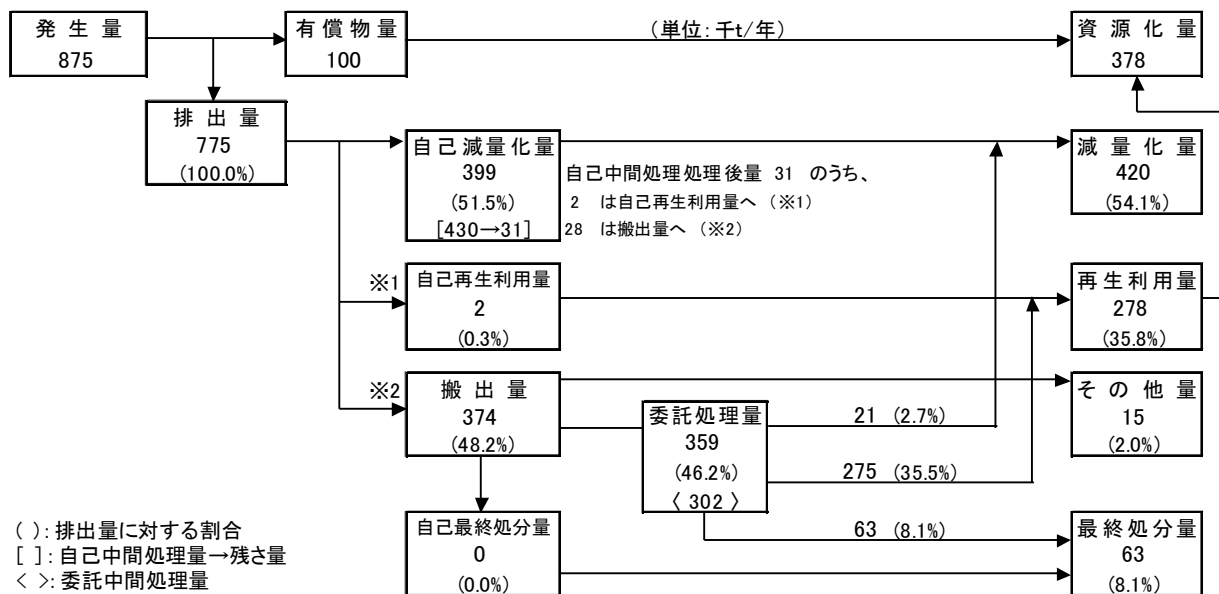


図 3-3-1 電気・水道業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-3-2 のとおりである。

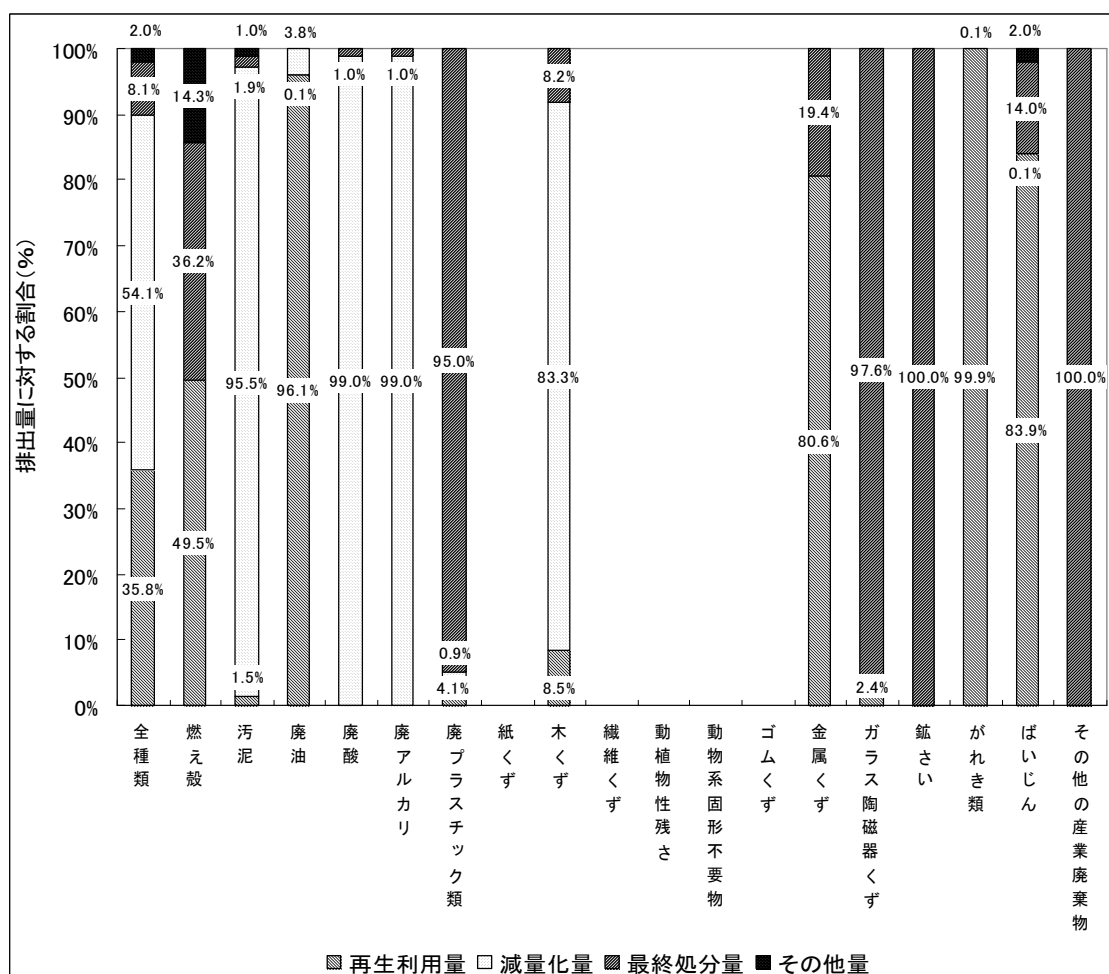


図 3-3-2 電気・水道業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4 電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-3-3 に示すとおりである。

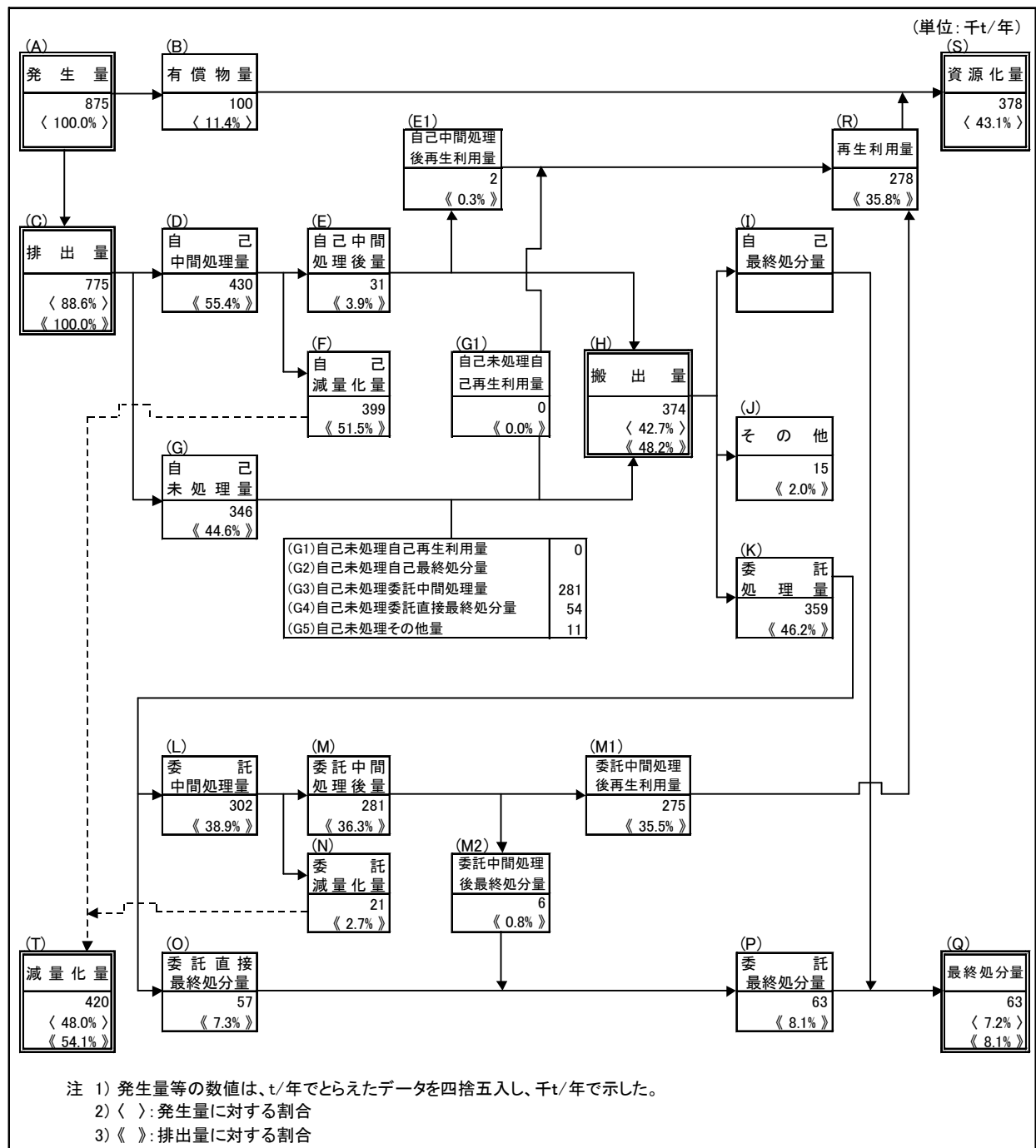


図 3-3-3 電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

第4節 その他の業種

(平成22年度 秋田県産業廃棄物実態調査報告書より再掲)

その他の業種からの排出量は28千トンで、県全体の排出量の1.5%を占めている。

なお、その他の業種には、情報通信業、運輸業、卸・小売業、医療・福祉、高等教育機関、獣医業、写真業、洗濯業、写真現像・焼付業、自動車整備業、物品賃貸業、と畜場が含まれている。

1 発生する廃棄物の概要

発生量は34千トンで、有償物量は6千トン、有償物量を除いた排出量は28千トン、搬出量は24千トンとなっている。

表 3-4-1 発生・排出状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
34 (100.0%)	6 (18.5%)	28 (81.5%)	24 (69.8%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の9千トン(その他の産業の排出量の31.0%)と廃プラスチック類の8千トン(同28.0%)、廃油の4千トン(同12.9%)で71.9%を占めている。

表 3-4-2 種類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)

種類:変換	発生量	排出量	搬出量
合 計	34 (100.0%)	28 (100.0%)	24 (100.0%)
廃 油	9 (27.1%)	4 (12.9%)	3 (14.2%)
汚 泥	9 (25.4%)	9 (31.0%)	5 (21.2%)
廃プラスチック類	8 (23.2%)	8 (28.0%)	8 (32.7%)
そ の 他	8 (24.3%)	8 (28.1%)	8 (31.9%)

3 処理状況

排出された28千トンの処理・処分状況をみると、12千トン(43.3%)が減量化され、再生利用量は10千トン(35.5%)、最終処分量は6千トン(21.0%)となっている。

表 3-4-3 種類別の処理・処分量

(単位:千t/年)

種類:変換	排出量	再生利用量	最終処分量	そ の 他
合 計	28 (100.0%)	10 (100.0%)	6 (100.0%)	0 (100.0%)
廃 油	4 (12.9%)	2 (19.6%)		0 (2.4%)
汚 泥	9 (31.0%)	0 (1.7%)	2 (34.6%)	0 (40.5%)
廃プラスチック類	8 (28.0%)	5 (52.5%)	2 (27.9%)	0 (38.1%)
そ の 他	8 (28.1%)	3 (26.2%)	2 (37.4%)	0 (19.0%)

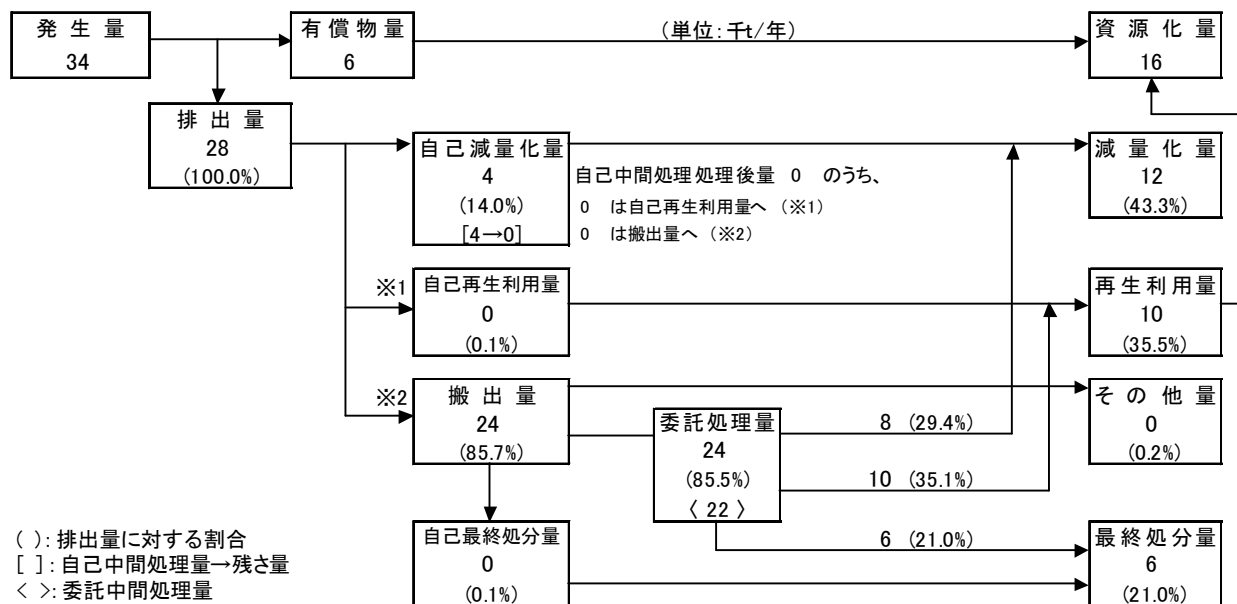


図 3-4-1 その他の業種の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-8-2 のとおりである。

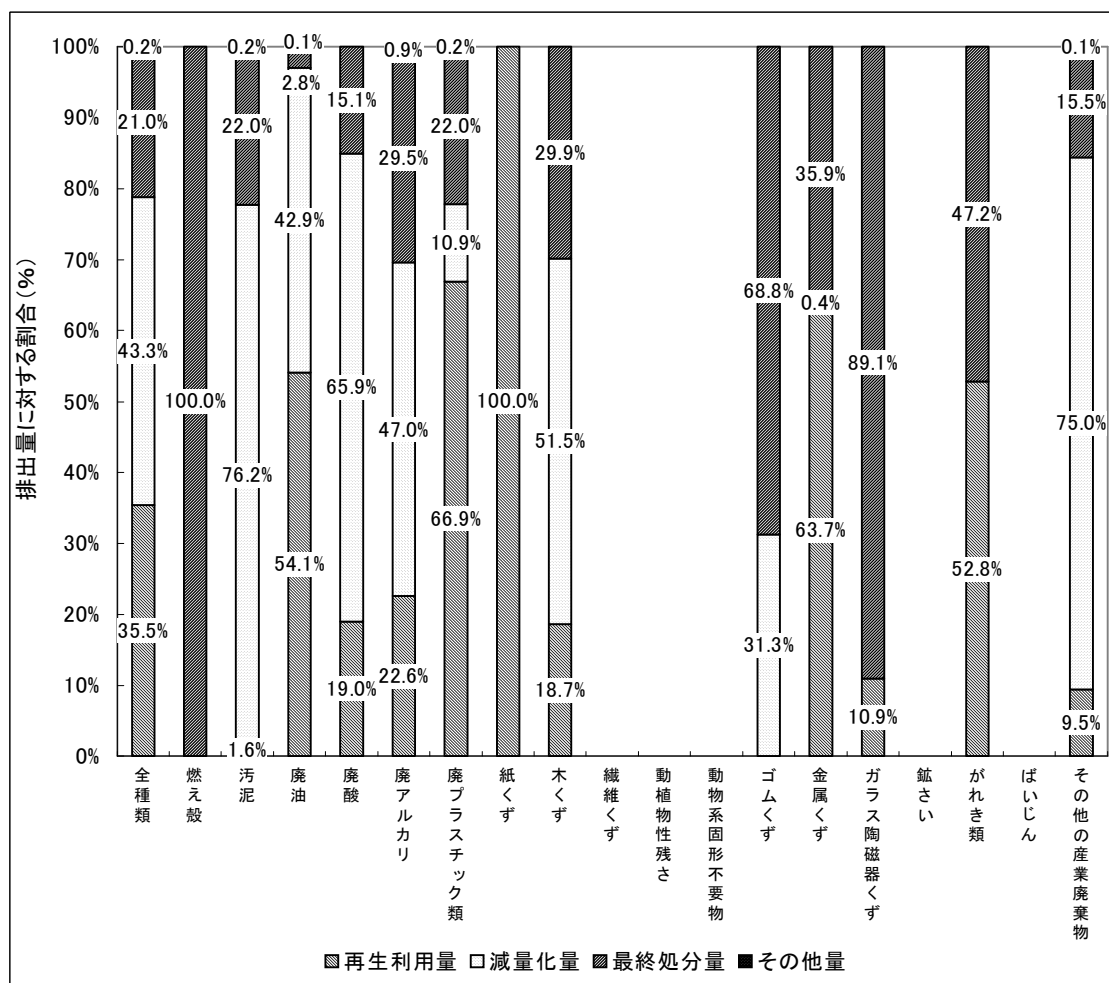


図 3-4-2 その他の業種の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4 その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-4-3 に示すとおりである。

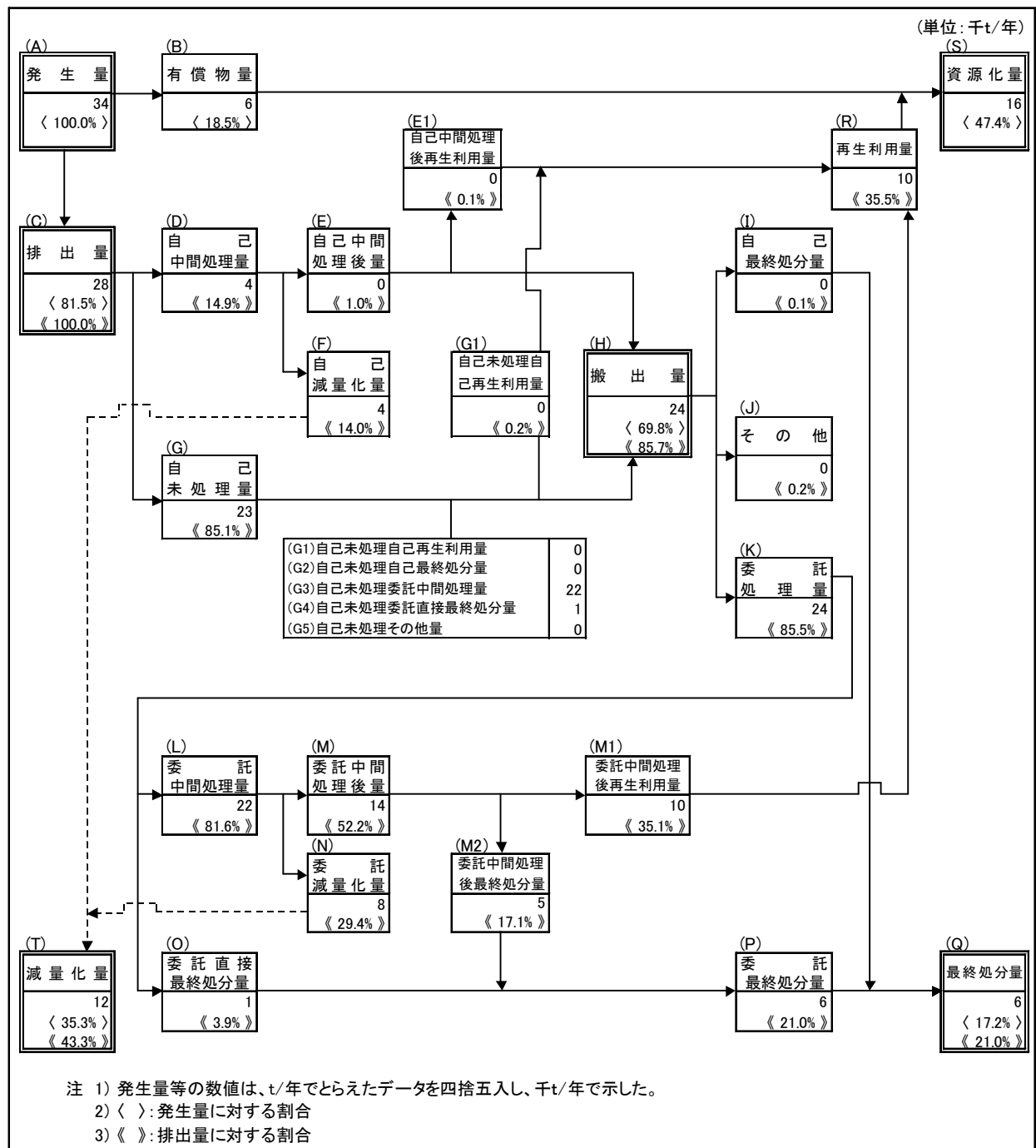


図 3-4-3 その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

第4章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物

第1節 農業からの産業廃棄物

農業からの産業廃棄物については、郵送によるアンケート調査は行わず、農政関係の資料に基づいて取りまとめた。

対象廃棄物は、畜産農業からの家畜ふん尿と施設園芸農業からの農業用廃プラスチックであり、排出量の現状をとらえた。

家畜ふん尿の排出量は、平成23年の畜種別の飼養頭羽数（農林水産省：畜産統計）に畜種別のふん尿排せつ量を乗ずることにより算出した。（1069千トン：表4-1-1）

また、農業用廃プラスチックについては、県農政部からの提供資料から平成23年度における秋田県の年間排出量（979トン）を用いた。

表4-1-1 畜種別ふん尿排出量

		飼養頭羽数	1頭(1千羽)当たり		排出量 (千t/年)	排出量小計 (千t/年)	合計 (千t/年)
			ふん (t/年)	尿 (t/年)			
乳用牛	搾乳牛	3,750 頭	16.6	4.9	81	105	1069
	乾乳牛	540 頭	10.8	2.2	7		
	未経産牛	390 頭	10.8	2.2	5		
	2歳未満（未経産牛）	1,380 頭	6.5	2.4	12		
肉用牛	肉用種2歳未満	9,950 頭	6.5	2.4	89	182	
	肉用種2歳以上	7,880 頭	7.3	2.4	76		
	乳用種	1,880 頭	6.6	2.6	17		
養豚	肥育豚	226,300 頭	0.77	1.39	489	589	
	繁殖豚	26,710 頭	1.2	2.56	100		
採卵鶏	雛	422 千羽	21.5		9	108	
	成鶏	2,004 千羽	49.6		99		
肉鶏	ブロイラー	1,775 千羽	47.5		84	84	

表4-1-2 農業用廃プラスチック排出量

（単位：t/年）

	排出量	再生処理	埋立処理	焼却処理	その他
農業用廃プラスチック	979	809	50	120	0

第2節 鉱業からの産業廃棄物

(平成22年度 秋田県産業廃棄物実態調査報告書より再掲)

鉱業からの産業廃棄物は、農業を除く他の業種と同様にアンケート調査により取りまとめた。

1 発生する廃棄物の概要

発生量は213千トンで、有償物量は43千トン、有償物量を除いた排出量は171千トン、搬出量は6千トンとなっている。

表 4-2-1 発生・排出状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
213 (100.0%)	43 (20.0%)	171 (80.0%)	6 (2.6%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の152千トン（鉱業の排出量の89.0%）と鉱さいの19千トン（同10.9%）でほぼ全量を占めている。

表 4-2-2 種類別の発生、排出、搬出量

(単位:千t/年)

種類:変換	発生量	排出量	搬出量
合計	213 (100.0%)	171 (100.0%)	6 (100.0%)
汚泥	152 (71.2%)	152 (89.0%)	5 (96.3%)
鉱さい	61 (28.7%)	19 (10.9%)	0 (0.0%)
その他	0 (0.1%)	0 (0.1%)	0 (3.7%)

3 処理状況

排出された171千トンの処理・処分状況をみると、90千トン（52.9%）が減量化され、再生利用量は75千トン（44.1%）、最終処分量は500トン未満（0.1%）となっている。

表 4-2-3 種類別の処理・処分量

(単位:千t/年)

種類:変換	排出量	再生利用量	最終処分量	その他
合計	171 (100.0%)	75 (100.0%)	0 (100.0%)	5 (100.0%)
汚泥	152 (89.0%)	57 (75.3%)	0 (73.4%)	5 (100.0%)
鉱さい	19 (10.9%)	19 (24.7%)		
その他	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (26.6%)	

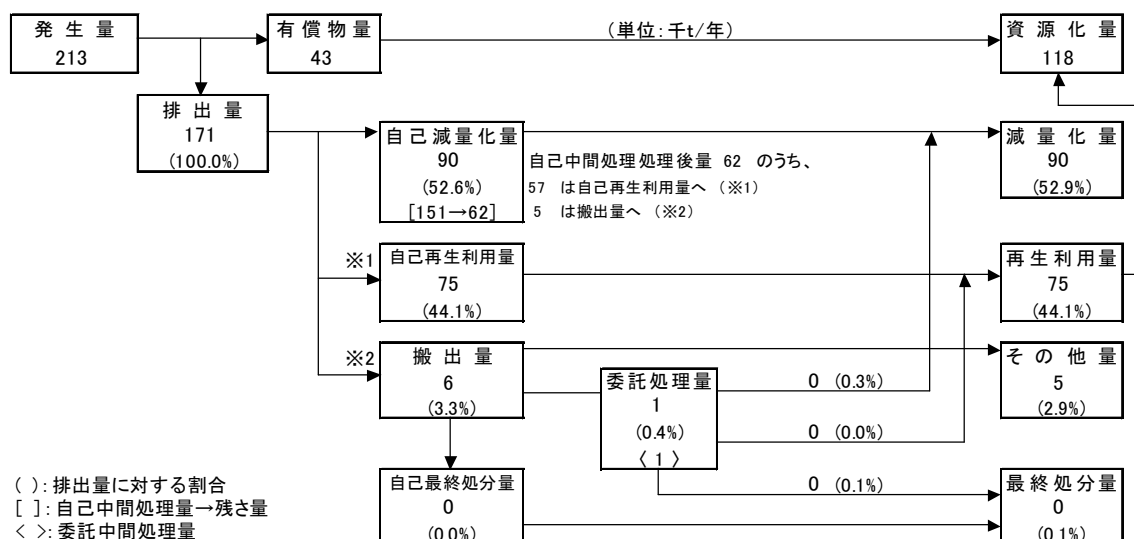


図 4-2-1 鋳業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 4-2-2 のとおりである。

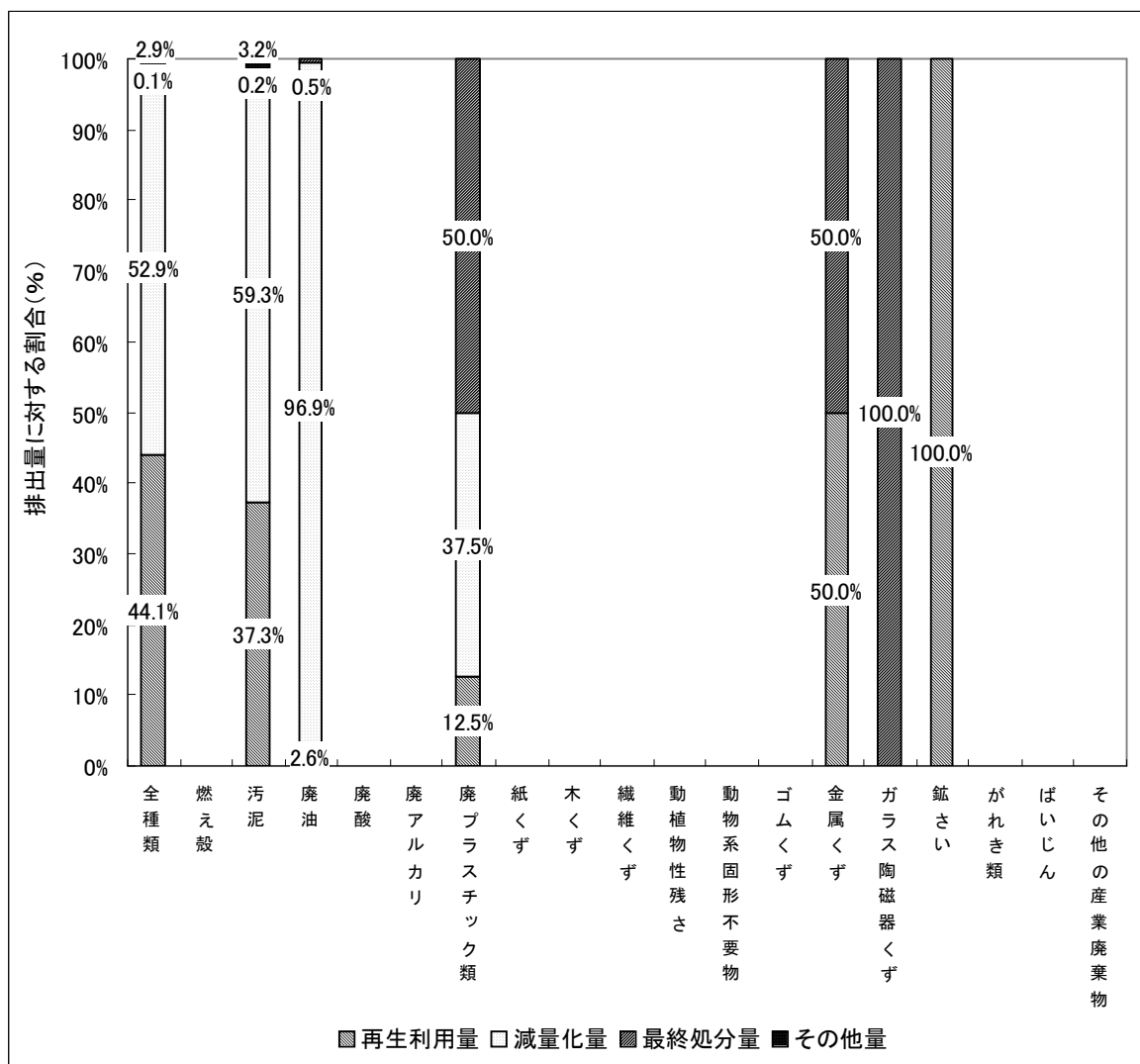


図 4-2-2 鋳業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

第3節 農業・鉱業を含めた排出量

農業・鉱業を含めた平成23年度の排出量は、3,334千トンであった。

表 4-3-1 農業を含めた排出量（業種別・種類別）

（単位：千t/年）

業種 種類	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	その他
合計	3,334	1,070	171	377	914	775	28
燃え殻	40				6	35	0
汚泥	1,184		152	8	577	439	9
有機性汚泥	721		16	0	296	406	4
無機性汚泥	463		136	8	281	33	5
廃油	51		0	0	47	0	4
一般廃油	47		0	0	43	0	3
廃溶剤	1				1	0	0
その他	4		0	0	4	0	0
廃酸	6			0	6	0	0
廃アルカリ	7				7	0	0
廃プラスチック類	35	1	0	11	15	0	8
廃プラスチック	29		0	11	15	0	2
廃タイヤ	5		0	0	0		5
紙くず	0			0			0
木くず	128			24	104	0	0
繊維くず	1			0	1		
動植物性残さ	2				2		
動物系固形不要物	0				0		
ゴムくず	0				0		0
金属くず	10		0	4	3	0	3
ガラス陶磁器くず	11		0	5	6	0	0
鉱さい	139		19		121	0	
がれき類	325			320	2	4	0
コンクリート片	170			168	2	0	0
廃アスファルト	150			146	0	4	0
その他	6			6	0		
動物のふん尿	1,069	1,069					
ばいじん	315				17	297	
その他の産業廃棄物	9			5	1	0	4
感染性廃棄物	2				0		2
混合物等	8			5	0	0	2

第5章 産業廃棄物の移動状況

産業廃棄物の移動状況は、県内発生分については産業廃棄物実態調査から委託処理に関する結果について中間処理及び最終処分の目的別と県内外別、種類別に集計し、県外から県内に搬入される分については、県内産業廃棄物処分業者が県に報告した産業廃棄物処分実績報告書を基に中間処理及び最終処分の目的別と地域別、種類別に集計を行った。

第1節 産業廃棄物の移動状況の概要

県内で発生した産業廃棄物の委託処理先は、県内の中間処理目的が最も多く委託処理量の49.4%（408.4千トン÷826.8千トン）を占めている。県内で発生した産業廃棄物の県内委託処理は、中間処理目的が8割を占め、最終処分が2割となっている。県内で発生した産業廃棄物の中間処理目的の県内外の処理先割合は、県内が56.2%を占めている。

県外から搬入される産業廃棄物は、185.9千トンであり、中間処理目的が95.5%を占めている。

県外へ搬出される産業廃棄物は、県内へ搬入される産業廃棄物より約1.7倍多い状況である。

表 5-1-1 処理方法別移動状況

(単位:千t/年)

	中間処理		最終処分		合計	
県内⇒県内	408.4	(80.4%)	99.4	(19.6%)	507.8	(100.0%)
県内⇒県外	318.8	(99.9%)	0.2	(0.1%)	319.0	(100.0%)
県外⇒県内	177.4	(95.5%)	8.4	(4.5%)	185.9	(100.0%)

第2節 県内発生産業廃棄物の移動状況

県内発生し委託処理される産業廃棄物の県外への移動状況は、中間処理目的のみの318.8千トンであり、種類別では、ばいじんが82.1%を占めている。

県外へ委託処理される産業廃棄物は、中間処理目的として、ばいじんが262.0千トンであり、全体の8割を占めている。

なお、県内で委託処理される産業廃棄物は、中間処理目的として、がれき類が284.0千トン、汚泥が35.9千トン、木くずが24.3千トンであり、この3つで中間処理目的の産業廃棄物の8割を占めている。最終処分目的では、ばいじんが41.5千トン、燃え殻が16.6千トン、汚泥が14.9千トンであり、この3つで最終処分目的の産業廃棄物の7割を占めている。

表 5-2-1 県内発生産業廃棄物の種類別処理方法別移動状況（委託処理）

（単位：千t/年）

	県内発生委託処理(全体)			県内⇒県内			県内⇒県外		
	中間処理	最終処分	合計	中間処理	最終処分	合計	中間処理	最終処分	合計
燃え殻	33.2	16.6	49.9 (6.0%)	2.1	16.6	18.8 (3.7%)	31.1		31.1 (9.7%)
汚泥	48.7	14.9	63.6 (7.7%)	35.9	14.9	50.7 (10.0%)	12.8	0.0	12.8 (4.0%)
廃油	10.7		10.7 (1.3%)	9.6		9.6 (1.9%)	1.0		1.0 (0.3%)
廃酸	1.9		1.9 (0.2%)	1.4		1.4 (0.3%)	0.5		0.5 (0.2%)
廃アルカリ	6.9		6.9 (0.8%)	5.9		5.9 (1.2%)	1.0		1.0 (0.3%)
廃プラスチック類	27.8	2.6	30.3 (3.7%)	22.6	2.5	25.1 (4.9%)	5.2	0.1	5.2 (1.6%)
紙くず	0.3	0.0	0.3 (0.0%)	0.3	0.0	0.3 (0.1%)	0.0	0.0	0.0 (0.0%)
木くず	24.4	1.2	25.6 (3.1%)	24.3	1.1	25.4 (5.0%)	0.1	0.1	0.2 (0.1%)
繊維くず	0.6	0.2	0.8 (0.1%)	0.6	0.2	0.8 (0.2%)	0.0		0.0 (0.0%)
動植物性残さ	0.8		0.8 (0.1%)	0.3		0.3 (0.1%)	0.5		0.5 (0.2%)
動物系不要固形物	0.1		0.1 (0.0%)				0.1		0.1 (0.0%)
ゴムくず	0.2		0.2 (0.0%)	0.2		0.2 (0.0%)			
金属くず	8.6	0.7	9.4 (1.1%)	7.8	0.7	8.5 (1.7%)	0.9		0.9 (0.3%)
ガラス陶磁器くず	2.9	4.8	7.7 (0.9%)	2.8	4.8	7.5 (1.5%)	0.1	0.0	0.1 (0.0%)
鉱さい	2.8	8.2	11.1 (1.3%)	0.0	8.2	8.3 (1.6%)	2.8		2.8 (0.9%)
がれき類	284.7	5.3	290.0 (35.1%)	284.0	5.3	289.3 (57.0%)	0.7	0.0	0.7 (0.2%)
ばいじん	266.9	41.5	308.4 (37.3%)	4.9	41.5	46.5 (9.2%)	262.0		262.0 (82.1%)
その他	5.6	3.6	9.2 (1.1%)	5.6	3.6	9.2 (1.8%)	0.0		0.0 (0.0%)
合計	727.2 (88.0%)	99.6 (12.0%)	826.8 (100.0%)	408.4 (80.4%)	99.4 (19.6%)	507.8 (100.0%)	318.8 (99.9%)	0.2 (0.1%)	319.0 (100.0%)

第 3 節 県外発生県内搬入産業廃棄物の移動状況

県外から県内に搬入される産業廃棄物のうち、北海道・東北ブロックからが 63.3%、関東ブロックからが 29.2%、中部ブロックからが 6.4%であり、この 3 ブロックで 98.9% となっている。

なお、中間処理目的では、北海道・東北ブロックからが 61.5%、関東ブロックからが 30.5%、中部ブロックからが 6.8%である。種類別では、廃プラスチック類が 67.7 千ト、汚泥が 29.9 千ト、廃油が 24.3 千トであり、この 3 つで中間処理目的の産業廃棄物の 7 割を占めている。

また、最終処分目的では、北海道・東北ブロックからの汚泥が 8.4 千トのみとなっている。

表 5-3-1 県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（全体）

（単位：千t/年）

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻	0.4	0.1						0.5 (0.3%)
汚泥	35.5	2.5	0.1	0.2				38.3 (20.6%)
廃油	20.4	3.2	0.7	0.0				24.3 (13.0%)
廃酸	14.4	1.1	0.5					16.0 (8.6%)
廃アルカリ	5.5	0.2						5.6 (3.0%)
廃プラスチック類	26.8	32.8	7.9	0.3	0.0			67.7 (36.4%)
紙くず	0.6	6.0	0.0		0.0			6.6 (3.5%)
木くず	1.1	0.9	0.1		0.0			2.1 (1.1%)
繊維くず	0.2	0.4						0.6 (0.3%)
動植物性残さ	0.2							0.2 (0.1%)
動物系固形不要物								
ゴムくず								0.0 (0.0%)
金属くず	0.1	0.1	0.0		0.0			0.2 (0.1%)
ガラス陶磁器くず	2.9	1.0						3.9 (2.1%)
鋳さい	0.2		2.4					2.6 (1.4%)
がれき類	9.0	0.0	0.3	1.5				10.8 (5.8%)
ばいじん	0.0	6.1						6.1 (3.3%)
その他	0.4	0.0						0.5 (0.2%)
合計	117.6 (63.3%)	54.3 (29.2%)	12.0 (6.4%)	2.0 (1.1%)	0.0 (0.0%)		0.0 (0.0%)	185.9 (100.0%)

※その他は感染性廃棄物と混合物である。

表 5-3-2 県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（中間処理）

（単位：千t/年）

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻	0.4	0.1						0.5 (0.3%)
汚泥	27.1	2.5	0.1	0.2				29.9 (16.8%)
廃油	20.4	3.2	0.7	0.0				24.3 (13.7%)
廃酸	14.4	1.1	0.5					16.0 (9.0%)
廃アルカリ	5.5	0.2						5.6 (3.2%)
廃プラスチック類	26.8	32.8	7.9	0.3	0.0			67.7 (38.2%)
紙くず	0.6	6.0	0.0		0.0			6.6 (3.7%)
木くず	1.1	0.9	0.1		0.0			2.1 (1.2%)
繊維くず	0.2	0.3						0.5 (0.3%)
動植物性残さ	0.2							0.2 (0.1%)
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず	0.1	0.1	0.0		0.0			0.2 (0.1%)
ガラス陶磁器くず	2.9	1.0						3.9 (2.2%)
鋳さい	0.2		2.4					2.6 (1.4%)
がれき類	9.0	0.0	0.3	1.5				10.8 (6.1%)
ばいじん	0.0	6.1						6.1 (3.4%)
その他	0.4	0.0						0.5 (0.3%)
合計	109.2 (61.5%)	54.2 (30.5%)	12.0 (6.8%)	2.0 (1.2%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	177.4 (100.0%)

※その他は感染性廃棄物と混合物である。

表 5-3-3 県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（最終処分）

(単位:千t/年)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻								
汚泥	8.4							8.4 (100.0%)
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類								
紙くず								
木くず								
繊維くず								
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず								
ガラス陶磁器くず								
鉱さい								
がれき類								
ばいじん								
その他								
合計	8.4 (100.0%)							8.4 (100.0%) (100.0%)

表 5-3-4 地域ブロック

ブロック名	都道府県名
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 新潟県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
中部	富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

第6章 産業廃棄物の推移

第1節 前回調査との比較

1 排出量

排出量は 65 千t増加している。業種別では、製造業及び電気・水道業で増加しているが、建設業で大きく減少している。

種類別にみると、汚泥及びばいじんが増加し、がれき類及び鉱さいが減少している。

表 6-1-1 排出量（業種別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	1,742	1,806	65
建 設 業	407	377	△ 30
製 造 業	615	627	12
電気・水道業	692	775	83
そ の 他	28	28	0

表 6-1-2 排出量（種類別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	1,742	1,806	65
汚 泥	752	789	37
が れ き 類	342	325	△ 16
ば い じ ん	259	315	56
鉱 さ い	131	121	△ 10
そ の 他	259	256	△ 2

2 再生利用量

再生利用量は 25 千t増加している。業種別では、電気・水道業で大きく増加しているが、建設業及び製造業で減少している。

種類別にみると、ばいじんと汚泥が増加し、がれき類が減少している。特にばいじんが大きく増加している。

表 6-2-1 再生利用量（業種別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	686	711	25
建 設 業	372	332	△ 40
製 造 業	97	92	△ 6
電気・水道業	207	278	71
そ の 他	10	10	0

表 6-2-2 再生利用量（種類別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	686	711	25
が れ き 類	334	303	△ 32
ば い じ ん	201	266	65
木 く ず	56	58	2
汚 泥	18	23	5
そ の 他	77	61	△ 16

3 最終処分量

最終処分量は 27 千t減少している。業種別では、建設業で増加し、製造業及び電気・水道業で減少している。

種類別にみると、鉋さい、ばいじん及び燃え殻が減少している。

表 6-3-1 最終処分量（業種別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	271	245	△ 27
建 設 業	28	35	7
製 造 業	151	141	△ 10
電気・水道業	86	63	△ 23
そ の 他	6	6	0

表 6-3-2 最終処分量（種類別）

（単位：千t/年）

	平成22年度	平成23年度	増減
合 計	271	245	△ 27
鉋 さ い	125	118	△ 7
ば い じ ん	58	42	△ 16
燃 え 殻	32	25	△ 6
汚 泥	22	22	0
そ の 他	35	38	3

第2節 目標の達成状況

第2次秋田県循環型社会形成推進基本計画（平成23年6月策定）の平成27年度数値目標は次のとおりである。今回調査結果（平成23年度実績）と平成27年度目標値を比較すると、排出量、再生利用・減量化量及び最終処分量のすべてにおいて目標を達成している。

<数値目標（平成27年度）>

- ・産業廃棄物の排出量：1,930千ト
- ・産業廃棄物の排出量に対する再生利用・減量化量の割合：75%
- ・産業廃棄物の最終処分量：300千ト

項目 \ 年度	実績		目標 平成27年度
	平成22年度	平成23年度	
排出量	1,742	1,806	1,930
再生利用・減量化量（千t/年）	1,471（84%）	1,541（85%）	870（75%）
最終処分量（千t/年）	271（16%）	245（14%）	300（25%）

※（ ）内は、排出量に対する割合

一方、再生利用率においては、目標が45%に対し、39%と目標に達していない。

<数値目標（平成27年度）>

- ・産業廃棄物の排出量に対する再生利用量の割合：45%

項目 \ 年度	実績		目標 平成27年度
	平成22年度	平成23年度	
再生利用率（%）	39	39	45

第 7 章 産業廃棄物の将来の見込み

将来予測は、発生原単位及び処理形態が将来にわたり一定であると仮定して、各種経済指標等を将来推計し、推測した経済指標に平成 22 年の原単位を乗じて発生量等を予測した。

第 1 節 排出量の将来予測

業種別の将来予測方法は表 7-1-1 のとおりである。

表 7-1-1 業種別の将来予測方法

業種	各種経済指標の将来予測方法
建設業	過去からのトレンド（平成 12～23 年）で元請完成工事高を推計し、将来の活動量指標とした。
製造業	過去からのトレンド（平成 15～23 年）で製造品出荷額等を推計し、将来の活動量指標とした。
電気・水道業	電気業、ガス業、上水道業は、各施設の将来計画値を用いた。 下水道業の将来計画が無い自治体については、県の下水道普及率を用いて推計した。 電気業の将来計画が無い事業所については、平成 23 年度秋田県産業廃棄物実態調査時の将来計画から推計した。
その他	業種別に過去からのトレンド（平成 11, 13, 16, 18, 21, 23 年）で従業者数を推計し、将来の活動量指標とした。

その結果、排出量は減少する予測となり、全体でみると平成 25 年度が 1,744 千トン（平成 23 年度より 3.49%減）、平成 26 年度が 1,707 千トン（平成 23 年度より 5.53%減）となっている。業種別では、製造業において平成 25 年度は増加、平成 26 年度は減少し、建設業及び電気・水道業において平成 25 年度、26 年度ともに減少すると見込まれる。種類別では、汚泥が平成 25 年度は増加、平成 26 年度は減少し、ばいじんが平成 25 年度、平成 26 年度ともに横ばいとなり、その他においては減少すると見込まれる。

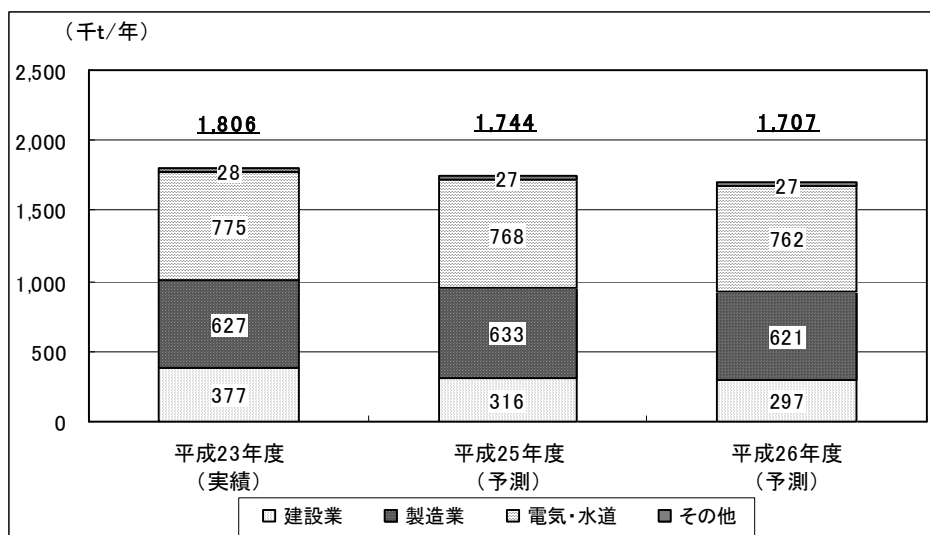


図 7-1-1 業種別排出量の将来見込み

表 7-1-2 業種別排出量の将来見込み

(単位: 千t/年)

	実績	予測	
	平成23年度	平成25年度	平成26年度
排出量	1,806 (100%)	1,744 (100%)	1,707 (100%)
建設業	377 (21%)	316 (18%)	297 (17%)
製造業	627 (35%)	633 (36%)	621 (36%)
電気・水道業	775 (43%)	768 (44%)	762 (45%)
その他	28 (2%)	27 (2%)	27 (2%)

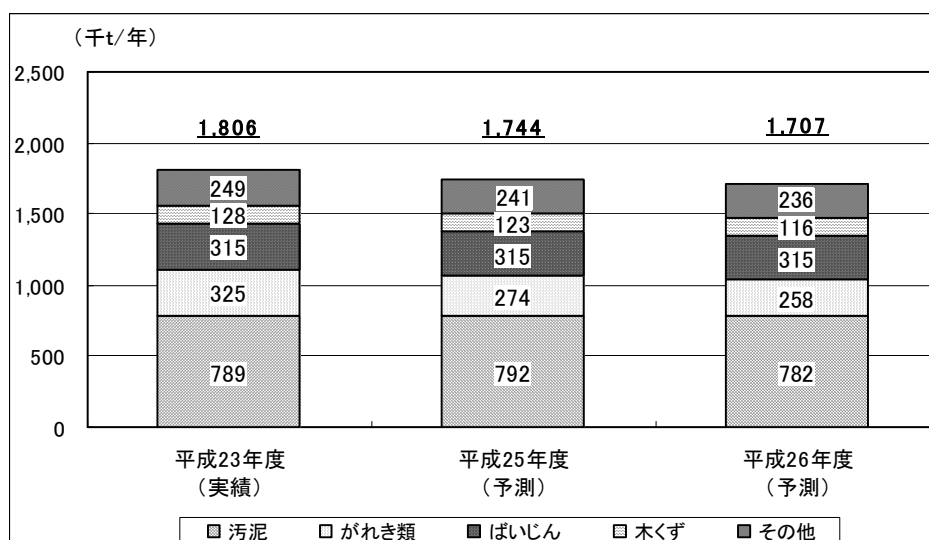


図 7-1-2 種類別排出量の将来見込み

表 7-1-3 種類別排出量の将来見込み

(単位:千t/年)

	実績		予測	
	平成23年度		平成25年度	平成26年度
排出量	1,806	(100%)	1,744 (100%)	1,707 (100%)
汚泥	789	(44%)	792 (45%)	782 (46%)
がれき類	325	(18%)	274 (16%)	258 (15%)
ばいじん	315	(17%)	315 (18%)	315 (18%)
木くず	128	(7%)	123 (7%)	116 (7%)
その他	249	(14%)	241 (14%)	236 (14%)

第2節 処理量の将来予測

処理量の将来予測は、現状の業種別、種類別の発生量に対する処理方法等の割合が将来も一定であると仮定し、算出した。結果は図7-2-1、表7-2-1～3のとおりである。

再生利用量、最終処分量及び減量化量のすべてにおいて、減少傾向を示すと考えられる。これは、排出量が減少すると予測されるためである。

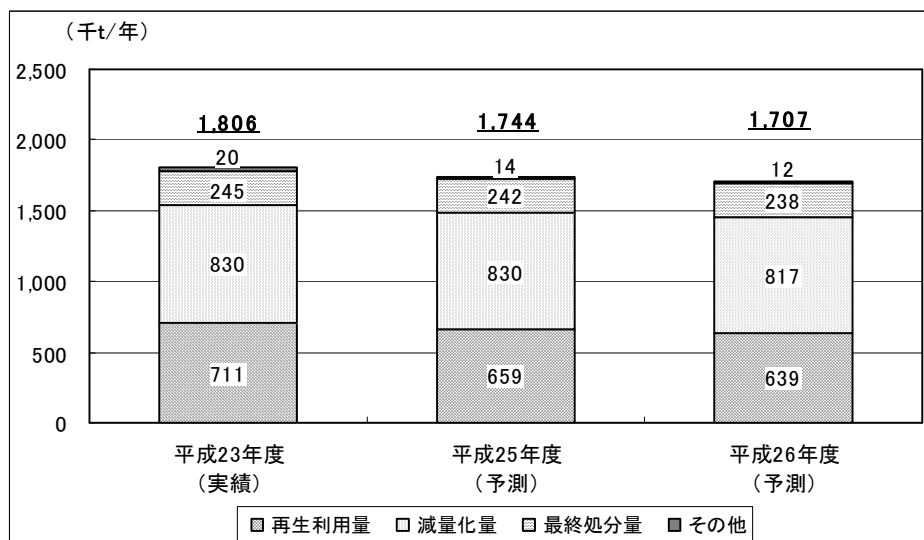


図7-2-1 処理量の将来見込み

表7-2-1 処理量の将来見込み

	実績		予測	
	平成23年度		平成25年度	平成26年度
排出量	1,806	(100%)	1,744 (100%)	1,707 (100%)
再生利用量	711	(39%)	659 (38%)	639 (37%)
減量化量	830	(46%)	830 (48%)	817 (48%)
最終処分量	245	(14%)	242 (14%)	238 (14%)
その他量	20	(1%)	14 (1%)	12 (1%)

表 7-2-2 業種別再生利用量の将来見込み

(単位:千t/年)

	実績	予測	
	平成23年度	平成25年度	平成26年度
再生利用量	711 (100%)	659 (100%)	639 (100%)
建設業	332 (47%)	278 (42%)	262 (41%)
製造業	92 (13%)	94 (14%)	91 (14%)
電気・水道業	278 (39%)	277 (42%)	277 (43%)
その他	10 (1%)	9 (1%)	9 (1%)

表 7-2-3 業種別最終処分量の将来見込み

(単位:千t/年)

	実績	予測	
	平成23年度	平成25年度	平成26年度
最終処分量	245 (100%)	242 (100%)	238 (100%)
建設業	35 (14%)	29 (12%)	28 (12%)
製造業	141 (58%)	144 (60%)	142 (60%)
電気・水道業	63 (26%)	63 (26%)	63 (26%)
その他	6 (2%)	6 (2%)	6 (2%)

第 8 章 意識調査結果

意識調査は、産業廃棄物等に関する調査票に同封し、県内の排出事業者を対象に調査を実施した。その結果については、以下に示すとおりである。

第 1 節 産業廃棄物等の発生量の見込みについて

（設問 1）貴事業所の産業廃棄物等の発生量の見込み（23 年度を基準に 3 年後を想定してください）について伺います。該当する番号を 1 つ選び、○を付けてください。なお、現在、有償あるいは無償で引き渡しているものも含めてください。

1. 発生量は今後大幅に減少する
2. 発生量は今後少し減少する
3. 発生量はほとんど変化しない
4. 発生量は今後少し増加する
5. 発生量は今後大幅に増加する
6. その他

産業廃棄物等の発生量の見込みは、「発生量はほとんど変化しない」が 42%で最も高く、次いで、「発生量は今後少し減少する」が 23%となっている。

なお、業種別では、電気・水道業において「発生量は今後少し増加する」が最も高い割合となっている。

表 8-1-1 産業廃棄物等の発生量の見込み

	全 体		建 設 業		製 造 業		電 気・水 道 業	
		割合		割合		割合		割合
1. 発生量は今後大幅に減少する	20	5%	10	6%	9	5%	1	3%
2. 発生量は今後少し減少する	89	23%	34	21%	55	28%	0	0%
3. 発生量はほとんど変化しない	161	42%	61	38%	90	46%	10	31%
4. 発生量は今後少し増加する	75	19%	24	15%	33	17%	18	56%
5. 発生量は今後大幅に増加する	4	1%	1	1%	3	2%	0	0%
6. その他	38	10%	29	18%	6	3%	3	9%
合計	387	100%	159	100%	196	100%	32	100%

第2節 産業廃棄物の処理に関する課題について

（設問2）現在、貴事業所が排出する産業廃棄物の処理に関する課題について伺います。該当する番号を選び、○を付けてください。（複数回答可）

1. 排出量が増加している
2. 処理コストが増加している
3. リサイクルされる割合が減少している
4. 処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない
5. 課題は特にない
6. その他

産業廃棄物の処理に関する課題については、「特にない」が41%で最も高く、業種別でも高い割合となっている。

なお、産業廃棄物の処理に関する課題としては、「処理コストが増加している」が29%、「処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない」が13%となっている。

表 8-2-1 産業廃棄物の処理に関する課題

(複数回答)	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 排出量が増加している	36	8%	12	6%	18	8%	6	18%
2. 処理コストが増加している	130	29%	57	30%	67	29%	6	18%
3. リサイクルされる割合が減少している	20	4%	9	5%	11	5%	0	0%
4. 処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない	59	13%	19	10%	36	16%	4	12%
5. 課題は特にない	187	41%	84	44%	89	38%	14	41%
6. その他	23	5%	8	4%	11	5%	4	12%
合計	455	100%	189	100%	232	100%	34	100%

第3節 処理困難な廃棄物について

(設問3-①) 貴事業所において排出する産業廃棄物のうち、処理困難な廃棄物がありますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。	
1. 処理が困難な産業廃棄物はない	
2. 処理が困難な産業廃棄物がある	

処理が困難な産業廃棄物の有無については、「ない」が89%であり、「ある」が11%である。

表 8-3-1 処理困難な産業廃棄物の有無

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 処理が困難な産業廃棄物はない	344	89%	146	92%	169	86%	29	91%
2. 処理が困難な産業廃棄物がある	43	11%	13	8%	27	14%	3	9%
合計	387	100%	159	100%	196	100%	32	100%

(設問3-②) ①で2に○をつけた方は、以下の質問にお答えください。	
主な処理困難な廃棄物の種類、性状及び原因（下記 ア～オから選択）を記載してください。	
処理困難な原因（複数選択可）	
ア	処理費用が高い
イ	委託先の確保が困難である
ウ	再利用ができない
エ	分別が困難である
オ	その他

処理が困難な産業廃棄物が「ある」事業者における理由については、「処理費用が高い」、「委託先の確保が困難である」及び「再利用が出来ない」への割合が高かった。

回答が多い廃棄物の種類は、「汚泥」、廃塗料やPCBなどを含む「廃油」、「廃プラスチック類」及び建築廃材などの「がれき類」であった。

表 8-3-2 処理困難な産業廃棄物の種類と理由

(複数回答)	全体		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉄くず	がれき類	感染性廃棄物	その他				
		割合																	蛍光灯	バッテリー	複合材	有害物	その他
ア 処理費用が高い	26	25%	0	6	8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	2	3
イ 委託先の確保が困難である	21	20%	0	3	4	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	2	0	1	4
ウ 再利用できない	24	23%	0	4	6	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	2	1
エ 分別が困難である	18	17%	0	2	2	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	5	0	1	2	0	0	1
オ その他	17	16%	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	2	0	4	2
合計	106	100%	0	17	20	1	0	13	0	1	0	0	0	3	4	2	13	0	6	6	0	9	11
	(100%)	-	(0%)	(16%)	(19%)	(1%)	(0%)	(12%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(0%)	(3%)	(4%)	(2%)	(12%)	(0%)	(6%)	(6%)	(0%)	(8%)	(10%)

第4節 産業廃棄物の発生抑制や減量化に関する取り組みについて

（設問4）貴事業所において、産業廃棄物の発生抑制や減量化するために取り組んでいること、また、リサイクルのために取り組んでいることについてお伺いします。

取組内容毎に該当する欄に○を付けてください。また、「検討した結果から実施しない」場合は、その主な理由について、以下のア～キから選んで記号を「実施しない理由」欄に記入してください。

実施しない理由（複数選択可）

- ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない
- イ 技術的に困難である
- ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない
- エ 経費がかかる
- オ 人材の余裕がない
- カ 必要性を感じない
- キ その他

1. 製造工程の改善や原材料の転換

「製造工程の改善や原材料の転換」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると41%であり、「実施していない」とする割合を下回っている。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」が40%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が21%、「必要性を感じない」が15%となっている。

表 8-4-1-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	151	39%	42	26%	106	54%	3	9%
(今後1年ぐらいで)実施予定	9	2%	3	2%	5	3%	1	3%
検討していないので実施していない	115	30%	64	40%	35	18%	16	50%
検討した結果から実施しない	50	13%	17	11%	28	14%	5	16%
未回答(実施していない)	64	16%	34	21%	23	12%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-1-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	21	21%	13	35%	5	10%	3	23%
イ 技術的に困難である	40	40%	11	30%	23	46%	6	46%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	3	3%	1	3%	2	4%	0	0%
エ 経費がかかる	9	9%	4	11%	4	8%	1	8%
オ 人材の余裕がない	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
カ 必要性を感じない	15	15%	6	16%	8	16%	1	8%
キ その他	11	11%	2	5%	7	14%	2	15%
合計	100	100%	37	100%	50	100%	13	100%

2. 産業廃棄物の分別の徹底

「産業廃棄物の分別の徹底」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 86%であり、「実施していない」とする割合を大きく上回っている。

「実施していない」理由としては、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 30%、「必要性を感じない」が 25%、「人材の余裕がない」が 15%となっている。

表 8-4-2-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	327	84%	139	87%	178	90%	10	31%
(今後1年ぐらいで)実施予定	7	2%	6	4%	1	1%	0	0%
検討していないので実施していない	17	4%	2	1%	4	2%	11	34%
検討した結果から実施しない	12	3%	5	3%	3	2%	4	13%
未回答(実施していない)	26	7%	8	5%	11	6%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-2-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	6	30%	4	67%	1	13%	1	17%
イ 技術的に困難である	2	10%	0	0%	1	13%	1	17%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ 経費がかかる	2	10%	0	0%	2	25%	0	0%
オ 人材の余裕がない	3	15%	1	17%	2	25%	0	0%
カ 必要性を感じない	5	25%	1	17%	1	13%	3	50%
キ その他	2	10%	0	0%	1	13%	1	17%
合計	20	100%	6	100%	8	100%	6	100%

3. 自社で減量化・再資源化施設を整備

「自社で減量化・再資源化施設を整備」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 25%であり、「実施していない」とする割合を下回っている。

「実施していない」理由としては、「経費がかかる」が 46%、「技術的に困難である」が 19%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 15%となっている。

表 8-4-3-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	89	23%	29	18%	53	27%	7	22%
(今後1年ぐらいで)実施予定	6	2%	1	1%	5	3%	0	0%
検討していないので実施していない	150	39%	66	41%	70	36%	14	44%
検討した結果から実施しない	78	20%	33	21%	41	21%	4	13%
未回答(実施していない)	66	17%	31	19%	28	14%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-3-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	23	15%	9	15%	11	13%	3	30%
イ 技術的に困難である	29	19%	11	18%	15	18%	3	30%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	4	3%	2	3%	2	2%	0	0%
エ 経費がかかる	71	46%	27	44%	40	48%	4	40%
オ 人材の余裕がない	6	4%	4	6%	2	2%	0	0%
カ 必要性を感じない	16	10%	6	10%	10	12%	0	0%
キ その他	7	4%	3	5%	4	5%	0	0%
合計	156	100%	62	100%	84	100%	10	100%

4. 他事業所へ再生資源として提供

「他事業所へ再生資源として提供」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 50%であり、「実施していない」とする割合と同じであった。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」が 32%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 23%、「施設又は取引できる業者が近くにいない」が 16%となっている。

表 8-4-4-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	191	49%	92	58%	92	47%	7	22%
(今後1年ぐらいで)実施予定	3	1%	2	1%	1	1%	0	0%
検討していないので実施していない	98	25%	32	20%	51	26%	15	47%
検討した結果から実施しない	43	11%	12	8%	27	14%	4	13%
未回答(実施していない)	54	14%	22	14%	26	13%	6	19%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-4-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	17	23%	6	33%	9	19%	2	22%
イ 技術的に困難である	24	32%	4	22%	17	35%	3	33%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	12	16%	2	11%	9	19%	1	11%
エ 経費がかかる	6	8%	2	11%	3	6%	1	11%
オ 人材の余裕がない	2	3%	0	0%	2	4%	0	0%
カ 必要性を感じない	5	7%	2	11%	3	6%	0	0%
キ その他	9	12%	2	11%	5	10%	2	22%
合計	75	100%	18	100%	48	100%	9	100%

5. 再生資源（原料）・再生品を積極的に利用

「再生資源（原料）・再生品を積極的に利用」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 56%であり、「実施していない」とする割合を上回っている。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」が 39%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」及び「必要性を感じない」が 12%となっている。

表 8-4-5-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	212	54%	114	71%	92	47%	6	19%
(今後1年ぐらいで)実施予定	9	2%	5	3%	4	2%	0	0%
検討していないので実施していない	68	17%	14	9%	40	20%	14	44%
検討した結果から実施しない	42	11%	7	4%	30	15%	5	16%
未回答(実施していない)	58	15%	20	13%	31	16%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-5-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	8	12%	5	50%	1	2%	2	18%
イ 技術的に困難である	26	39%	3	30%	20	43%	3	27%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	5	7%	0	0%	4	9%	1	9%
エ 経費がかかる	6	9%	0	0%	6	13%	0	0%
オ 人材の余裕がない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
カ 必要性を感じない	8	12%	0	0%	6	13%	2	18%
キ その他	14	21%	2	20%	9	20%	3	27%
合計	67	100%	10	100%	46	100%	11	100%

6. 減量化・再資源化・再利用の目標値を設定

「減量化・再資源化・再利用の目標値を設定」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 41%であり、「実施していない」とする割合を下回っている。

「実施していない」理由としては、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 24%、「技術的に困難である」が 23%、「必要性を感じない」が 19%となっている。

表 8-4-6-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	136	35%	39	24%	92	47%	5	16%
(今後1年ぐらいで)実施予定	25	6%	16	10%	8	4%	1	3%
検討していないので実施していない	130	33%	65	41%	51	26%	14	44%
検討した結果から実施しない	37	10%	15	9%	17	9%	5	16%
未回答(実施していない)	61	16%	25	16%	29	15%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-6-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	21	24%	10	31%	7	16%	4	36%
イ 技術的に困難である	20	23%	6	19%	11	24%	3	27%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	3	3%	0	0%	2	4%	1	9%
エ 経費がかかる	4	5%	1	3%	3	7%	0	0%
オ 人材の余裕がない	10	11%	4	13%	5	11%	1	9%
カ 必要性を感じない	17	19%	7	22%	9	20%	1	9%
キ その他	13	15%	4	13%	8	18%	1	9%
合計	88	100%	32	100%	45	100%	11	100%

7. グリーン調達（環境に配慮した物品の優先的選択）

「グリーン調達」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 57%であり、「実施していない」とする割合を上回っている。

「実施していない」理由としては、「必要性を感じない」が 24%、「経費がかかる」が 22%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 21%となっている。

表 8-4-7-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	202	52%	78	49%	118	60%	6	19%
(今後1年ぐらいで)実施予定	19	5%	15	9%	4	2%	0	0%
検討していないので実施していない	79	20%	26	16%	39	20%	14	44%
検討した結果から実施しない	34	9%	17	11%	12	6%	5	16%
未回答(実施していない)	55	14%	24	15%	24	12%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-7-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	12	21%	6	33%	3	10%	3	30%
イ 技術的に困難である	11	19%	1	6%	8	27%	2	20%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	2	3%	0	0%	2	7%	0	0%
エ 経費がかかる	13	22%	8	44%	5	17%	0	0%
オ 人材の余裕がない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
カ 必要性を感じない	14	24%	3	17%	8	27%	3	30%
キ その他	6	10%	0	0%	4	13%	2	20%
合計	58	100%	18	100%	30	100%	10	100%

8. 廃棄物や環境に関する専任部署の設置

「廃棄物や環境に関する専任部署の設置」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 38%であり、「実施していない」とする割合を下回っている。

「実施していない」理由としては、「人材の余裕がない」が 53%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」、「経費がかかる」及び「必要性を感じない」が 12%となっている。

表 8-4-8-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	134	34%	30	19%	100	51%	4	13%
(今後1年ぐらいで)実施予定	16	4%	14	9%	2	1%	0	0%
検討していないので実施していない	128	33%	63	39%	49	25%	16	50%
検討した結果から実施しない	51	13%	26	16%	20	10%	5	16%
未回答(実施していない)	60	15%	27	17%	26	13%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-8-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	14	12%	8	15%	3	6%	3	23%
イ 技術的に困難である	7	6%	2	4%	3	6%	2	15%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
エ 経費がかかる	13	12%	10	19%	3	6%	0	0%
オ 人材の余裕がない	60	53%	26	50%	30	63%	4	31%
カ 必要性を感じない	14	12%	5	10%	6	13%	3	23%
キ その他	4	4%	1	2%	2	4%	1	8%
合計	113	100%	52	100%	48	100%	13	100%

9. 社員教育の徹底

「社員教育の徹底」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」を合わせると 77%であり、「実施していない」とする割合を大きく上回っている。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」、「人材の余裕がない」及び「必要性を感じない」が 21%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 18%となっている。

表 8-4-9-1 取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	279	72%	122	76%	150	76%	7	22%
(今後1年ぐらいで)実施予定	20	5%	8	5%	11	6%	1	3%
検討していないので実施していない	42	11%	13	8%	15	8%	14	44%
検討した結果から実施しない	7	2%	3	2%	1	1%	3	9%
未回答(実施していない)	41	11%	14	9%	20	10%	7	22%
合計	389	100%	160	100%	197	100%	32	100%

表 8-4-9-2 実施していない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	5	18%	3	33%	0	0%	2	20%
イ 技術的に困難である	6	21%	1	11%	2	22%	3	30%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	1	4%	0	0%	1	11%	0	0%
エ 経費がかかる	2	7%	1	11%	1	11%	0	0%
オ 人材の余裕がない	6	21%	1	11%	3	33%	2	20%
カ 必要性を感じない	6	21%	3	33%	2	22%	1	10%
キ その他	2	7%	0	0%	0	0%	2	20%
合計	28	100%	9	100%	9	100%	10	100%

第5節 県内の産業廃棄物処理施設について

（設問5）秋田県内に不足していると感じる廃棄物処理施設はありますか。該当する番号を選び、○を付けてください。（複数回答可）

1. 産業廃棄物最終処分場（安定型）
2. 産業廃棄物最終処分場（管理型）
3. 産業廃棄物焼却施設（感染性廃棄物の処理を含む）
4. 再資源化施設（再生利用可能な製品をつくることのできる施設）
5. その他
6. 特に感じない

県内に不足していると感じる廃棄物処理施設については、「特に感じない」が37%で最も高く、次いで「再資源化施設」が35%となっている。また、業種別では建設業及び電気・水道業において「特に感じない」の割合が高くなっている。一方、製造業においては、「再資源化施設」の割合が高くなっている。

表 8-5-1 県内に不足している廃棄物処理施設

(複数回答)	全 体		建 設 業		製 造 業		電 気・水 道 業	
		割合		割合		割合		割合
1. 産業廃棄物最終処分場(安定型)	38	8%	26	12%	10	5%	2	5%
2. 産業廃棄物最終処分場(管理型)	58	12%	33	16%	18	8%	7	18%
3. 産業廃棄物焼却施設(感染性廃棄物の処理を含む)	27	6%	16	8%	9	4%	2	5%
4. 再資源化施設(再生利用可能な製品を作ることができる施設)	162	35%	51	24%	98	45%	13	33%
5. その他	10	2%	4	2%	6	3%	0	0%
6. 特に感じない	171	37%	81	38%	75	35%	15	38%
合 計	466	100%	211	100%	216	100%	39	100%

第6節 環境保全センターのあり方について

（設問6）県では、県内中小企業等の産業廃棄物の処理を補完する目的で、大仙市に環境保全センター（管理型最終処分場）を設置し、稼働させていますが、この環境保全センターの今後のあり方について伺います。（複数回答可）

1. 産業廃棄物処理は事業者責任が基本であり、県が積極的に関わるべきではない
2. 民業を圧迫しないよう民間が処理できない処理困難物に限定すべきである
3. 減量化・リサイクルを促進するため、受入物を原則として中間処理残さに限るべきである
4. 産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである
5. 県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである
6. その他

環境保全センターのあり方については、「産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである」が47%、「県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである」が36%となっており、公共関与の必要性を望む意見が多い。

表 8-6-1 環境保全センター（県営処分場）のあり方

(複数回答)	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 産業廃棄物処理は事業者責任が基本であり、県が積極的に関わるべきではない	6	1%	3	1%	3	1%	0	0%
2. 民業は圧迫しないよう民間が処理できない処理困難物に限定すべきである	48	9%	20	9%	24	9%	4	10%
3. 減量化・リサイクルを促進するため、受入物を原則として中間処理残さに限るべきである	22	4%	6	3%	13	5%	3	8%
4. 産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである	245	47%	118	54%	107	41%	20	51%
5. 県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである	185	36%	65	30%	108	41%	12	31%
6. その他	12	2%	5	2%	7	3%	0	0%
合計	518	100%	217	100%	262	100%	39	100%

第 7 節 産業廃棄物税について

（設問 7）県内の最終処分場へ産業廃棄物を搬入する際に排出事業者に課税される秋田県産業廃棄物税を平成 16 年から導入しておりますが、税制度は、貴事業所における廃棄物の発生抑制やリサイクルの取り組みに有効ですか。該当する番号を 1 つ選び、○を付けてください。

1. 有効であると思う
2. わからない
3. 有効であるとは思わない

廃棄物の発生抑制やリサイクルの取り組みに対する産業廃棄物税の有効性については、「わからない」が 53%と最も高く、業種別でも高い割合となっている。

なお、「有効であると思う」と「有効であるとは思わない」を比較した場合、「有効であると思う」が高い割合となっている。

表 8-7-1 産業廃棄物税

	全 体		建 設 業		製 造 業		電 気・水 道 業	
		割合		割合		割合		割合
1. 有効であると思う	137	36%	56	35%	68	35%	13	42%
2. わからない	203	53%	90	57%	99	52%	14	45%
3. 有効であるとは思わない	41	11%	12	8%	25	13%	4	13%
合 計	381	100%	158	100%	192	100%	31	100%

第8節 県への要望について

（設問8）廃棄物の減量化・リサイクルや適正処理を進めるため、県ではどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。次のうち必要だと思われるものを次のA～Jより3つまで選択し、下の回答欄に優先順位が高いものから順番にご記入してください。

- A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり
- B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり
- C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底
- D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援
- E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備
- F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分
- G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導
- H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援
- I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動
- J. その他

県への要望としては、「廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり」が加重合計及び単純合計ともに最も多く、次いで、「公共関与の廃棄物処理施設の整備」となっている。

表 8-8-1 県への要望

	加重合計		単純合計		回答内訳		
		割合		割合	1番	2番	3番
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	524	23%	205	18%	139	41	25
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	207	9%	92	8%	38	39	15
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	112	5%	54	5%	14	30	10
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	260	12%	139	13%	35	51	53
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	348	16%	166	15%	53	76	37
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	130	6%	73	7%	18	21	34
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	152	7%	89	8%	9	45	35
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	283	13%	155	14%	38	52	65
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	201	9%	128	12%	28	17	83
J. その他	23	1%	11	1%	5	2	4
合計	2240	100%	1112	100%	377	374	361

備考)加重合計を行うにあたって、1番を3点、2番を2点、3番を1点とした。

表 8-8-2 県への要望（業種別）

単純合計	建設業		製造業		電気・製造業	
		割合		割合		割合
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	73	16%	114	21%	18	20%
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	49	10%	40	7%	3	3%
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	28	6%	20	4%	6	7%
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	52	11%	71	13%	16	17%
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	63	13%	87	16%	16	17%
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	45	10%	20	4%	8	9%
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	35	7%	48	9%	6	7%
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	69	15%	77	14%	9	10%
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	47	10%	71	13%	10	11%
J. その他	7	1%	4	1%	0	0%
合計	468	100%	552	100%	92	100%

加重合計	建設業		製造業		電気・製造業	
		割合		割合		割合
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	187	20%	290	26%	47	25%
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	117	12%	83	7%	7	4%
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	63	7%	37	3%	12	6%
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	101	11%	133	12%	26	14%
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	127	13%	185	17%	36	19%
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	77	8%	39	4%	14	8%
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	57	6%	84	8%	11	6%
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	129	14%	137	12%	17	9%
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	71	8%	115	10%	15	8%
J. その他	12	1%	11	1%	0	0%
合計	941	100%	1114	100%	185	100%

備考)加重合計を行うにあたって、1番を3点、2番を2点、3番を1点とした。

第9章 産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査結果

産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査は、排出事業者から県及び市へ提出された平成 23 年度の産業廃棄物管理票交付等状況報告書及び電子マニフェスト登録等に関する報告書を基に集計を行った。その結果については、以下に示すとおりである。

第1節 報告状況について

平成 23 年度実績として報告された産業廃棄物管理票交付等状況報告書から集計された報告書件数は 3,787 件、産業廃棄物管理票交付枚数は 174,518 枚、排出量は 793 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等に関する報告書から集計された報告件数は 441 件、産業廃棄物管理票交付枚数は 30,447 枚、排出量は 364 千トンとなっている。

表 9-1-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告事業場数	交付枚数	排出量 (千t)
秋田市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,356	1,322	65,279	213
	電子マニフェスト登録等状況報告書	68	67	570	7
		1,424	1,389	65,849	219
県北	産業廃棄物管理票交付状況報告書	944	919	47,595	348
	電子マニフェスト登録等状況報告書	137	136	10,995	347
		1,081	1,055	58,590	695
県央	産業廃棄物管理票交付状況報告書	540	513	19,410	102
	電子マニフェスト登録等状況報告書	116	116	16,391	7
		656	629	35,801	109
県南	産業廃棄物管理票交付状況報告書	947	899	42,234	130
	電子マニフェスト登録等状況報告書	120	112	2,491	3
		1,067	1,011	44,725	134
合計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,787	3,653	174,518	793
	電子マニフェスト登録等状況報告書	441	431	30,447	364
		4,228	4,084	204,965	1,157

第2節 排出量について

1 業種別の排出状況

排出量を業種大分類別にみると、電気・水道業の 345 千トン（29.8%）、建設業の 287 千トン（24.8%）、製造業の 261 千トン（22.5%）で 77.1%を占めている。

また、製造業において排出量が多かった業種を中分類別にみると、パルプ・紙で 34 千トン、非鉄金属で 27 千トン、窯業・土石で 21 千トンとなっている。

表 9-2-1 業種別排出量

排出量 (千t/年)	全業種	農業・ 林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ 水道業	情報通信 業	運輸業	卸・小売 業	医療・ 福祉	その他
合 計	1,157 (100.0%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)	287 (24.8%)	261 (22.5%)	345 (29.8%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	57 (4.9%)	21 (1.8%)	181 (15.7%)

表 9-2-2 製造業における中分類別排出量

排出量 (千t/年)	製造業	パルプ・紙	非鉄金属	窯業・土石	電気機械	電子部品	その他
合 計	261 (100.0%)	34 (12.9%)	27 (10.2%)	21 (7.9%)	11 (4.3%)	7 (2.7%)	162 (62.0%)

2 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、ばいじんが 398 千トン（34.4%）で最も多く、次いで、がれき類が 243 千トン（21.0%）、燃え殻が 128 千トン（11.1%）となっている。

なお、ばいじんは、電気業において 289 千トン（ばいじんの排出量の 72.6%）と多くを占めている。

表 9-2-3 種類別排出量

(単位: 千t/年)	
種類: 変換	排 出 量
合 計	1,157 (100.0%)
ば い じ ん	398 (34.4%)
が れ き 類	243 (21.0%)
燃 え 殻	128 (11.1%)
汚 泥	81 (7.0%)
鉱 さ い	75 (6.5%)
廃プラスチック類	38 (3.3%)
木 く ず	30 (2.6%)
廃 油	28 (2.4%)
そ の 他	136 (11.7%)

3 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、県北地域が 695 千トン（60.0％）で最も多く、以下、秋田市で 219 千トン（19.0％）、県南地域で 134 千トン（11.5％）、県央地域で 109 千トン（9.5％）となっている。

表 9-2-4 地域別排出量

(単位:千t/年)				
全県	秋田市	県北	県央	県南
1,157 (100.0%)	219 (19.0%)	695 (60.0%)	109 (9.5%)	134 (11.5%)

第3節 地域別処分量について

1 産業廃棄物の処分状況

産業廃棄物の処分先は、北海道・東北ブロックにおいて1,104千トン（95.3%）となっている。

また、県別の処分状況をみると、秋田県で841千トン（72.7%）、北海道で141千トン（12.2%）、青森県で64千トン（5.6%）となっており、県内での処分がほとんどを占めている。

表 9-3-1 地域ブロック別処分状況

処分量 (千t/年)	全地域	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
合 計	1,157 (100.0%)	1,104 (95.3%)	5 (0.4%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48 (4.2%)

表 9-3-2 地域ブロック別処分状況（上位10位）

処分量 (千t/年)	全地域	秋田県	北海道	青森県	福岡県	新潟県	岩手県	山形県	栃木県	宮城県	千葉県	その他の地域
合 計	1,157 (100.0%)	841 (72.7%)	141 (12.2%)	64 (5.6%)	48 (4.2%)	32 (2.8%)	17 (1.5%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	2 (0.2%)	2 (0.1%)	3 (0.3%)

2 県内での処分状況

県内での処分状況を地域別にみると、県北地域が430千トン（51.1%）で最も多く、以下、秋田市で195千トン（23.2%）、県南地域で138千トン（16.4%）、県央地域で78千トン（9.3%）となっている。

なお、市町村別にみると小坂町で272千トン（32.4%）、秋田市で195千トン（23.2%）であり、全体の約6割を占めている。

表 9-3-3 県内地域別処分状況

処分量 (千t/年)	秋田県	秋田市	県北	県央	県南
合 計	841 (100.0%)	195 (23.2%)	430 (51.1%)	78 (9.3%)	138 (16.4%)

表 9-3-4 県内市町村別処分状況（上位10位）

処分量 (千t/年)	秋田県	小坂町	秋田市	大館市	大仙市	潟上市	横手市	北秋田市	能代市	湯沢市	由利本荘市	その他の地域
合 計	841 (100.0%)	272 (32.4%)	195 (23.2%)	70 (8.3%)	54 (6.4%)	48 (5.7%)	43 (5.1%)	34 (4.0%)	33 (3.9%)	22 (2.6%)	17 (2.0%)	54 (6.4%)

第4節 平成24年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ調査結果との対比

1 集計結果について

平成24年秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ調査で得られた結果と対比した。

産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査で得られた排出量は、平成24年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ調査で得られた産業廃棄物の発生量と大きな差がみられた。

表 9-4-1 県内地域別処分状況

(単位:千t/年)

	排出量 合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他
フォローアップ調査※1	1937	378	650	875	34
マニフェスト調査※2	1157	287	261	345	264

※1平成24年度産業廃棄物実態調査フォローアップ調査における発生量

※2産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査における排出量

また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査を集計するにあたり、いくつかの問題点があげられた。産業廃棄物管理票交付等状況報告書及び電子マニフェスト登録等に関する報告書のなかで、記入内容を共通の表現にするため、ほぼすべての報告書に修正が必要であった。なお、産業廃棄物の種類、処分受託者の氏名又は名称、処分場所の住所などの記入が不十分で、報告事業所へ確認をした内容が34件、集計に使用出来ず無効となった報告書が2件あった。

産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査は、産業廃棄物の処理を委託した排出事業者（マニフェスト交付者）が、提出した報告書を集計したものである。一方、フォローアップ調査は、アンケート調査で得られた廃棄物量を原単位法により補正し、算出したものである。

平成24年度産業廃棄物実態調査フォローアップ調査の発生量と産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査の排出量において差がみられたのは、産業廃棄物管理票（マニフェスト）調査では、中間処理されず他者へ売却した有償物量や委託をせずに排出事業者自ら処理した廃棄物量などを集計できないのに対し、産業廃棄物実態調査フォローアップ調査では、それらの情報を加えた発生量を集計できることも一因として考えられる。

参 考 資 料

< 統 計 表 >

統計表目次

表 1 業種別種類別の結果表【平成 23 年度】

表 1-1	発生量	72
表 1-2	有償物量	73
表 1-3	排出量	74
表 1-4	搬出量	75
表 1-5	自己最終処分量	76
表 1-6	委託処理量	77
表 1-7	委託中間処理量	78
表 1-8	委託直接最終処分量	79
表 1-9	委託最終処分量	80
表 1-10	最終処分量	81
表 1-11	再生利用量	82
表 1-12	資源化量	83
表 1-13	排出量＜秋田市＞	84
表 1-14	排出量＜県北地域＞	85
表 1-15	排出量＜県央地域＞	86
表 1-16	排出量＜県南地域＞	87

表 2 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜業種別＞【平成 23 年度】

表 2-1	全業種	88
表 2-2	建設業	90
表 2-3	製造業	92
表 2-4	電気・水道業	94
表 2-5	その他の業種	96

表 3 発生量及び処理・処分状況（種類別：無変換）【平成 23 年度】

表 3-1	全業種	98
表 3-2	建設業	100
表 3-3	製造業	102
表 3-4	電気・水道業	104
表 3-5	その他の業種	106

表 4 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜地域別＞【平成 23 年度】

表 4-1	秋田市	・ ・ ・ ・ ・	108
表 4-2	県北地域	・ ・ ・ ・ ・	110
表 4-3	県央地域	・ ・ ・ ・ ・	112
表 4-4	県南地域	・ ・ ・ ・ ・	114

表 5 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜地域別＞【平成 23 年度】

表 5-1	全地域	・ ・ ・ ・ ・	116
表 5-2	秋田市	・ ・ ・ ・ ・	118
表 5-3	県北地域	・ ・ ・ ・ ・	120
表 5-4	県央地域	・ ・ ・ ・ ・	122
表 5-5	県南地域	・ ・ ・ ・ ・	124

表 6 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）

表 6-1	将来予測結果（平成 25 年度）	・ ・ ・ ・ ・	126
表 6-2	将来予測結果（平成 26 年度）	・ ・ ・ ・ ・	128

表 7 発生量及び処理・処分状況（業種別）

表 7-1	将来予測結果（平成 25 年度）	・ ・ ・ ・ ・	130
表 7-2	将来予測結果（平成 26 年度）	・ ・ ・ ・ ・	132

表 8 鉱業の発生量及び処理・処分状況（種類別）【平成 21 年度】

表 8-1	変換	・ ・ ・ ・ ・	134
表 8-2	無変換	・ ・ ・ ・ ・	136

表1-1 発生量（業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 業 種	
				料	料・飼	維	材	具	ル ・ 紙	刷	学	炭	ス チ ック	ム	革	業 ・ 土 石	鋼	鉄 金 属	属	機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の							
合計	1,937	378	650	12	4	2	115	2	297	0	10	5	4	1		15	11	114	10	11	1	6	22	7	1	875	433	0	35	406	34	
燃え殻	41		6		0		3		3							0							0			35	35			0	0	
汚泥	881	8	334	10	3	1		0	277	0	9	0	0	0		8	0	2	2	3	1	4	12	1	0	530	93	0	31	406	9	
有機性汚泥	703	0	293	10	3	1		0	276		0		0			0				0		0	2			406			0	406	4	
無機性汚泥	178	8	41	0		0			1	0	8	0		0		8	0	2	2	3	1	4	10	1	0	124	93	0	31		5	
廃油	22	0	13	0			0			0	0	5	0			0	0	0	0	1	0	0	4	2	0	0	0		0	0	9	
一般廃油	16	0	7	0							0	5	0			0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0			0	9	
廃溶剤	2		2								0						0		0	0	0		2	0	0	0			0		0	
その他	4	0	4				0			0	0		0				0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0		0		0	
廃酸	2	0	2	0							0					0	0	0	1	0		0	0		0	0			0		0	
廃アルカリ	7		7							0	0		0			0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	34	11	15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	29	11	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5	
紙くず	0	0	0							0																					0	
木くず	138	24	114	0			112	1			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
繊維くず	1	0	1			1										0																
動植物性残さ	2		2	2	0																		0									
動物系固形不要物	0		0	0																												
ゴムくず	0		0											0			0	0													0	
金属くず	18	5	9	0			0	0		0	0		0	0		0	0	0	2	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	3
ガラス陶磁器くず	11	5	6	0	0	0	0		0		0	0	0			5	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			0	0	
鉱さい	121		121								0					0	9	110	3	0			0	0		0	0					
がれき類	325	320	2													2		0	0	0	0			0		4		0	4		0	
コンクリート片	170	168	2													2			0	0	0					0		0	0		0	
廃アスファルト	150	146	0															0								4			4		0	
その他	6	6	0																	0				0								
ばいじん	323		17						16								1									306	306			0		
その他の産業廃棄物	9	5	1	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0	0	0	0		0		0			4	
感染性廃棄物	2		0								0									0			0								2	
混合物等	8	5	1	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0	0	0	0		0		0			2	

表1-2 有償物量（業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業種 種類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ
				料	料・ 飼料	維	材	具	ル ブ・ 紙	刷	学	油・ 石炭	ラ スチ ック	ム	革	業・ 土 石	鋼	鉄 金 属	属	般 機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の 他	気・ 水 道 業	気 業	ス 業	水 道 業	水 道 業	の 他 の 業 種
合計	130	1	23	0	0	0	10			0	0	4		0		0	1	0	2	1	0	0	2	4		100	100	0			6
燃え殻	0		0													0															
汚泥	92																									92	92				0
有機性汚泥																															
無機性汚泥	92																									92	92				0
廃油	10		5	0								4					0			0			1	0		0	0				6
一般廃油	9		4	0								4					0						0	0		0	0				6
廃溶剤	1		1																	0			1								
その他	0		0																				0								
廃酸																															
廃アルカリ	0																														0
廃プラスチック類	0		0																				0	0							0
廃プラスチック	0		0																				0	0							0
廃タイヤ	0																														0
紙くず	0		0							0																					
木くず	10	0	10				10																								
繊維くず	0		0			0																									
動植物性残さ	0		0	0	0																										
動物系固形不要物																															
ゴムくず																															
金属くず	8	1	6	0			0			0	0			0		0	0	0	1	1	0	0	0	3		0		0			0
ガラス陶磁器くず	0		0																				0								
鉱さい	1		1														1		0												
がれき類	0	0																													
コンクリート片	0	0																													
廃アスファルト	0	0																													
その他																															
ばいじん	8																									8	8				
その他の産業廃棄物	0		0																				0								0
感染性廃棄物																															
混合物等	0		0																				0								0

表1-3 排出量（業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 業 種	
				料	料・飼	維	材	具	ル ・ 紙	刷	学	炭	ス チ ック	ム	革	業 ・ 土 石	鋼	鉄 金 属	属	機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の							
合計	1,806	377	627	12	4	2	106	2	297	0	10	2	4	1		15	10	114	9	10	1	6	20	4	1	775	333	0	35	406	28	
燃え殻	40		6		0		3		3														0			35	35			0	0	
汚泥	789	8	334	10	3	1		0	277	0	9	0	0	0		8	0	2	2	3	1	4	12	1	0	439	1	0	31	406	9	
有機性汚泥	703	0	293	10	3	1		0	276		0		0			0				0		0	2			406			0	406	4	
無機性汚泥	86	8	41	0		0			1	0	8	0		0		8	0	2	2	3	1	4	10	1	0	33	1	0	31		5	
廃油	11	0	8	0			0			0	0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0		0	0	4	
一般廃油	7	0	3	0							0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0			0	3	
廃溶剤	1		1								0						0		0	0	0		0	0	0	0			0		0	
その他	4	0	4				0			0	0		0				0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0		0		0	
廃酸	2	0	2	0							0					0	0	0	1	0		0	0		0	0			0		0	
廃アルカリ	7		7							0	0		0			0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	34	11	15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	29	11	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5	
紙くず	0	0																													0	
木くず	128	24	104	0			102	1			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
繊維くず	1	0	1			1										0																
動植物性残さ	2		2	2	0																		0									
動物系固形不要物	0		0	0																												
ゴムくず	0		0											0			0														0	
金属くず	10	4	3	0			0	0			0		0				0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
ガラス陶磁器くず	11	5	6	0	0	0	0		0		0	0	0			5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
鉱さい	121		121								0					0	8	110	3	0			0	0		0	0					
がれき類	325	320	2													2		0	0	0	0			0		4		0	4		0	
コンクリート片	170	168	2													2			0	0	0					0		0	0		0	
廃アスファルト	150	146	0															0								4			4		0	
その他	6	6	0																	0				0								
ばいじん	315		17						16								1									297	297			0		
その他の産業廃棄物	9	5	1	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0		0	0		0		0			4	
感染性廃棄物	2		0								0									0			0								2	
混合物等	8	5	0	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0		0	0		0		0			2	

表1-4 搬出量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 業 種	
				料	料・飼	維	材	具	ル ・ 紙	刷	学	炭	ス チ ック	ム	革	業 ・ 土 石	鋼	鉄 金 属	属	機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の							
合計	960	342	221	5	0	2	9	0	33	0	5	2	1	1		6	10	114	8	9	0	2	12	2	1	374	332	0	5	37	24	
燃え殻	55		19	0	0		5	0	14		0												0			35	35			1	0	
汚泥	71	8	21	3	0	0		0	2	0	4	0	0	0		3	0	2	1	2	0	0	3	0	0	37	0	0	1	36	5	
有機性汚泥	41	0	5	3	0	0		0	1		0		0			0				0		0	0			36			0	36	0	
無機性汚泥	30	8	17	0		0			1	0	4	0		0		3	0	2	1	2	0	0	3	0	0	1	0	0	1		5	
廃油	11	0	7	0			0			0	0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0		0	0	3	
一般廃油	7	0	3	0							0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0			0	3	
廃溶剤	1		1								0						0		0	0	0		0	0	0	0			0		0	
その他	3	0	3				0			0	0		0				0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0		0		0
廃酸	2	0	2	0							0					0	0	0	1	0		0	0		0	0			0		0	
廃アルカリ	7		7							0	0		0			0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	30	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	25	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5	
紙くず	0	0																													0	
木くず	26	21	5	0			4	0			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
繊維くず	1	0	1			1										0																
動植物性残さ	2		2	1	0																		0									
動物系固形不要物	0		0	0																												
ゴムくず	0		0											0			0	0													0	
金属くず	9	4	2	0			0	0			0		0				0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
ガラス陶磁器くず	8	5	3	0	0	0	0		0		0	0	0			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
鉱さい	121		121								0					0	8	110	3	0			0	0		0	0					
がれき類	293	288	2													2		0	0	0	0			0		4		0	4		0	
コンクリート片	151	149	2													2			0	0	0					0		0	0		0	
廃アスファルト	137	133	0															0								4			4		0	
その他	6	6	0																	0				0								
ばいじん	314		17						16								1									297	297			0		
その他の産業廃棄物	9	5	1	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0	0	0	0		0		0			3	
感染性廃棄物	2		0								0									0			0								2	
混合物等	7	5	0	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0	0	0	0		0		0			2	

表1-5 自己最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(单位: 千 t/年)

[illegible]

表1-6 委託処理量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 業 種
				料	料・飼	維	材	具	ル ・ 紙	刷	学	炭	ス チ ック	ム	革	業 ・ 土 石	鋼	属	属	機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の						
合計	827	339	106	4	0	2	8	0	33	0	2	2	1	1		6	10	4	8	9	0	2	12	2	1	359	321	0	4	33	24
燃え殻	50		19	0	0		5	0	14														0			31	30			1	0
汚泥	64	8	18	3	0	0		0	2	0	0	0	0	0		3	0	2	1	2	0	0	3	0	0	33	0	0	0	32	5
有機性汚泥	37	0	5	3	0	0		0	1		0		0			0				0		0	0			32			0	32	0
無機性汚泥	26	8	13	0		0			1	0	0	0		0		3	0	2	1	2	0	0	3	0	0	1	0	0	0		5
廃油	11	0	7	0			0			0	0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0		0	0	3
一般廃油	7	0	3	0							0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0			0	3
廃溶剤	1		1								0						0		0	0	0		0	0	0	0			0		0
その他	3	0	3				0			0	0		0				0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0		0		0
廃酸	2	0	2	0							0					0	0	0	1	0		0	0		0	0			0		0
廃アルカリ	7		7							0	0		0			0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0			0		0
廃プラスチック類	30	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	8
廃プラスチック	25	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2
廃タイヤ	5		0								0																				5
紙くず	0	0																													0
木くず	26	21	4	0			3	0			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
繊維くず	1	0	1			1										0															
動植物性残さ	1		1	1	0																		0								
動物系固形不要物	0		0	0																											
ゴムくず	0		0											0			0	0													0
金属くず	9	4	2	0			0	0			0		0				0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
ガラス陶磁器くず	8	5	3	0	0	0	0		0		0	0	0			1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0			0	0
鉱さい	11		11								0					0	8		3	0			0	0		0	0				
がれき類	290	284	2													2		0	0	0	0			0		4		0	4		0
コンクリート片	150	148	2													2			0	0	0					0		0	0		0
廃アスファルト	134	130	0															0								4			4		0
その他	6	6	0																	0				0							
ばいじん	308		17						16								1									291	291			0	
その他の産業廃棄物	9	5	1	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0		0	0		0		0			3
感染性廃棄物	2		0								0									0			0								2
混合物等	7	5	0	0	0	0					0		0			0		0	0	0	0		0	0		0		0			2

表1-7 委託中間処理量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 業 種
				料	料・飼	維	材	具	ル ・ 紙	刷	学	炭	ス チ ック	ム	革	業 ・ 土 石	鋼	鉄 金 属	属	機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の						
合 計	727	320	83	3	0	1	6	0	31	0	1	2	0	0		3	3	2	5	8	0	2	12	2	1	302	268	0	4	30	22
燃え殻	33		16				2		14														0			17	17			0	0
汚泥	49	4	10	2	0	0			0	0	0	0				0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	30	0	0	0	30	5
有機性汚泥	33	0	3	2	0	0					0					0				0		0	0			30				30	0
無機性汚泥	16	4	7						0	0	0	0				0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4
廃油	11	0	7	0			0			0	0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3
一般廃油	7	0	3	0							0	1	0			0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0		0	3	
廃溶剤	1		1								0						0		0	0	0		0	0	0	0			0	0	
その他	3	0	3				0			0	0		0				0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	2	0	2	0							0					0	0	0	1	0		0	0		0	0			0	0	
廃アルカリ	7		7							0	0		0			0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0			0	0	
廃プラスチック類	28	10	10	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	1	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	7	
廃プラスチック	23	10	10	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	1	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	
廃タイヤ	5		0								0																			5	
紙くず	0	0																												0	
木くず	24	20	4	0			3				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	1	0	1			1										0															
動植物性残さ	1		1	1	0																		0								
動物系固形不要物	0		0	0																											
ゴムくず	0		0											0			0	0												0	
金属くず	9	4	2	0			0				0		0				0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
ガラス陶磁器くず	3	1	2	0	0		0		0		0	0	0			1		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	
鉱さい	3		3								0					0	2		0	0			0	0		0	0				
がれき類	285	279	2													2		0	0	0				0		4		0	4		0
コンクリート片	150	148	2													2			0	0						0		0	0		0
廃アスファルト	134	130	0															0								4			4		0
その他	0	0	0																					0							
ばいじん	267		16						16																	250	250			0	
その他の産業廃棄物	6	2	0	0		0					0		0			0		0	0	0			0	0		0		0			3
感染性廃棄物	2		0								0									0			0								2
混合物等	4	2	0	0		0					0		0			0		0	0	0			0	0		0		0			2

表1-8 委託直接最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ	
				料	料・飼	維	材	具	ル	紙	刷	学	炭	ラ	ム	革	業・土	鋼	鉄	属	属	機	機	報	子	送	の	気・水	気	ス	水	水
				品	料	維	材	具	紙	刷	学	炭	ラ	ム	革	業・土	鋼	鉄	属	属	機	機	報	子	送	の	気・水	気	ス	水	水	の
合計	100	19	23	1	0	0	3	0	3	0	0		0	0		3	7	2	3	0	0		0	0	0	57	54		0	3	1	
燃え殻	17		3	0	0		3	0	1																	13	13			1	0	
汚泥	15	4	8	0	0	0		0	2		0		0	0		3	0	2	0	0	0			0		3	0		0	2	0	
有機性汚泥	4	0	2	0	0	0		0	1		0		0													2			0	2	0	
無機性汚泥	11	3	7	0		0			1					0		3	0	2	0	0	0			0		1	0		0		0	
廃油																																
一般廃油																																
廃溶剤																																
その他																																
廃酸																																
廃アルカリ																																
廃プラスチック類	3	1	1	0	0	0		0		0	0			0				0	0	0	0			0	0	0					0	
廃プラスチック	3	1	1	0	0	0		0		0	0			0				0	0	0	0			0	0	0					0	
廃タイヤ																																
紙くず	0	0																														
木くず	1	1	0					0										0		0				0							0	
繊維くず	0	0	0			0																										
動植物性残さ																																
動物系固形不要物																																
ゴムくず																																
金属くず	1	0	0					0										0		0				0		0	0				0	
ガラス陶磁器くず	5	4	1	0		0					0					0	0	0	0	0	0			0	0						0	
鉱さい	8		8														6		3	0												
がれき類	5	5	0																	0	0					0			0		0	
コンクリート片	0	0	0																		0										0	
廃アスファルト	0	0																								0			0			
その他	5	5	0																	0												
ばいじん	42		1														1									41	41					
その他の産業廃棄物	4	3	0	0	0											0		0		0	0		0								0	
感染性廃棄物																																
混合物等	4	3	0	0	0											0		0		0	0		0								0	

表1-9 委託最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(单位: 千 t/年)

[illegible]

表1-10 最終処分量（業種別・種別別：変換）＜平成23年度＞

(单位: 千 t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	産業廃棄物(単位：千t/年)																				電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 の 業 種	
				食 料 品	飲 料 ・ 飼 料	繊 維	木 材	家 具	パ ル プ ・ 紙	印 刷	化 学	石 油 ・ 石 炭	プ ラ ス チ ッ ク	ゴ ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	一 般 機 器	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	電 子 部 品							輸 送 機 器
合計	245	35	141	1	0	1	5	0	3	0	4	0	0	0	3	7	112	3	1	0	0	1	0	0	63	55	0	0	8	6
燃え殻	25	2	5	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	14	0	0	5	0	
汚泥	22	4	12	1	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	2	
有機性汚泥	5	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0		
無機性汚泥	17	4	10	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2		
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
廃プラスチック	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
廃タイヤ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	3	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
ガラス陶磁器くず	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱さい	118	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	110	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コンクリート片	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	42	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41	0	0	0		
その他の産業廃棄物	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

表1-11 再生利用量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ	
				料	料・飼	維	材	具	ル	紙	刷	学	油・石	ラ	ム	革	業・土	鋼	鉄	属	属	般	機	機	報	子	送	の	気・水	気	ス	水
品				品	料	維	材	具	紙	紙	学	炭	ス	ム	革	石	鋼	鉄	属	属	器	器	器	品	器	他	道	業	業	道	道	業
合計	711	332	92	1	0	0	37	0	30	0	1	0	2	0		6	3	0	1	4	0	0	4	1	0	278	267	0	6	5	10	
燃え殻	20	0	3						2		0	0	0			0		0	0	0		0	0	0	0	17	17				0	
汚泥	23	1	15	0	0				12		0					0			0	1		0	1	0	0	7	0		2	5	0	
有機性汚泥	17		12	0	0				12		0												0			5				5	0	
無機性汚泥	7	1	3						0							0			0	1		0	1	0	0	2	0		2		0	
廃油	2	0	0								0							0	0	0	0		0	0	0	0	0				2	
一般廃油	2	0	0															0	0	0	0		0	0		0	0				2	
廃溶剤	0		0																	0	0		0		0						0	
その他	0		0								0									0	0		0	0							0	
廃酸	0		0														0		0	0			0		0						0	
廃アルカリ	0		0							0									0	0		0	0	0	0						0	
廃プラスチック類	20	9	6	0		0	0	0			0		2	0		0	0		0	2	0	0	1	0	0	0	0	0			5	
廃プラスチック	16	9	6	0		0	0	0			0		2	0		0	0		0	2	0	0	1	0	0	0	0	0			1	
廃タイヤ	4																														4	
紙くず	0	0																													0	
木くず	58	20	38	0			37				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0	
繊維くず	0	0	0			0																										
動植物性残さ	1		1	1	0																		0									
動物系固形不要物	0		0	0																												
ゴムくず	0		0											0			0															
金属くず	8	3	3	0			0				0		0				0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
ガラス陶磁器くず	5	1	4	0	0				0		0					3			0	0	0	0	0	0		0	0				0	
鉱さい	3		3													0	2						0	0								
がれき類	303	297	2													2				0						4			4		0	
コンクリート片	156	154	2													2				0						0			0		0	
廃アスファルト	147	143																								4			4		0	
その他	0	0																														
ばいじん	266		16						16																	250	250					
その他の産業廃棄物	1	1	0	0							0									0			0	0							0	
感染性廃棄物																																
混合物等	1	1	0	0							0									0			0	0							0	

表1-12 資源化量（業種別・種類別：変換）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ	
				料	料・飼料	維	材	具	ル ブ・紙	刷	学	油・石炭	ラ スチック	ム	革	業・土 石	鋼	鉄 金 属	属	般 機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の 他	気・水 道 業	気 業	ス 業	水 道 業	水 道 業	の 他 の 業 種	
合計	841	333	115	1	1	0	47	0	30	0	1	4	2	0		6	3	0	2	5	0	0	5	5	0	378	367	0	6	5	16	
燃え殻	20	0	3						2		0	0	0			0		0	0	0		0	0	0	0	17	17				0	
汚泥	115	1	15	0	0				12		0					0			0	1		0	1	0	0	98	92		2	5	0	
有機性汚泥	17		12	0	0				12		0												0			5				5	0	
無機性汚泥	98	1	3						0							0			0	1		0	1	0	0	94	92		2		0	
廃油	13	0	5	0							0	4					0	0	0	0	0		1	0	0	0	0				7	
一般廃油	11	0	4	0								4					0	0	0	0	0		0	0		0	0				7	
廃溶剤	1		1																0	0		1		0							0	
その他	0		0								0									0	0		0	0							0	
廃酸	0		0														0		0	0			0		0						0	
廃アルカリ	1		0							0									0	0		0	0	0	0						0	
廃プラスチック類	21	9	6	0		0	0	0			0		2	0		0	0		0	2	0	0	2	0	0	0	0	0			5	
廃プラスチック	16	9	6	0		0	0	0			0		2	0		0	0		0	2	0	0	2	0	0	0	0	0			1	
廃タイヤ	4																														4	
紙くず	0	0	0							0																					0	
木くず	68	20	48	0			47				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			0	
繊維くず	0	0	0			0																										
動植物性残さ	1		1	1	0																		0									
動物系固形不要物	0		0	0																												
ゴムくず	0		0											0			0															
金属くず	15	4	9	0			0			0	0		0	0		0	0	0	2	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0		2	
ガラス陶磁器くず	5	1	4	0	0				0		0					3			0	0	0	0	0	0		0	0				0	
鉱さい	3		3													0	3		0				0	0								
がれき類	303	297	2													2				0						4			4		0	
コンクリート片	156	154	2													2				0						0			0		0	
廃アスファルト	147	143																								4			4		0	
その他	0	0																														
ばいじん	274		16						16																	258	258					
その他の産業廃棄物	1	1	0	0							0									0		0	0	0							0	
感染性廃棄物																																
混合物等	1	1	0	0							0									0		0	0	0							0	

表1-13 排出量（秋田市 業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ
				料	料・飼	維	材	具	ル	刷	学	油・石	ラ	ム	革	業・土	鋼	鉄	属	般	気	報	子	送	の	気・水	気	ス	水	水	の
品			業	品	料	維	材	具	紙	刷	学	炭	ス	チ	ク	石	鉄	金	属	機	機	通	部	機	他	道	業	業	道	道	業
合計	810	113	419	5	3	0	81		293	0	8					1	8	2	7	0			9	1		262	3	0	26	233	16
燃え殻	4		4		0		1		2																						0
汚泥	571	2	303	5	3	0			275		7					0		2	1				9			260	1	0	26	233	6
有機性汚泥	521	0	285	5	3				274		0												2			233				233	4
無機性汚泥	50	2	18			0			1		7					0		2	1				7			28	1	0	26		2
廃油	2	0	0							0	0					0	0	0	0	0			0	0							2
一般廃油	2	0	0								0					0		0	0	0			0	0							2
廃溶剤	0		0								0						0						0								0
その他	0	0	0							0	0						0		0	0			0								0
廃酸	1	0	1								0					0	0		0				0								0
廃アルカリ	3		3							0	0					0	0		3				0								0
廃プラスチック類	8	3	1	0		0			0		0					0	0	0	0	0			0	0		0		0			4
廃プラスチック	5	3	1	0		0			0		0					0	0	0	0	0			0	0		0		0			1
廃タイヤ	3	0	0								0																				3
紙くず	0	0																													0
木くず	87	7	79				79				0					0	0	0	0	0			0			0		0			0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	0		0		0																										
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0		0														0														0
金属くず	4	1	1	0			0				0						0	0	0	0			0	1		0	0	0			2
ガラス陶磁器くず	2	1	1		0				0		0					0			0				0								0
鉱さい	10		10								0					0	7		3				0								
がれき類	96	96																								0		0			0
コンクリート片	50	50																								0		0			0
廃アスファルト	44	44																													
その他	2	2																													
ばいじん	19		17						16								0									2	2				
その他の産業廃棄物	3	2	0			0					0					0		0	0				0	0		0		0			1
感染性廃棄物	1		0								0												0								0
混合物等	3	2	0			0					0					0		0	0				0	0		0		0			1

表1-14 排出量（県北地域 業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	業 種																				電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業	上 水 道 業	下 水 道 業	そ の 他 の 業 種	
				食 料 品	飲 料 ・ 飼 料	織 維	木 材	家 具	パ ル プ ・ 紙	印 刷	化 学	石 油 ・ 石 炭	プ ラ ス チ ッ ク	ゴ ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	一 般 機 器	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	電 子 部 品							輸 送 機 器
合 計	643	87	148	3		1	11	0	3		2		0	0		8	2	111	0	5	0	0	0	0	405	330		4	71	4
燃え殻	36		1				1		0																35	35			0	0
汚泥	89	2	12	2		1			3		1			0		5		0	0	0	0		0	0	75	0		4	71	0
有機性汚泥	76	0	5	2		1			3															71				71	0	
無機性汚泥	13	2	7								1			0		5		0	0	0	0		0	4	0		4			0
廃油	1	0	1				0				0		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
一般廃油	1	0	0								0		0				0		0			0		0	0	0			0	0
廃溶剤	0		0								0																			
その他	0	0	0				0				0		0				0	0	0	0	0	0								0
廃酸	0	0	0	0							0						0	0					0							0
廃アルカリ	0		0								0						0	0				0		0						0
廃プラスチック類	10	3	6	0		0	0	0			0		0	0		0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0			0	1
廃プラスチック	9	3	6	0		0	0	0			0		0	0		0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0			0	1
廃タイヤ	1	0																												1
紙くず	0	0																												0
木くず	17	5	12	0			11	0			0						0		0											0
繊維くず	0	0	0			0																								
動植物性残さ	0		0	0																										
動物系固形不要物	0		0	0																										
ゴムくず	0		0														0													
金属くず	2	1	0	0							0						0		0	0		0			0	0			0	1
ガラス陶磁器くず	5	1	4			0					0					3	0	0		0					0	0			0	0
鉱さい	111		111														1	110	0						0	0				
がれき類	74	74	0															0	0	0										0
コンクリート片	39	39	0																0	0										0
廃アスファルト	34	34	0															0												
その他	1	1	0																0											
ばいじん	296		1														1								295	295				
その他の産業廃棄物	2	1	0	0							0		0			0	0		0			0								1
感染性廃棄物	1		0								0								0											1
混合物等	2	1	0	0									0			0	0					0								0

表1-15 排出量（県央地域 業種別・種別）＜平成23年度＞

(单位: 千 t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	業 種																			電 気 ・ 水 道 業					そ の 他 の 業 種		
				食 料 品	飲 料 ・ 飼 料	織 維	木 材	家 具	パ ル プ ・ 紙	印 刷	化 学	石 油 ・ 石 炭	プ ラ ス チ ッ ク ム	ゴ ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	一 般 機 器	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	電 子 部 品	輸 送 機 器	電 気 ・ 水 道 業	電 気 業	ガ ス 業		上 水 道 業	下 水 道 業
合 計	145	72	37	2	0	0	14	0				2	0		6	1		1	2	0	0	10			34	0		1	33	2
燃え殻	1		1				1															0								
汚泥	45	2	9	1	0							0			3	0		0	1	0	0	3			34			1	33	0
有機性汚泥	35	0	1	1	0										0			0		0	0				33			0	33	0
無機性汚泥	11	1	8	0								0			3	0		0	1	0	0	3			1			1		0
廃油	5	0	5	0			0					1	0			0		0	0	0	0	3			0	0		0		0
一般廃油	2	0	2	0								1	0			0		0	0	0	0	0			0	0				0
廃溶剤	0		0														0	0	0		0				0			0		0
その他	2	0	2				0								0		0	0	0	0	0	2			0	0		0		0
廃酸	1	0	1												0		0	0			0				0			0		0
廃アルカリ	1		1									0				0		0	0	0	0	1			0			0		0
廃プラスチック類	6	2	3	0		0	0	0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	2			0	0				1
廃プラスチック	5	2	3	0		0	0	0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	2			0	0				0
廃タイヤ	1	0																												1
紙くず	0	0																												
木くず	17	4	13	0			12	0					0		0			0		0	0	0			0	0				0
繊維くず	0	0	0			0								0																
動植物性残さ	0		0	0																	0									
動物系固形不要物																														
ゴムくず	0																													0
金属くず	2	1	1				0						0		0		0	0	0	0	0	0			0	0			0	0
ガラス陶磁器くず	2	1	1	0	0		0					0	0		1		0	0	0	0	0	0			0	0				0
鉱さい	0		0																			0								
がれき類	62	61	2												2										0			0		0
コンクリート片	33	32	2												2															0
廃アスファルト	28	28																							0			0		
その他	1	1																												
ばいじん																														
その他の産業廃棄物	2	1	0		0	0							0					0	0		0									1
感染性廃棄物	0																													0
混合物等	1	1	0		0	0	0						0					0	0		0									

表1-16 排出量（県南地方 業種別・種類別）＜平成23年度＞

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建 設 業	製 造 業	食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	一	電	情	電	輸	そ	電	電	ガ	上	下	そ
				料	料・飼	維	材	具	ル ・紙	刷	学	炭	ス チック	ム	革	業・土 石	鋼	鉄 金 属	属	般 機 器	機 器	報 通 信 機 器	子 部 品	送 機 器	の 他	気・水 道 業	業	業	業	業	業
合 計	208	106	23	2	0	0		1		0			4	0				0	0	4	1	6	1	3	0	74			4	70	5
燃え殻																															
汚泥	83	2	10	1	0			0		0			0					0	0	2	1	4	0	1	0	70			0	69	2
有機性汚泥	71	0	1	1	0			0					0													69				69	0
無機性汚泥	13	2	8							0								0	0	2	1	4	0	1	0	0			0		2
廃油	3	0	2															0	0	0	0	0	0	1	0						1
一般廃油	2	0	1															0	0	0	0	0	0	1							1
廃溶剤	0		0																	0			0	0	0						
その他	1	0	1															0	0	0		0	0	0	0						0
廃酸	0	0	0															0	0	0		0			0						0
廃アルカリ	2		2							0								0	0	0		1		0	0						0
廃プラスチック類	10	3	5	0	0	0		0		0			4	0				0	0	0	0	0	0	1	0	0					1
廃プラスチック	9	3	5	0	0	0		0		0			4	0				0	0	0	0	0	0	1	0	0					1
廃タイヤ	1	0																													1
紙くず	0	0																													
木くず	8	7	1	0				1					0					0	0	0	0	0	0	0	0						0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	1		1	1	0																		0								
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0		0											0																	
金属くず	3	1	1					0										0		0	0		0	1	0						0
ガラス陶磁器くず	2	1	0	0	0															0	0	0	0	0							0
鉱さい	0		0																	0				0							
がれき類	94	90	0																		0			0		4			4		0
コンクリート片	47	47	0																		0					0			0		0
廃アスファルト	45	41																								4			4		0
その他	2	2	0																					0							
ばいじん	0																									0				0	
その他の産業廃棄物	2	1	0	0																				0							1
感染性廃棄物	0																														0
混合物等	2	1	0	0																				0							0

表2-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：変換 ）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	1937	130	1806	884	113	60	3	36	9	5	922	15	110	691	91	15	960	113	113	
燃え殻	41	0	40		36	22	0	12	2	0	40			21	15	5	55	0	0	
汚泥	881	92	789	755	40	3	3	23	7	4	34	0	0	26	8	0	71	3	3	
有機性汚泥	703		703	691	29	0		22	3	4	12			11	0		41			
無機性汚泥	178	92	86	64	10	2	3	1	3	0	22	0	0	14	8	0	30	3	3	
廃油	22	10	11	1	0	0		0			11	0		11		0	11			
一般廃油	16	9	7	0	0	0		0			7	0		7		0	7			
廃溶剤	2	1	1								1			1			1			
その他	4	0	4	0	0			0			3			3			3			
廃酸	2		2								2			2			2			
廃アルカリ	7	0	7	0	0			0			7			7		0	7			
廃プラスチック類	34	0	34	2	0	0		0	0		31	1		28	3	0	30			
廃プラスチック	29	0	29	2	0	0		0	0		26	1		23	3		25			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	138	10	128	96	9	9		0			32	6		24	1	1	26			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	2	0	2	0	0	0		0		0	2	0		1		1	2			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	18	8	10	1	1	1		0			9	0		9	1		9			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	3	2	2		0			8			3	5		8			
鉱さい	121	1	121								121		110	3	8		121	110	110	
がれき類	325	0	325	26	24	23		1		1	300	8		284	5	3	293			
コンクリート片	170	0	170	16	15	14		0			154	3		150	0	1	151			
廃アスファルト	150	0	150	10	10	8		1		1	140	5		133	0	2	137			
その他	6		6								6			0	5		6			
ばいじん	323	8	315	0	0			0			314			267	42	6	314			
その他の産業廃棄物	9	0	9	0	0			0	0		9			6	4	0	9			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2			
混合物等	8	0	8	0	0				0		7			4	4	0	7			

表2-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：変換 ）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			事業者
合計	827	100	89	11	99	0	727	702	26	408	319	668	636	32	711	245	113	16	115	20	841	
燃え殻	50	17	16	1	17		33	33		2	31	31	20	11	20	25		5	20	9	20	
汚泥	64	15	11	4	15	0	49	24	25	36	13	23	21	3	23	22	3	5	13	0	115	
有機性汚泥	37	4	2	2	4	0	33	9	25	23	10	17	16	0	17	5		3	2		17	
無機性汚泥	26	11	9	2	11	0	16	16		13	3	6	4	2	7	17	3	2	11	0	98	
廃油	11						11	11	0	10	1	2	2	0	2	0			0	0	13	
一般廃油	7						7	7	0	6	1	2	2	0	2	0			0	0	11	
廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		1	
その他	3						3	3	0	3	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃酸	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	7						7	7	0	6	1	0	0	0	0	0			0	0	1	
廃プラスチック類	30	3	2	1	3	0	28	28	0	23	5	21	19	2	20	5		1	4	0	21	
廃プラスチック	25	3	2	1	3	0	23	22	0	17	5	16	15	1	16	4		1	3		16	
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	26	1	1	1	1	0	24	24	0	24	0	22	21	1	58	3	0	1	3	1	68	
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1	0	0	1	1	1		1					1	1	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0	
金属くず	9	1	0	1	1		9	9	0	8	1	9	7	2	8	2		1	2		15	
ガラス陶磁器くず	8	5	2	3	5	0	3	3	0	3	0	3	2	0	5	5		3	3		5	
鉱さい	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	118	110	0	8		3	
がれき類	290	5	5	0	5	0	285	284	0	284	1	284	272	12	303	17		1	17	3	303	
コンクリート片	150	0	0	0	0		150	150	0	150	0	150	138	12	156	12		0	12	1	156	
廃アスファルト	134	0	0		0		134	134		134	0	133	133	0	147	0			0	3	147	
その他	6	5	5	0	5	0	0	0		0	0	0	0	0	0	5		0	5		0	
ばいじん	308	42	42	0	42		267	267		5	262	266	266	0	266	42		0	42	6	274	
その他の産業廃棄物	9	4	3	0	4		6	5	0	6	0	2	1	1	1	5		0	4	0	1	
感染性廃棄物	2						2	2	0	2												
混合物等	7	4	3	0	4		4	4	0	4	0	2	1	1	1	5		0	4	0	1	

表2-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
合計	378	1	377	28	27	25		1		1	348	8		319	19	3	342			
燃え殻																				
汚泥	8		8								8	0		4	4		8			
有機性汚泥	0		0								0			0	0		0			
無機性汚泥	8		8								8	0		4	3		8			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	11		11	0	0			0			11			10	1	0	11			
廃プラスチック	11		11	0	0			0			11			10	1		11			
廃タイヤ	0		0								0					0	0			
紙くず	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	24	0	24	2	2	2		0			21			20	1	0	21			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	5	1	4	0	0			0			4			4	0		4			
ガラス陶磁器くず	5		5	0	0	0		0			5			1	4		5			
鉱さい																				
がれき類	320	0	320	26	24	23		1		1	294	8		278	5	3	288			
コンクリート片	168	0	168	16	15	14		0			152	3		148	0	1	149			
廃アスファルト	146	0	146	10	10	8		1		1	137	5		130	0	2	133			
その他	6		6								6			0	5		6			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	5		5								5			2	3		5			
感染性廃棄物																				
混合物等	5		5								5			2	3		5			

表2-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量										再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)				
		委託直接最終処分量						委託中間処理量													
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		処理主体の内訳								
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)		(委託処理後の処理内訳)		事業者			自治体	処理業者		
													再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)							
(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)																		
合計	339	19	13	6	19	0	320	319	0	319	1	315	299	16	332	35		7	28	3	333
燃え殻												2	0	2	0	2		0	1		0
汚泥	8	4	2	1	4		4	4		4		1	1	0	1	4		1	3		1
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
無機性汚泥	8	3	2	1	3		4	4		4		1	1	0	1	4		1	3		1
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃溶剤																					
その他	0						0	0		0											
廃酸	0						0	0		0											
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	11	1	1	1	1	0	10	10		10		10	9	1	9	2		1	1	0	9
廃プラスチック	11	1	1	1	1	0	10	10		10		10	9	1	9	2		1	1		9
廃タイヤ																				0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	21	1	1	1	1	0	20	20		20	0	18	18	0	20	2		1	1	0	20
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	4	0	0	0	0		4	4		4	0	4	3	1	3	1		0	1		4
ガラス陶磁器くず	5	4	1	2	4	0	1	1		1	0	1	1	0	1	4		2	2		1
鉱さい																					
がれき類	284	5	5	0	5	0	279	279	0	278	1	278	266	12	297	17		1	16	3	297
コンクリート片	148	0	0	0	0		148	148	0	148	0	148	136	12	154	12		0	11	1	154
廃アスファルト	130	0	0		0		130	130		130	0	130	130	0	143	0			0	3	143
その他	6	5	5	0	5	0	0	0		0	0	0	0	0	0	5		0	5		0
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	5	3	3	0	3		2	2		2		1	1	1	1	4		0	4		1
感染性廃棄物																					
混合物等	5	3	3	0	3		2	2		2		1	1	1	1	4		0	4		1

表2-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量							
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(自己未処理の処理内訳)					(G)		(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外						
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)															
合計	650	23	627	422	55	32	3	14	6	0	205	7	110	69	17	2	221	113	113						
燃え殻	6	0	6		35	22	0	12	1	0	6			4	2		19	0	0						
汚泥	334		334	322	10	0	3	1	5		12			8	4		21	3	3						
有機性汚泥	293		293	290	2			0	2		3			2	0		5								
無機性汚泥	41		41	32	8	0	3	1	3		9			6	3		17	3	3						
廃油	13	5	8	0	0	0		0			7	0		7			7								
一般廃油	7	4	3	0	0	0		0			3	0		3			3								
廃溶剤	2	1	1								1			1			1								
その他	4	0	4	0	0			0			3			3			3								
廃酸	2		2								2			2			2								
廃アルカリ	7		7								7			7			7								
廃プラスチック類	15	0	15	2	0	0		0	0		13	1		10	1		11								
廃プラスチック	15	0	15	2	0	0		0	0		13	1		10	1		11								
廃タイヤ	0		0								0			0			0								
紙くず	0	0																							
木くず	114	10	104	93	6	6					11	6		4	0	1	5								
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1								
動植物性残さ	2	0	2	0	0	0		0		0	2	0		1		1	2								
動物系固形不要物	0		0								0			0			0								
ゴムくず	0		0								0			0			0								
金属くず	9	6	3	1	1	1					2			2	0		2								
ガラス陶磁器くず	6	0	6	3	2	2					3			2	1		3								
鉱さい	121	1	121								121		110	3	8		121	110	110						
がれき類	2		2								2			2	0		2								
コンクリート片	2		2								2			2	0		2								
廃アスファルト	0		0								0			0			0								
その他	0		0								0			0	0		0								
ばいじん	17		17								17			16	1		17								
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0				0		0			0	0		1								
感染性廃棄物	0		0								0			0			0								
混合物等	1	0	0	0	0				0		0			0	0		0								

表2-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量												委託中間処理量			再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		処理主体の内訳								
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		事業者	自治体		処理業者				
													再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
																			(Q1)	(Q2)		
合計	106	23	21	2	23	0	83	83	0	41	42	58	53	5	92	141	113	2	26	2	115	
燃え殻	19	3	3	0	3		16	16		2	14	6	3	3	3	5		0	5	0	3	
汚泥	18	8	7	1	8	0	10	10	0	7	3	16	15	1	15	12	3	1	8		15	
有機性汚泥	5	2	2	0	2		3	3	0	2	0	12	12	0	12	2		0	2		12	
無機性汚泥	13	7	6	1	7	0	7	7		4	3	3	3	0	3	10	3	1	6		3	
廃油	7						7	7	0	6	1	0	0	0	0	0			0	0	5	
一般廃油	3						3	3		3	1	0	0	0	0	0			0		4	
廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		1	
その他	3						3	3	0	3	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃酸	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	7						7	7		6	1	0	0	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	11	1	1	0	1		10	10		5	5	5	5	0	6	1		0	1		6	
廃プラスチック	11	1	1	0	1		10	10		5	5	5	5	0	6	1		0	1		6	
廃タイヤ	0						0	0		0		0										
紙くず																					0	
木くず	4	0	0	0	0		4	4		4	0	4	4	0	38	2	0	0	2	1	48	
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0		0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1	0	0	1	1	1		1					1	1	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0	
金属くず	2	0	0	0	0		2	2		1	1	2	2	0	3	0		0	0		9	
ガラス陶磁器くず	3	1	1	0	1	0	2	2		2	0	2	2	0	4	1		0	1		4	
鉱さい	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	118	110	0	8		3	
がれき類	2	0	0		0		2	2		2		2	2	0	2	0			0		2	
コンクリート片	2	0	0		0		2	2		2		2	2	0	2	0			0		2	
廃アスファルト	0						0	0		0												
その他	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0			
ばいじん	17	1	1		1		16	16		4	12	16	16		16	1			1		16	
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
感染性廃棄物	0						0	0		0												
混合物等	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	

表2-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内		県外		
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
合計	875	100	775	430	31	2		21	3	4	346	0		281	54	11	374			
燃え殻	35		35		1				1		35			17	13	5	35			
汚泥	530	92	439	429	30	2		21	2	4	10			9	1	0	37			
有機性汚泥	406		406	397	27	0		21	2	4	9			9	0		36			
無機性汚泥	124	92	33	32	3	2		0	0	0	1			0	0	0	1			
廃油	0	0	0								0	0		0			0			
一般廃油	0	0	0								0	0		0			0			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラスチック類	0		0								0			0			0			
廃プラスチック	0		0								0			0			0			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鋳さい	0		0								0			0			0			
がれき類	4		4								4			4	0		4			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト	4		4								4			4	0		4			
その他																				
ばいじん	306	8	297	0	0			0			297			250	41	6	297			
その他の産業廃棄物	0		0								0			0			0			
感染性廃棄物																				
混合物等	0		0								0			0			0			

(その2)

委託処理量

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量										委託中間処理量 (L)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	その他量			資源化量 (S) (B+R)			
		(O)	(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)				(M)				(委託処理後の処理内訳)		処理主体の内訳				
			業者	自治体	県内	県外	(処理主体の内訳) 業者 自治体	(処理先地域の内訳) 県内 県外	(委託処理後の処理内訳)						事業者	自治体	処理業者				
									再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)											
合計	359	57	54	3	57	0	302	277	25	25	277	281	275	6	278	63		8	55	15	378
燃え殻	31	13	13	1	13		17	17		0	17	23	17	6	17	19		5	14	9	17
汚泥	33	3	1	2	3	0	30	5	25	20	10	4	4	0	7	3		3	1	0	98
有機性汚泥	32	2	0	2	2	0	30	5	25	20	10	4	4	0	5	3		3	0		5
無機性汚泥	1	1	1	0	1		0	0		0	0	0	0	0	2	1		0	1	0	94
廃油	0						0	0		0	0				0						0
一般廃油	0						0	0		0					0						0
廃溶剤	0						0	0			0										
その他	0						0	0		0	0										
廃酸	0						0	0			0										
廃アルカリ	0						0	0			0										
廃プラスチック類	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0		0						0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
鋳さい	0						0	0		0											
がれき類	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
その他																					
ばいじん	291	41	41	0	41		250	250		1	250	250	250	0	250	41		0	41	6	258
その他の産業廃棄物	0						0	0		0											
感染性廃棄物																					
混合物等	0						0	0		0											

表2-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
					(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外
合計	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0	0			0	0		0		
汚泥	9	0	9	4	0		0	0		0	5		0	5	0	0	5	0	0
有機性汚泥	4		4	4	0			0			0			0	0		0		
無機性汚泥	5	0	5	0	0		0	0		0	5		0	4	0	0	5	0	0
廃油	9	6	4	0	0	0		0			3	0		3		0	3		
一般廃油	9	6	3	0	0	0		0			3	0		3		0	3		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
その他	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0	0	0	0	0			0			0			0		0	0		
廃プラスチック類	8	0	8	0	0			0			8			7	0	0	8		
廃プラスチック	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2		
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5		
紙くず	0		0								0			0			0		
木くず	0		0								0			0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	3	0	3	0	0	0					3	0		3	0		3		
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0		
鉱さい																			
がれき類	0		0								0			0	0		0		
コンクリート片	0		0								0			0	0		0		
廃アスファルト	0		0								0			0			0		
その他																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	4	0	4	0	0			0	0		3			3	0	0	3		
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2		
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			2	0	0	2		

表2-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
		委託直接最終処分量				委託中間処理量									最終処分量					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(委託処理後の処理内訳)								
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		処理主体の内訳							
											再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	事業者		自治体	処理業者				
		(O)				(L)								(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
合計	24	1	1	0	1	22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16
燃え殻	0	0	0		0	0	0		0		0	0	0	0	0		0	0	0	0
汚泥	5	0	0	0	0	5	5		5	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0
有機性汚泥	0	0	0		0	0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	5	0	0	0	0	4	4		4	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0
廃油	3					3	3	0	3		2	2		2					0	7
一般廃油	3					3	3	0	3		2	2		2					0	7
廃溶剤	0					0	0		0											
その他	0					0	0	0	0		0	0		0						0
廃酸	0					0	0		0		0	0		0						0
廃アルカリ	0					0	0	0	0		0	0		0					0	0
廃プラスチック類	8	0	0		0	7	7	0	7		6	5	1	5	2			2	0	5
廃プラスチック	2	0	0		0	2	2	0	2		1	1	0	1	1			1		1
廃タイヤ	5					5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	0					0	0		0		0	0		0						0
木くず	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0					0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	3	0	0		0	3	3	0	3	0	3	2	1	2	1			1		2
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
鉢さい																				
がれき類	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
コンクリート片	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
廃アスファルト	0					0	0		0		0	0		0						0
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	3	0	0		0	3	3	0	3		1	0	0	0	0			0	0	0
感染性廃棄物	2					2	2	0	2											
混合物等	2	0	0		0	2	1	0	2		1	0	0	0	0			0	0	0

表3-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳) 県内 県外		
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)				
合計	1937	130	1806	884	113	60	3	36	9	5	922	15	110	691	91	15	960	113	113	
燃え殻	41	0	40								40			21	15	5	40			
汚泥	881	92	789	755	52	3	3	35	7	4	34	0	0	26	8	0	84	3	3	
有機性汚泥	703		703	691	42	0		34	4	4	12			11	0		54			
無機性汚泥	178	92	86	64	10	2	3	1	3	0	22	0	0	14	8	0	30	3	3	
廃油	22	10	11	1	0	0		0		0	11	0		11		0	11			
一般廃油	16	9	7	0	0	0		0		0	7	0		7		0	7			
廃溶剤	2	1	1								1			1			1			
その他	4	0	4	0	0			0		0	3			3			3			
廃酸	2		2								2			2			2			
廃アルカリ	7	0	7	0	0			0		0	7			7		0	7			
廃プラスチック類	34	0	34	2	0	0		0	0		31	1		28	3	0	30			
廃プラスチック	29	0	29	2	0	0		0	0		26	1		23	3		25			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	138	10	128	96	32	31	0	0	1		32	6		24	1	1	28	0	0	
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	2	0	2	0	0	0		0		0	2	0		1		1	2			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	18	8	10	1	1	1		0			9	0		9	1		9			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	3	2	2		0			8			3	5		8			
鋳さい	121	1	121								121		110	3	8		121	110	110	
がれき類	325	0	325	26	24	23		1		1	300	8		284	5	3	293			
コンクリート片	170	0	170	16	15	14		0			154	3		150	0	1	151			
廃アスファルト	150	0	150	10	10	8		1		1	140	5		133	0	2	137			
その他	6		6								6			0	5		6			
ばいじん	323	8	315	0	0			0			314			267	42	6	314			
その他の産業廃棄物	9	0	9	0	0			0	0		9			6	4	0	9			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2			
混合物等	8	0	8	0	0				0		7			4	4	0	7			

表3-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：無変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量				委託中間処理量									(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			
																						事業者
合計	827	100	89	11	99	0	727	702	26	408	319	668	636	32	711	245	113	16	115	20	841	
燃え殻	36	15	15	0	15		21	21		2	19	21	19	2	19	16		0	16	5	19	
汚泥	76	16	11	5	16	0	61	36	25	36	25	29	21	8	23	27	3	10	14	4	115	
有機性汚泥	50	5	2	3	5	0	45	20	25	23	22	22	16	6	17	10		8	2	4	17	
無機性汚泥	26	11	9	2	11	0	16	16		13	3	7	4	2	7	17	3	2	11	0	98	
廃油	11						11	11	0	10	1	3	2	0	3	0		0	0	0	13	
一般廃油	7						7	7	0	6	1	2	2	0	2	0			0	0	11	
廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0	0	1	
その他	3						3	3	0	3	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	
廃酸	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃アルカリ	7						7	7	0	6	1	1	0	0	0	0			0	0	1	
廃プラスチック類	30	3	2	1	3	0	28	28	0	23	5	22	19	2	21	5		1	4	0	21	
廃プラスチック	25	3	2	1	3	0	23	22	0	17	5	17	15	2	16	4		1	3		17	
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	27	2	2	1	2	0	25	25	0	25	0	22	21	1	58	3	0	1	3	1	68	
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1	0	0	1	1	1	0	1	0		0		1	1	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0	
金属くず	9	1	0	1	1		9	9	0	8	1	9	7	2	8	2		1	2		15	
ガラス陶磁器くず	8	5	2	3	5	0	3	3	0	3	0	3	2	1	5	5		3	3		5	
鉢さい	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	118	110	0	8		3	
がれき類	290	5	5	0	5	0	285	284	0	284	1	285	272	13	303	18		1	17	3	303	
コンクリート片	150	0	0	0	0		150	150	0	150	0	150	138	12	156	12		1	12	1	156	
廃アスファルト	134	0	0		0		134	134		134	0	134	133	1	147	1			1	3	147	
その他	6	5	5	0	5	0	0	0		0	0	0	0	0	0	5		0	5		0	
ばいじん	308	42	42	0	42		267	267		5	262	267	266	1	266	42		0	42	6	274	
その他の産業廃棄物	9	4	3	0	4		6	5	0	6	0	3	1	2	1	6		0	5	0	1	
感染性廃棄物	2						2	2	0	2		0	0	0	0	0		0	0		0	
混合物等	7	4	3	0	4		4	4	0	4	0	3	1	2	1	6		0	5	0	1	

表3-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
合計	378	1	377	28	27	25		1		1	348	8		319	19	3	342			
燃え殻																				
汚泥	8		8								8	0		4	4		8			
有機性汚泥	0		0								0			0	0		0			
無機性汚泥	8		8								8	0		4	3		8			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	11		11	0	0			0			11			10	1	0	11			
廃プラスチック	11		11	0	0			0			11			10	1		11			
廃タイヤ	0		0								0					0	0			
紙くず	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	24	0	24	2	2	2		0			21			20	1	0	21			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	5	1	4	0	0			0			4			4	0		4			
ガラス陶磁器くず	5		5	0	0	0		0			5			1	4		5			
鉱さい																				
がれき類	320	0	320	26	24	23		1		1	294	8		278	5	3	288			
コンクリート片	168	0	168	16	15	14		0			152	3		148	0	1	149			
廃アスファルト	146	0	146	10	10	8		1		1	137	5		130	0	2	133			
その他	6		6								6			0	5		6			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	5		5								5			2	3		5			
感染性廃棄物																				
混合物等	5		5								5			2	3		5			

表3-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量												委託中間処理量 (L)	委託中間処理後量				再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)			処理主体の内訳										
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	事業者	自治体		処理業者										
合計	339	19	13	6	19	0	320	319	0	319	1	315	299	16	332	35		7	28	3	333				
燃え殻																									
汚泥	8	4	2	1	4		4	4		4		1	1	0	1	4		1	3		1				
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0						
無機性汚泥	8	3	2	1	3		4	4		4		1	1	0	1	4		1	3		1				
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0				
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0				
廃溶剤																									
その他	0						0	0		0		0		0		0			0						
廃酸	0						0	0		0		0		0		0			0						
廃アルカリ																									
廃プラスチック類	11	1	1	1	1	0	10	10		10		10	9	1	9	2		1	1	0	9				
廃プラスチック	11	1	1	1	1	0	10	10		10		10	9	1	9	2		1	1		9				
廃タイヤ																				0					
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0				
木くず	21	1	1	1	1	0	20	20		20	0	18	18	1	20	2		1	1	0	20				
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0				
動植物性残さ																									
動物系固形不要物																									
ゴムくず																									
金属くず	4	0	0	0	0		4	4		4	0	4	3	1	3	1		0	1		4				
ガラス陶磁器くず	5	4	1	2	4	0	1	1		1	0	1	1	0	1	4		2	2		1				
鉱さい																									
がれき類	284	5	5	0	5	0	279	279	0	278	1	279	266	13	297	18		1	17	3	297				
コンクリート片	148	0	0	0	0		148	148	0	148	0	148	136	12	154	12		1	11	1	154				
廃アスファルト	130	0	0		0		130	130		130	0	130	130	1	143	1			1	3	143				
その他	6	5	5	0	5	0	0	0		0	0	0	0	0	0	5		0	5		0				
ばいじん																									
その他の産業廃棄物	5	3	3	0	3		2	2		2		2	1	1	1	5		0	4		1				
感染性廃棄物																									
混合物等	5	3	3	0	3		2	2		2		2	1	1	1	5		0	4		1				

表3-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G)	(自己未処理の処理内訳)						県内	県外	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)			
合計	650	23	627	422	55	32	3	14	6	0	205	7	110	69	17	2	221	113	113	
燃え殻	6	0	6								6			4	2		6			
汚泥	334		334	322	22	0	3	13	5		12			8	4		33	3	3	
有機性汚泥	293		293	290	14			12	2		3			2	0		17			
無機性汚泥	41		41	32	8	0	3	1	3		9			6	3		17	3	3	
廃油	13	5	8	0	0	0		0		0	7	0		7			7			
一般廃油	7	4	3	0	0	0		0			3	0		3			3			
廃溶剤	2	1	1								1			1			1			
その他	4	0	4	0	0			0		0	3			3			3			
廃酸	2		2								2			2			2			
廃アルカリ	7		7								7			7			7			
廃プラスチック類	15	0	15	2	0	0		0	0		13	1		10	1		11			
廃プラスチック	15	0	15	2	0	0		0	0		13	1		10	1		11			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず	0	0																		
木くず	114	10	104	93	30	28	0	0	1		11	6		4	0	1	7	0	0	
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	2	0	2	0	0	0		0		0	2	0		1		1	2			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	9	6	3	1	1	1					2			2	0		2			
ガラス陶磁器くず	6	0	6	3	2	2					3			2	1		3			
鉱さい	121	1	121								121		110	3	8		121	110	110	
がれき類	2		2								2			2	0		2			
コンクリート片	2		2								2			2	0		2			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0	0		0			
ばいじん	17		17								17			16	1		17			
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0				0		0			0	0		1			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	1	0	0	0	0				0		0			0	0		0			

表3-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：無変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量												委託中間処理量			再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q)	処理主体の内訳							
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		事業者	自治体		処理業者				
													再生利用量						最終処分量			
																				(M1)		
合計	106	23	21	2	23	0	83	83	0	41	42	58	53	5	92	141	113	2	26	2	115	
燃え殻	6	2	2	0	2		4	4		2	2	4	2	2	2	4		0	4		2	
汚泥	30	8	7	1	8	0	21	21	0	7	15	16	15	1	15	13	3	1	8		15	
有機性汚泥	17	2	2	0	2		15	15	0	2	12	13	12	0	12	2		0	2		12	
無機性汚泥	13	7	6	1	7	0	7	7		4	3	4	3	1	3	10	3	1	6		3	
廃油	7						7	7	0	6	1	1	1	0	1	0		0	0	0	5	
一般廃油	3						3	3		3	1	0	0	0	0	0			0		4	
廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		1	
その他	3						3	3	0	3	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	
廃酸	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	7						7	7		6	1	0	0	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	11	1	1	0	1		10	10		5	5	5	5	0	6	1		0	1		7	
廃プラスチック	11	1	1	0	1		10	10		5	5	5	5	0	6	1		0	1		7	
廃タイヤ	0						0	0		0		0										
紙くず																					0	
木くず	6	1	1	0	1		5	5		5	0	4	4	0	38	2	0	0	2	1	48	
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1	0	0	1	1	1	0	1	0		0		1	1	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0	
金属くず	2	0	0	0	0		2	2		1	1	2	2	0	3	0		0	0		9	
ガラス陶磁器くず	3	1	1	0	1	0	2	2		2	0	2	2	0	4	1		0	1		4	
鉱さい	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	118	110	0	8		3	
がれき類	2	0	0		0		2	2		2		2	2	0	2	0			0		2	
コンクリート片	2	0	0		0		2	2		2		2	2	0	2	0			0		2	
廃アスファルト	0						0	0		0		0		0		0			0			
その他	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0			
ばいじん	17	1	1		1		16	16		4	12	16	16		16	1			1		16	
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
感染性廃棄物	0						0	0		0		0		0		0			0			
混合物等	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	

表3-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：無変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(G)	自己未処理の処理内訳						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内		県外		
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
合計	875	100	775	430	31	2		21	3	4	346	0		281	54	11	374			
燃え殻	35		35								35			17	13	5	35			
汚泥	530	92	439	429	31	2		21	3	4	10			9	1	0	38			
有機性汚泥	406		406	397	28	0		21	3	4	9			9	0		37			
無機性汚泥	124	92	33	32	3	2		0	0	0	1			0	0	0	1			
廃油	0	0	0								0	0		0			0			
一般廃油	0	0	0								0	0		0			0			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラスチック類	0		0								0			0			0			
廃プラスチック	0		0								0			0			0			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鋳さい	0		0								0			0			0			
がれき類	4		4								4			4	0		4			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト	4		4								4			4	0		4			
その他																				
ばいじん	306	8	297	0	0			0			297			250	41	6	297			
その他の産業廃棄物	0		0								0			0			0			
感染性廃棄物																				
混合物等	0		0								0			0			0			

(その2)

他量	資源化量
----	------

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託中間処理量										再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)				
		委託直接最終処分量																			
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		処理主体の内訳						
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外			再生利用量	最終処分量	事業者			自治体	処理業者		
(O)											(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J)	(S)		
合計	359	57	54	3	57	0	302	277	25	25	277	281	275	6	278	63		8	55	15	378
燃え殻	30	13	13		13		17	17		0	17	17	17	0	17	13			13	5	17
汚泥	33	3	1	3	3	0	30	5	25	20	10	9	4	5	7	8		8	1	4	98
有機性汚泥	33	3	0	3	3	0	30	5	25	20	10	9	4	5	5	8		8	0	4	5
無機性汚泥	1	1	1	0	1		0	0		0	0	0	0	0	2	1		0	1	0	94
廃油	0						0	0		0	0	0		0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0		0		0	0	0			0		0
廃溶剤	0						0	0		0		0		0	0	0			0		
その他	0						0	0		0	0	0		0	0	0			0		
廃酸	0						0	0			0	0		0	0	0			0		
廃アルカリ	0						0	0			0	0		0	0	0			0		
廃プラスチック類	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
鋳さい	0						0	0		0		0		0	0	0			0		
がれき類	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
その他																					
ばいじん	291	41	41	0	41		250	250		1	250	250	250	1	250	42		0	42	6	258
その他の産業廃棄物	0						0	0		0		0		0	0	0			0		
感染性廃棄物																					
混合物等	0						0	0		0		0		0	0	0			0		

表3-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：無変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
					(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外
合計	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0
燃え殻	0		0								0			0	0		0		
汚泥	9	0	9	4	0		0	0	0	0	5		0	5	0	0	5	0	0
有機性汚泥	4		4	4	0			0	0		0			0	0		0		
無機性汚泥	5	0	5	0	0		0	0		0	5		0	4	0	0	5	0	0
廃油	9	6	4	0	0	0		0		0	3	0		3		0	3		
一般廃油	9	6	3	0	0	0		0		0	3	0		3		0	3		
廃溶剤	0		0								0			0			0		
その他	0		0								0			0			0		
廃酸	0		0								0			0			0		
廃アルカリ	0	0	0	0	0			0		0	0			0		0	0		
廃プラスチック類	8	0	8	0	0			0			8			7	0	0	8		
廃プラスチック	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2		
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5		
紙くず	0		0								0			0			0		
木くず	0		0								0			0	0		0		
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	3	0	3	0	0	0					3	0		3	0		3		
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0		
鉱さい																			
がれき類	0		0								0			0	0		0		
コンクリート片	0		0								0			0	0		0		
廃アスファルト	0		0								0			0			0		
その他																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	4	0	4	0	0			0	0		3			3	0	0	3		
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2		
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			2	0	0	2		

表3-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：無変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
		委託直接最終処分量				委託中間処理量									最終処分量					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		処理主体の内訳								
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		事業者		自治体	処理業者				
											再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
		(O)				(L)								(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
合計	24	1	1	0	1	22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16
燃え殻	0	0	0		0	0	0		0		0		0		0			0		
汚泥	5	0	0	0	0	5	5		5	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0
有機性汚泥	0	0	0		0	0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	5	0	0	0	0	4	4		4	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0
廃油	3					3	3	0	3		2	2	0	2	0			0	0	8
一般廃油	3					3	3	0	3		2	2	0	2	0			0	0	8
廃溶剤	0					0	0		0											
その他	0					0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
廃酸	0					0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	0					0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0
廃プラスチック類	8	0	0		0	7	7	0	7		7	5	1	5	2		0	2	0	5
廃プラスチック	2	0	0		0	2	2	0	2		1	1	0	1	1		0	1		1
廃タイヤ	5					5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	0					0	0		0		0	0		0						0
木くず	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0					0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	3	0	0		0	3	3	0	3	0	3	2	1	2	1			1		2
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
鉢さい																				
がれき類	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
コンクリート片	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
廃アスファルト	0					0	0		0		0	0		0						0
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	3	0	0		0	3	3	0	3		1	0	0	0	1		0	1	0	0
感染性廃棄物	2					2	2	0	2		0	0	0	0	0		0	0		0
混合物等	2	0	0		0	2	1	0	2		1	0	0	0	0		0	0	0	0

表4-1 発生量及び処理・処分状況（秋田市 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量				
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)			
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)						(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外		
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)											
合計	813	3	810	648	52	16	3	30	3	0	162	2		140	18	1	195	3	3		
燃え殻	4	0	4		14			12	2	0	4			2	2		18				
汚泥	571	0	571	563	22	1	3	17	1		9	0		4	4		30	3	3		
有機性汚泥	521		521	520	17			17	0		1			0	0		18				
無機性汚泥	50	0	50	42	5	1	3	0	0		8	0		4	4		12	3	3		
廃油	3	0	2	0	0	0		0			2			2			2				
一般廃油	3	0	2	0	0	0		0			2			2			2				
廃溶剤	0		0								0			0			0				
その他	0		0	0							0			0			0				
廃酸	1		1								1			1			1				
廃アルカリ	3		3	0							3			3			3				
廃プラスチック類	8	0	8	0	0			0			8			7	1	0	8				
廃プラスチック	5	0	5	0	0			0			5			5	1		5				
廃タイヤ	3	0	3								3			3		0	3				
紙くず	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0				
木くず	87	0	87	77	7	7		0			10			9	0	0	10				
繊維くず	0		0								0			0	0		0				
動植物性残さ	0	0	0								0	0				0	0				
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0		0								0			0			0				
金属くず	5	1	4	1	1	1		0			4			3	0		4				
ガラス陶磁器くず	2		2	0	0	0		0			2			1	1		2				
鋳さい	11	1	10								10			3	7		10				
がれき類	96	0	96	8	7	7		0		0	88	2		84	2	1	86				
コンクリート片	50	0	50	5	4	4		0			46	1		44	0	0	45				
廃アスファルト	44	0	44	3	3	3		0		0	41	2		39	0	1	40				
その他	2		2								2			0	2		2				
ばいじん	19		19								19			18	0		19				
その他の産業廃棄物	3		3								3			2	1	0	3				
感染性廃棄物	1		1								1			1			1				
混合物等	3		3								3			2	1	0	3				

表4-1 発生量及び処理・処分状況（秋田市 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		事業者 (Q1)			自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			
合計	191	21	18	3	21	0	170	156	14	139	31	148	136	12	154	36	3	6	27	1	158	
燃え殻	18	4	3	1	4		14	14		0	14	7	2	5	2	6		3	3		2	
汚泥	26	5	4	1	5		21	8	13	21	0	17	16	1	16	10	3	1	6		17	
有機性汚泥	18	1	0	0	1		17	4	13	17	0	15	15	0	15	1		1	0		15	
無機性汚泥	9	4	4	0	4		4	4		4	0	2	1	1	1	9	3	0	5		2	
廃油	2						2	2	0	2	0	1	1	0	1	0			0	0	2	
一般廃油	2						2	2	0	2	0	1	1	0	1	0			0		2	
廃溶剤	0						0	0		0	0											
その他	0						0	0	0	0	0	0	0		0					0	0	
廃酸	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	3						3	3		3	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	8	1	0	0	1	0	7	7	0	7	0	6	5	1	5	1		0	1	0	5	
廃プラスチック	5	1	0	0	1	0	5	5	0	5	0	4	3	0	3	1		0	1		3	
廃タイヤ	3						3	3	0	3		3	2	0	2	0			0	0	2	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	10	0	0	0	0	0	9	9	0	9	0	9	8	1	16	2		0	2	0	16	
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ															0					0	0	
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0	
金属くず	4	0	0	0	0		3	3	0	3	0	3	3	1	3	1		0	1		5	
ガラス陶磁器くず	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1		1	1		1	
鋳さい	10	7	7		7		3	3		0	3	3	3	0	3	7			7		3	
がれき類	85	2	1	0	2	0	84	84	0	84	0	84	80	4	89	5		0	5	1	89	
コンクリート片	45	0	0	0	0		45	44	0	44	0	44	41	3	46	4		0	3	0	46	
廃アスファルト	39	0	0		0		39	39		39	0	39	39	0	43	0			0	1	43	
その他	2	2	1	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	2		0	1		0	
ばいじん	19	0	0		0		18	18		5	13	17	17		17	0			0		17	
その他の産業廃棄物	3	1	1	0	1		2	2	0	2	0	1	0	0	0	1		0	1	0	0	
感染性廃棄物	1						1	1	0	1												
混合物等	3	1	1	0	1		2	2	0	2	0	1	0	0	0	1		0	1	0	0	

表4-2 発生量及び処理・処分状況（県北地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G)	(自己未処理の処理内訳)						県内	県外	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)			
合計	754	110	643	99	23	14	0	1	3	4	544	8	110	353	61	11	544	110	110	
燃え殻	36		36		5	5		0	0		36			18	13	5	36			
汚泥	181	92	89	85	10	2	0	1	3	4	4	0	0	3	1	0	12	0	0	
有機性汚泥	76		76	75	8			1	3	4	2			2	0		9			
無機性汚泥	104	92	13	10	2	2	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	
廃油	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1		0	1			
一般廃油	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1		0	1			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	1	0	0								0			0		0	0			
廃プラスチック類	10	0	10	0	0			0			10			9	1	0	10			
廃プラスチック	9		9	0	0			0			9			9	1		9			
廃タイヤ	1	0	1								1			1		0	1			
紙くず	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	26	10	17	6	1	1		0			11	6		5	0	0	5			
繊維くず	0	0	0								0			0	0		0			
動植物性残さ	0		0	0	0	0		0		0	0	0		0			0			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	2	1	2	0	0			0			2			2	0		2			
ガラス陶磁器くず	5		5	3	2	2		0			2			0	2		2			
鉱さい	111		111								111		110	0	1		111	110	110	
がれき類	74	0	74	6	6	5		0		0	68	2		64	1	1	66			
コンクリート片	39	0	39	4	3	3		0			35	1		34	0	0	34			
廃アスファルト	34	0	34	2	2	2		0		0	31	1		30	0	0	31			
その他	1		1								1			0	1		1			
ばいじん	304	8	296								296			249	41	6	296			
その他の産業廃棄物	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			
感染性廃棄物	1		1								1			1			1			
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			

表4-2 発生量及び処理・処分状況（県北地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			事業者
合計	419	64	61	3	64	0	355	354	0	84	271	345	339	6	361	180	110	3	67	16	472	
燃え殻	31	13	13	0	13		18	18		1	17	19	18	2	18	15		0	15	9	18	
汚泥	8	4	2	2	4		4	4	0	4	0	1	0	0	2	5	0	2	3	0	94	
有機性汚泥	5	3	1	1	3		2	2	0	2		0	0	0	0	3		1	1		0	
無機性汚泥	3	1	1	0	1		2	2		2	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	94	
廃油	1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
一般廃油	1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃溶剤	0						0	0		0												
その他	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0	
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃プラスチック類	10	1	0	0	1	0	9	9	0	5	4	6	5	0	5	1		0	1	0	5	
廃プラスチック	9	1	0	0	1	0	9	9	0	4	4	5	5	0	5	1		0	1		5	
廃タイヤ	1						1	1	0	1		1	1	0	1	0			0	0	1	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	5	0	0	0	0	0	5	5		5	0	4	4	0	15	0		0	0	0	25	
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	0						0	0	0	0	0	0	0		0					0	0	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0												
金属くず	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	2	1	0	1	1		0	0		2	
ガラス陶磁器くず	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		1	1		2	
鉱さい	1	1	1	0	1		0	0		0		0		0		111	110	0	1			
がれき類	65	1	1	0	1	0	64	64	0	64	0	64	61	3	68	4		0	4	1	68	
コンクリート片	34	0	0	0	0		34	34	0	34	0	34	31	3	35	3		0	3	0	35	
廃アスファルト	30	0	0		0		30	30		30	0	30	30	0	33	0			0	1	33	
その他	1	1	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1		0	1		0	
ばいじん	290	41	41	0	41		249	249			249	249	249		249	41		0	41	6	257	
その他の産業廃棄物	2	1	1	0	1		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	1		0	
感染性廃棄物	1						1	1		1												
混合物等	2	1	1	0	1		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	1		0	

表4-3 発生量及び処理・処分状況（県央地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t /年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)						再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
合 計	151	6	145	48	28	22		3	2	0	97	2	0	90	4	1	101	0	0	
燃え殻	1		1		17	17		0	0	0	1			1	0		1			
汚泥	45		45	31	5			3	2	0	14	0	0	13	1		19	0	0	
有機性汚泥	35		35	26	3			3			9			9	0		11			
無機性汚泥	11		11	5	3			0	2	0	5	0	0	4	1		8	0	0	
廃油	10	5	5	0	0			0			5	0		5			5			
一般廃油	6	4	2	0	0			0			2	0		2			2			
廃溶剤	2	1	0								0			0			0			
その他	2	0	2								2			2			2			
廃酸	1		1								1			1			1			
廃アルカリ	1	0	1	0	0			0			1			1			1			
廃プラスチック類	6	0	6	0	0			0	0		6			6	0	0	6			
廃プラスチック	6	0	5	0	0			0	0		5			5	0		5			
廃タイヤ	1		1	0	0			0			1			1		0	1			
紙くず	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	17	0	17	12	0	0		0			5			4	0	1	5			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ	0		0								0			0			0			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	3	1	2	0	0			0			2			2	0		2			
ガラス陶磁器くず	2	0	2	0	0	0		0			2			1	1		2			
鋳さい	0		0								0			0			0			
がれき類	62	0	62	5	5	4		0		0	57	2		54	1	0	56			
コンクリート片	33	0	33	3	3	3		0			30	1		30	0	0	30			
廃アスファルト	28	0	28	2	2	2		0		0	26	1		25	0	0	25			
その他	1		1								1			0	1		1			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	2	0	2	0	0			0	0		2			1	1		2			
感染性廃棄物	0		0	0	0			0			0			0			0			
混合物等	1	0	1	0	0				0		1			1	1		1			

表4-3 発生量及び処理・処分状況（県央地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 種 類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)		
		委託直接最終処分量						委託中間処理量							(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
												再生利用量 (M1)								最終処分量 (M2)	事業者
合計	100	7	5	1	7	0	93	82	11	80	13	73	66	7	89	14	0	4	10	2	95
燃え殻	1	0	0	0	0		1	1		1	0	4	0	4	0	4		2	2	0	0
汚泥	19	3	3	0	3	0	16	5	11	6	10	2	2	0	2	4	0	0	3	0	2
有機性汚泥	11	0	0		0	0	11	0	11	2	9	0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	8	3	3	0	3	0	5	5		4	1	2	2	0	2	4	0	0	3	0	2
廃油	5						5	5		4	1	0	0	0	0	0			0		5
一般廃油	2						2	2		2	0	0	0	0	0	0			0		4
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		1
その他	2						2	2		2	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック類	6	0	0	0	0	0	6	6		5	1	4	4	0	4	1		0	0	0	4
廃プラスチック	5	0	0	0	0	0	5	5		4	1	3	3	0	3	0		0	0		3
廃タイヤ	1						1	1		1		1	1	0	1	0			0	0	1
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	4	0	0	0	0	0	4	4		4	0	4	4	0	21	0		0	0	1	21
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	0						0	0			0	0	0		0						0
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	2	0	0	0	0		2	2		1	0	2	1	0	1	0		0	0		3
ガラス陶磁器くず	2	1	0	0	1	0	1	1		1	0	1	1	0	1	1		0	0		1
鉱さい	0						0	0			0	0	0		0						0
がれき類	56	1	1	0	1	0	55	55	0	55	0	54	52	2	58	3		0	3	1	58
コンクリート片	30	0	0	0	0		30	30	0	30	0	30	28	2	31	2		0	2	0	31
廃アスファルト	25	0	0		0		25	25		25	0	25	25	0	27	0			0	0	27
その他	1	1	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1		0	1		0
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	2	1	1	0	1		1	1	0	1	0	0	0	0	0	1		0	1		0
感染性廃棄物	0						0	0	0	0											
混合物等	1	1	1	0	1		1	1	0	1	0	0	0	0	0	1		0	1		0

表4-4 発生量及び処理・処分状況（県南地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
					(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	218	10	208	88	11	8	0	2	1	0	120	3	0	108	7	2	120	0	0	
燃え殻					0	0	0	0									0	0	0	
汚泥	83		83	76	3	0	0	2	1	0	7	0	0	5	2	0	10	0	0	
有機性汚泥	71		71	69	2	0		1	0		1			1	0		3			
無機性汚泥	13		13	7	1		0	0	0	0	6	0	0	4	1	0	7	0	0	
廃油	8	5	3	1	0			0			2	0		2			2			
一般廃油	7	5	2	0	0			0			2	0		2			2			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	1		1	0	0			0			1			1			1			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	2		2	0							2			2			2			
廃プラスチック類	10	0	10	2	0	0		0			7	1		5	1	0	6			
廃プラスチック	9	0	9	2	0	0		0			6	1		4	1		5			
廃タイヤ	1	0	1	0	0			0			1			1		0	1			
紙くず	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	8	0	8	1	1	1		0			6			6	0	0	6			
繊維くず	0	0	0								0			0	0		0			
動植物性残さ	2	0	1	0	0			0			1			1		1	1			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	7	5	2	0	0	0		0			2	0		2	0		2			
ガラス陶磁器くず	2		2	0	0	0		0			2			1	1		2			
鋳さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	94	0	94	7	7	6		0		0	86	2		82	1	1	85			
コンクリート片	47	0	47	4	4	4		0			43	1		42	0	0	42			
廃アスファルト	45	0	45	3	3	2		0		0	42	1		40	0	1	41			
その他	2		2								2			0	1		2			
ばいじん	0		0	0	0			0									0			
その他の産業廃棄物	2	0	2	0	0			0			2			1	1	0	2			
感染性廃棄物	0		0	0	0			0			0			0			0			
混合物等	2	0	2								2			1	1	0	2			

表4-4 発生量及び処理・処分状況（県南地域 種類別：変換）＜平成23年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		事業者 (Q1)			自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			
合計	117	8	5	3	8	0	110	109	0	105	5	101	95	6	106	14	0	3	11	2	117	
燃え殻	0						0	0		0		1	0	1	0	1		0	1		0	
汚泥	10	2	1	1	2		7	7	0	5	2	3	3	1	3	3	0	1	2	0	3	
有機性汚泥	3	1	0	0	1		2	2	0	1	1	1	1	0	2	1		0	0		2	
無機性汚泥	7	2	1	1	2		5	5		4	1	2	1	1	1	2	0	1	1	0	1	
廃油	2						2	2		2	0	1	0	0	1	0			0		6	
一般廃油	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		6	
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0						0	
その他	1						1	1		1	0	0	0	0	0						0	
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0	
廃アルカリ	2						2	2	0	1	1	0	0	0	0	0			0		0	
廃プラスチック類	6	1	1	0	1	0	5	5	0	5	0	5	4	0	6	1		0	1	0	6	
廃プラスチック	5	1	1	0	1	0	4	4	0	4	0	4	4	0	5	1		0	1		5	
廃タイヤ	1						1	1		1		1	1	0	1	0			0	0	1	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	6	0	0	0	0	0	6	6	0	6	0	5	5	0	6	1	0	0	0	0	6	
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1		0	0	1	1		1					1	1	
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0	
金属くず	2	0	0	0	0		2	2		1	1	2	2	0	2	1		0	0		7	
ガラス陶磁器くず	2	1	0	1	1	0	1	1		1	0	0	0	0	0	1		1	0		0	
鋳さい	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0	
がれき類	84	1	1	0	1	0	82	82	0	82	0	82	79	3	87	5		0	5	1	87	
コンクリート片	42	0	0	0	0		42	42	0	42	0	42	39	3	43	3		0	3	0	43	
廃アスファルト	40	0	0		0		40	40		40	0	40	40	0	44	0			0	1	44	
その他	2	1	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1		0	1		0	
ばいじん	0						0	0		0		0		0		0			0			
その他の産業廃棄物	2	1	1	0	1		1	1	0	1	0	0	0	0	0	1		0	1	0	0	
感染性廃棄物	0						0	0		0												
混合物等	2	1	1	0	1		1	1	0	1	0	0	0	0	0	1		0	1	0	0	

表5-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	1,937	130	1,806	882	111	58	3	36	9	5	924	15	110	691	91	15	960	113	113	
建設業	378	1	377	27	25	24		1		1	350	8		319	19	3	342			
製造業	650	23	627	422	55	32	3	14	6	0	205	7	110	69	17	2	221	113	113	
食料品	12	0	12	8	1	0		0	0	0	4	0		3	0	1	5			
飲料・飼料	4	0	4	3	0			0	0		0	0		0	0	0	0			
繊維	2	0	2	1	0				0		1			1	0		2			
木材・木製品	115	10	106	92	30	28		0	1		13	6		5	1	1	9			
家具・装備品	2		2	1	0		0		0		0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙	297		297	276	13			12	1		20			19	1		33			
印刷	0	0	0								0			0	0		0			
化学	10	0	10	8	4		3	0	0	0	1			1	0		5	3	3	
石油製品	5	4	2								2			2			2			
プラスチック	4		4	2	0	0					2	1		0	0		1			
ゴム製品	1	0	1								1			0	0		1			
皮革																				
窯業・土石	15	0	15	11	5	3			3		3			3	0		6			
鉄鋼	11	1	10	0	0				0		10			3	7		10			
非鉄金属	114	0	114								114		110	2	2		114	110	110	
金属製品	10	2	9	1	0			0	0		8			5	3		8			
一般機械	11	1	10	2	0	0		0	0		8	0		8	0		9			
電気機械	1	0	1	1	0			0	0		0			0	0		0			
情報通信機械	6	0	6	4	0			0			2			2			2			
電子部品	22	2	20	9	1			1	0		11			11	0		12			
輸送機械	7	4	4	1	1	1		0	0		2			2	0		2			
その他	1		1	0	0			0			1			1	0		1			
電気・水道業	875	100	775	430	31	2		21	3	4	346	0		281	54	11	374			
電気業	433	100	333	1	0			0	0		332	0		268	54	11	332			
ガス業	0	0	0								0			0			0			
上水道業	35		35	31	2	2		0	0	0	4			4	0	0	5			
下水道業	406		406	397	28	0		21	3	4	9			9	0		37			
その他の業種	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0	

表5-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	(単位：千t/年)														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						処理主体の内訳							
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		事業者 (Q1)		自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)								
													再生利用量 (M1)					最終処分量 (M2)			
合計	827	100	89	11	99	0	727	701	26	408	319	668	636	31	709	244	113	16	115	20	839
建設業	339	19	13	6	19	0	320	319	0	319	1	315	299	16	330	35		7	28	3	331
製造業	106	23	21	2	23	0	83	83	0	41	42	57	52	4	92	140	113	2	26	2	115
食料品	4	1	0	0	1	0	3	3	0	2	1	2	1	1	1	1		0	1	1	1
飲料・飼料	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1
繊維	2	0	0	0	0		1	1	0	1		1	0	0	0	1		0	1		0
木材・木製品	8	3	3	0	3		6	6		6		6	3	2	37	5		0	5	1	47
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	3	3		3		31	31		4	26	30	30	0	30	3			3		30
印刷	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
化学	2	0		0	0	0	1	1		1	0	1	1	0	1	4	3	0	0	0	1
石油製品	2						2	2		2		0	0	0	0	0			0		4
プラスチック	1	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0		0	0		2
ゴム製品	1	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
皮革																					
窯業・土石	6	3	3		3		3	3		3	0	3	3	0	6	3			3		6
鉄鋼	10	7	7	0	7		3	3		0	3	3	3	0	3	7		0	7		3
非鉄金属	4	2	2	0	2		2	2		2	0	0	0	0	0	112	110	0	2		0
金属製品	8	3	2	0	3		5	5		5	1	1	1	0	1	3		0	3		2
一般機械	9	0	0	0	0		8	8	0	2	6	4	4	0	4	1		0	0		5
電気機械	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
情報通信機械	2						2	2		2	0	1	0	0	0	0			0		0
電子部品	12	0	0	0	0		12	12		10	2	4	4	1	4	1		0	1		5
輸送機械	2	0		0	0		2	2		1	1	1	1	0	1	0		0	0		5
その他	1	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
電気・水道業	359	57	54	3	57	0	302	277	25	25	277	281	275	6	278	63		8	55	15	378
電気業	321	54	54	0	54		268	268		1	267	268	267	1	267	55		0	55	11	367
ガス業	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
上水道業	4	0	0	0	0	0	4	4		4	0	4	4	0	6	0		0	0	0	6
下水道業	33	3	0	3	3		30	5	25	20	10	9	4	5	5	8		8	0	4	5
その他の業種	24	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16

表5-2 発生量及び処理・処分状況（秋田市 業種別）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)			その他量 (G5)	県内	県外
合計	813	3	810	648	51	15	3	30	3	0	162	2		140	18	1	195	3	3	
建設業	113	0	113	8	8	7		0		0	105	2		96	6	1	103			
製造業	422	2	419	376	25	7	3	13	2	0	43	0		31	12	0	61	3	3	
食料品	5	0	5	5	0				0		0			0	0		1			
飲料・飼料	4	0	3	3	0				0		0	0		0	0	0	0			
繊維	0		0	0	0				0		0			0	0		0			
木材・木製品	81	0	81	76	8	6		0	1		4			3	1		6			
家具・装備品																				
パルプ・紙	293		293	274	12			12			20			19	1		32			
印刷	0	0	0								0			0			0			
化学	8	0	8	7	3		3	0	0	0	1			1	0		4	3	3	
石油製品																				
プラスチック																				
ゴム製品																				
皮革																				
窯業・土石	1	0	1	0	0	0					1			1			1			
鉄鋼	8	1	8								8			3	5		8			
非鉄金属	2		2								2			0	2		2			
金属製品	8	0	7	1	0			0	0		6			4	2		7			
一般機械	0	0	0								0			0			0			
電気機械																				
情報通信機械																				
電子部品	9	0	9	9	0			0			1			1	0		1			
輸送機械	1	0	1	1	1	1					0			0			0			
その他																				
電気・水道業	262	0	262	260	18	1		17	1		2			2	0		19			
電気業	3		3	1	0			0	0		2			2			2			
ガス業	0	0	0								0			0			0			
上水道業	26		26	26	1	1														
下水道業	233		233	232	17			16	1		0				0		17			
その他の業種	16	1	16	4	0	0		0	0		12			12	1	0	12			

表5-2 発生量及び処理・処分状況（秋田市 業種別）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量											再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)			
		委託直接最終処分量				委託中間処理量								処理主体の内訳							
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量										
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
												再生利用量 (M1)		最終処分量 (M2)	事業者	自治体			処理業者		
(O)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q)	(I+O+M2)																
合計	191	21	18	3	21	0	170	156	14	139	31	148	136	12	154	36	3	6	27	1	157
建設業	102	6	4	2	6	0	96	96	0	96	0	94	90	5	99	11		2	9	1	99
製造業	57	14	14	0	14	0	43	43		14	30	39	37	1	44	19	3	0	15	0	47
食料品	1	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
飲料・飼料	0	0		0	0		0	0		0		0	0		0	0		0		0	0
繊維	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
木材・木製品	6	3	3		3		3	3		3		3	3	0	9	3			3		10
家具・装備品																					
パルプ・紙	32	1	1		1		31	31		4	26	30	30	0	30	1			1		30
印刷	0						0	0		0		0		0		0			0		0
化学	1	0		0	0	0	1	1		1	0	1	0	0	0	3	3	0	0	0	1
石油製品																					
プラスチック																					
ゴム製品																					
皮革																					
窯業・土石	1						1	1		0	0	0	0	0	1	0			0		1
鉄鋼	8	5	5		5		3	3		0	2	3	3	0	3	5			5		3
非鉄金属	2	2	2		2		0	0		0		0	0	0	0	2			2		0
金属製品	7	3	2	0	3		4	4		4	0	0	0	0	0	3		0	3		1
一般機械	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
電気機械																					
情報通信機械																					
電子部品	1	0	0		0		1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
輸送機械	0						0	0		0	0	0	0	0	1	0			0		1
その他																					
電気・水道業	19	1	0	1	1		19	5	13	17	1	8	4	4	5	4		4	1		5
電気業	2	0	0		0		2	2		1	1	2	1	1	1	1			1		1
ガス業	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
上水道業															1						1
下水道業	17	1	0	1	1		16	3	13	16		6	3	3	3	4		4	0		3
その他の業種	12	1	1		1		12	11	0	12	0	8	5	2	5	3		0	3	0	6

表5-3 発生量及び処理・処分状況（県北地域 業種別）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量					(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
					(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)			(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
合計	754	110	643	99	22	14	0	1	3	4	544	8	110	353	61	11	544	110	110		
建設業	87	0	87	6	6	5		0		0	81	2		73	4	1	79				
製造業	157	10	148	19	9	7		0	1	0	129	6	110	10	3		125	110	110		
食料品	3		3	1	0	0		0	0	0	1	0		1	0		1				
飲料・飼料																					
繊維	1	0	1	0	0				0		1			1	0		1				
木材・木製品	21	10	11	5	5	5					7	6		1	0		1				
家具・装備品	0		0	0	0				0		0			0			0				
パルプ・紙	3		3	3	1				1		0				0		1				
印刷																					
化学	2		2	1	0			0			1			1			1				
石油製品																					
プラスチック	0		0								0			0			0				
ゴム製品	0		0								0				0		0				
皮革																					
窯業・土石	8		8	8	3	3			0		0				0		0				
鉄鋼	2		2								2			0	2		2				
非鉄金属	111	0	111								111		110	1	0		111	110	110		
金属製品	0		0								0			0	0		0				
一般機械	5	0	5	0	0	0					5			5	0		5				
電気機械	0		0								0			0			0				
情報通信機械	0		0								0			0			0				
電子部品	0		0								0			0			0				
輸送機械																					
その他	0		0	0	0			0			0			0			0				
電気・水道業	505	100	405	74	8	1		1	2	4	331	0		266	54	11	337				
電気業	430	100	330								330	0		266	54	11	330				
ガス業																					
上水道業	4		4	4	1	1			0								0				
下水道業	71		71	71	6			1	1	4	0			0			7				
その他の業種	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0		

表5-3 発生量及び処理・処分状況（県北地域 業種別）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千t／年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	(C02)												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)		
		委託直接最終処分量				委託中間処理量									処理主体の内訳						
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q) (I+O+M2)		(Q1)	(Q2)	(Q3)				
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
												再生利用量 (M1)								最終処分量 (M2)	
事業者												自治体		処理業者							
合計	419	64	61	3	64	0	355	354	0	84	271	345	339	6	361	180	110	3	67	16	471
建設業	78	4	3	1	4	0	74	73	0	73	0	72	69	4	76	8		2	7	1	76
製造業	15	5	4	0	5		10	10	0	6	5	4	3	1	16	116	110	0	6	0	26
食料品	1	0	0		0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
飲料・飼料																					
繊維	1	0	0	0	0		1	1		1		0		0		0		0	0		0
木材・木製品	1	0	0	0	0		1	1		1		1		1	11	1		0	1		20
家具・装備品	0	0		0	0		0	0		0		0		0		0		0	0		
パルプ・紙	1	1	1		1											1			1		
印刷																					
化学	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
石油製品																					
プラスチック	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
ゴム製品	0	0	0		0											0			0		
皮革																					
窯業・土石	0	0	0		0										3	0			0		3
鉄鋼	2	2	2		2		0	0		0		0		0		2			2		
非鉄金属	1	0	0		0		1	1		1		0	0	0	0	110	110		0		0
金属製品	0	0		0	0		0	0		0	0	0		0		0		0	0		
一般機械	5	0	0		0		5	5	0	0	4	2	2	0	2	0		0	0		2
電気機械	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
情報通信機械	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
電子部品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
輸送機械																					
その他	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
電気・水道業	322	55	54	2	55		267	267		1	266	266	266	0	267	55		2	54	15	367
電気業	319	54	54	0	54		266	266		0	266	266	266	0	266	54		0	54	11	366
ガス業																					
上水道業	0	0	0		0										1	0			0		1
下水道業	3	1		1	1		1	1		1		0	0	0	0	2		1	0	4	0
その他の業種	4	0	0		0		4	4	0	4		2	2	1	2	1	0	0	1	0	2

表5-4 発生量及び処理・処分状況（県央地域 業種別）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	自己未処理の処理内訳						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	151	6	145	48	27	22		3	2	0	97	2	0	90	4	1	101	0	0	
建設業	72	0	72	5	5	4		0		0	67	2		61	4	0	65			
製造業	43	6	37	17	20	17		0	2		20	0		19	0	1	22			
食料品	2		2	1	0			0			0			0	0		1			
飲料・飼料	0		0								0			0	0		0			
繊維	0		0								0			0	0		0			
木材・木製品	14	0	14	11	17	17		0			2			1	0	1	2			
家具・装備品	0		0	0	0				0								0			
パルプ・紙																				
印刷																				
化学																				
石油製品	5	4	2								2			2			2			
プラスチック	0		0								0			0			0			
ゴム製品																				
皮革																				
窯業・土石	6		6	3	2				2		3			3			5			
鉄鋼	1	0	1	0	0				0		0			0			0			
非鉄金属																				
金属製品	1	1	1								1			1	0		1			
一般機械	2	0	2	1	0			0			1	0		1	0		1			
電気機械	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
情報通信機械	0	0	0								0			0			0			
電子部品	11	1	10	0	0			0	0		10			10	0		10			
輸送機械																				
その他																				
電気・水道業	34		34	26	3			2		0	9			9	0		11			
電気業	0		0								0			0	0		0			
ガス業																				
上水道業	1		1	1	0			0		0	0			0	0		0			
下水道業	33		33	25	2			2			9			9			11			
その他の業種	3	0	2	0	0			0	0	0	2		0	2	0		2	0	0	

表5-4 発生量及び処理・処分状況（県央地域 業種別）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千t/年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量											再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)			
		委託直接最終処分量				委託中間処理量								最終処分量							
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			処理主体の内訳							
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)					
												再生利用量 (M1)							最終処分量 (M2)		
(O)	(Q)											(Q1)	(Q2)				(Q3)				
合計	100	7	5	1	7	0	93	82	11	80	13	73	66	7	89	14	0	4	10	2	95
建設業	64	4	2	1	4	0	61	61	0	61	0	60	57	3	63	7		1	5	1	63
製造業	22	3	3	0	3	0	19	19	0	15	4	10	8	2	25	5		0	4	1	31
食料品	1	0	0	0	0	0	1	1		0	0	1	0	0	0	0		0	0		0
飲料・飼料	0	0	0		0		0	0		0		0		0	0	0			0		
繊維	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
木材・木製品	1	0	0		0		1	1		1		1	0	1	17	1			1	1	17
家具・装備品	0	0		0	0											0		0			
パルプ・紙																					
印刷																					
化学																					
石油製品	2						2	2		2		0	0	0	0	0			0		4
プラスチック	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
ゴム製品																					
皮革																					
窯業・土石	5	2	2		2		3	3		3	0	3	3	0	3	2			2		3
鉄鋼	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
非鉄金属																					
金属製品	1	0	0	0	0		1	1		0	0	0	0	0	0	0		0	0		1
一般機械	1	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
電気機械	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
情報通信機械	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
電子部品	10	0	0	0	0		10	10		8	2	3	3	0	3	0		0	0		4
輸送機械																					
その他																					
電気・水道業	11	0	0	0	0	0	11	0	11	2	9	2	0	2	0	2		2	0	0	0
電気業	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
ガス業																					
上水道業	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
下水道業	11						11		11	2	9	2		2		2		2			
その他の業種	2	0	0		0		2	2	0	2	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1

表5-5 発生量及び処理・処分状況（県南地域 業種別）＜平成23年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	自己未処理の処理内訳						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	218	10	208	87	10	7	0	2	1	0	120	3	0	108	7	2	120	0	0	
建設業	106	0	105	7	7	7		0		0	98	2		89	5	1	96			
製造業	28	5	23	10	1	0	0	1	0		13	1		10	1	1	13	0	0	
食料品	3	0	2								2			1	0	1	2			
飲料・飼料	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
繊維	0	0	0								0			0	0		0			
木材・木製品																				
家具・装備品	1		1	1	0		0				0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙																				
印刷	0		0								0			0	0		0			
化学																				
石油製品																				
プラスチック	4		4	2	0	0					1	1		0	0		0			
ゴム製品	0	0	0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石																				
鉄鋼																				
非鉄金属	0		0								0			0	0		0			
金属製品	1	0	0								0			0	0		0			
一般機械	4	1	4	1	0			0	0		3			3	0		3			
電気機械	1		1	1	0				0		0			0	0		0			
情報通信機械	6	0	6	4	0			0			2			2			2			
電子部品	1	0	1	0	0			0			1			1	0		1			
輸送機械	6	4	3	1	0			0	0		2			2	0		2			
その他	0		0								0			0	0		0			
電気・水道業	74		74	70	2	0		1	0		4			4	0	0	6			
電気業																				
ガス業																				
上水道業	4		4	0	0				0		4			4	0	0	4			
下水道業	70		70	70	2	0		1	0								2			
その他の業種	10	5	5	0	0	0	0	0		0	5	0	0	4	0	0	5	0	0	

表5-5 発生量及び処理・処分状況（県南地域 業種別）＜平成23年度＞

（その2）

（単位：千t/年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量												委託中間処理量 (L)	委託中間処理後量				再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)			処理主体の内訳									
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	事業者	自治体		処理業者									
(O)								(M)			(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)										
合計	117	8	5	3	8	0	110	109	0	105	5	101	95	6	106	14	0	3	11	2	116			
建設業	95	5	4	2	5	0	90	89	0	89	0	88	84	5	92	10		2	8	1	93			
製造業	12	2	1	1	2		10	10	0	7	4	5	5	1	6	2	0	1	1	1	11			
食料品	1	0	0		0		1	1		1	0	1	0	0	0	0			0	1	1			
飲料・飼料	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0			
繊維	0	0	0		0		0	0	0	0		0		0		0		0	0		0			
木材・木製品																								
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0		0			
パルプ・紙																								
印刷	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0			
化学																								
石油製品																								
プラスチック	0	0		0	0		0	0		0		0	0		1	0		0			1			
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0			
皮革																								
窯業・土石																								
鉄鋼																								
非鉄金属	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0			
金属製品	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		1			
一般機械	3	0	0	0	0		3	3		1	2	2	2	0	2	0		0	0		2			
電気機械	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0		0	0		0	0		0			
情報通信機械	2						2	2		2		1	0	0	0	0			0		0			
電子部品	1	0	0	0	0		1	1		1	0	1	0	0	0	0		0	0		1			
輸送機械	2	0		0	0		2	2		1	1	1	1	0	1	0		0	0		4			
その他	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0		0	0		0			0			
電気・水道業	6	0	0	0	0		5	5	0	4	1	5	5	0	6	0		0	0	0	6			
電気業																								
ガス業																								
上水道業	4	0	0	0	0		4	4		4		4	4		4	0		0	0	0	4			
下水道業	2	0		0	0		1	1	0	1	1	1	1	0	2	0		0	0		2			
その他の業種	5	0	0	0	0		5	4	0	5		3	2	1	2	1	0	0	1	0	7			

表6-1 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成25年度＞

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	(E)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)						(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	1874	130	1744	884	111	56	5	36	10	4	860	14	111	638	88	10	901	115	115	
燃え殻	36	0	36		36	22	0	12	2	0	36			21	15		50	0	0	
汚泥	883	92	792	759	42	3	5	23	8	3	32	0	0	24	8	0	71	5	5	
有機性汚泥	703		703	691	28	0		22	4	3	12			11	0		40			
無機性汚泥	180	92	89	68	13	3	5	1	4	0	20	0	0	13	7	0	31	5	5	
廃油	21	10	11	1	0	0		0			10	0		10	0	0	10			
一般廃油	16	9	7	0	0	0		0			7	0		7	0	0	7			
廃溶剤	1	1	0								0			0	0		0			
その他	3	0	3	0	0			0			3			3	0		3			
廃酸	2		2								2			2	0		2			
廃アルカリ	6	0	6	0	0			0			6			6	0	0	6			
廃プラスチック類	32	0	31	2	0	0		0	0		29	1		26	2	0	28			
廃プラスチック	27	0	26	2	0	0		0	0		24	1		21	2		23			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
木くず	133	10	123	94	8	8		0			29	6		21	1	1	23			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	2	0	2	0	0	0		0		0	2	0		1		1	2			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	17	7	9	1	1	1		0			9	0		8	1		9			
ガラス陶磁器くず	12	0	12	5	3	3		0			7			3	4		7			
鉱さい	123	1	122								122		111	3	8		122	111	111	
がれき類	274	0	274	22	20	19		1		1	253	7		239	4	2	247			
コンクリート片	143	0	143	13	12	12		0			130	2		127	0	1	128			
廃アスファルト	126	0	126	8	8	7		0		1	118	4		112	0	2	115			
その他	5		5								5			0	4		5			
ばいじん	323	8	315	0	0			0			315			267	42	6	315			
その他の産業廃棄物	9	0	9	0	0			0	0		9			5	3	0	9			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2			
混合物等	7	0	7	0	0				0		7			3	3	0	7			

表6-1 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成25年度＞

(その2)

(単位：千 t / 年)

区 分 種 類	委託処理量														再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(Q1)			(Q2)	(Q3)				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
													再生利用量 (M1)						最終処分量 (M2)			事業者
合計	772	98	88	10	98	0	674	649	26	354	320	617	588	28	659	242	115	15	111	14	788	
燃え殻	50	17	16	1	17		33	33		2	31	30	20	10	20	25		5	19	3	20	
汚泥	63	15	11	4	15	0	47	23	25	34	13	23	20	3	23	23	5	5	14	0	115	
有機性汚泥	37	4	2	2	4	0	33	8	25	23	10	17	17	0	17	5		3	2		17	
無機性汚泥	26	11	10	2	11	0	14	14		11	3	6	4	2	6	18	5	2	12	0	98	
廃油	10	0	0		0	0	10	10	0	9	1	2	2	0	2	0			0	0	12	
一般廃油	7	0	0		0		7	7	0	6	1	2	2	0	2	0			0	0	11	
廃溶剤	0	0	0			0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0	1	
その他	3	0	0		0	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃酸	2	0	0		0	0	2	2		1	0	0	0	0	0	0			0	0	0	
廃アルカリ	6	0	0		0	0	6	6	0	5	1	0	0	0	0	0			0	0	1	
廃プラスチック類	28	2	1	1	2	0	26	26	0	20	6	19	17	2	18	4		1	3	0	19	
廃プラスチック	23	2	1	1	2	0	21	21	0	15	6	14	13	1	14	3		1	3		15	
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
木くず	22	1	1	0	1	0	21	21	0	21	0	19	18	1	54	3	0	0	3	1	64	
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0	
動植物性残さ	1						1	1	0	0	0	1	1		1					1	1	
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0	
ゴムくず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0	
金属くず	9	1	0	0	1		8	8	0	7	1	8	7	1	7	2		0	2		15	
ガラス陶磁器くず	7	4	2	2	4	0	3	3	0	3	0	3	2	0	6	5		2	2		6	
鉢さい	12	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	119	111	0	8		4	
がれき類	244	4	4	0	4	0	240	240	0	239	1	239	229	10	255	14		1	14	3	255	
コンクリート片	127	0	0	0	0		127	127	0	127	0	127	117	10	132	10		0	10	1	132	
廃アスファルト	113	0	0		0		113	113		112	0	112	112	0	123	0			0	2	123	
その他	5	4	4	0	4	0	0	0		0	0	0	0	0	0	4		0	4		0	
ばいじん	309	42	42	0	42		267	267		5	262	266	266	0	266	42		0	42	6	275	
その他の産業廃棄物	9	3	3	0	3		5	5	0	5	0	2	1	1	1	4		0	4	0	1	
感染性廃棄物	2						2	2	0	2												
混合物等	7	3	3	0	3		3	3	0	3	0	2	1	1	1	4		0	4	0	1	

表7-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成25年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)		(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)											その他量 (E5)
合計	1,874	130	1,744	884	111	56	5	36	10	4	860	14	111	638	88	10	901	115	115	
建設業	317	1	316	24	23	21		1		1	292	7		267	16	2	287			
製造業	656	23	633	428	58	33	5	14	7	0	205	7	111	69	17	2	224	115	115	
食料品	12	0	11	8	1	0		0	0	0	4	0		3	0	1	5			
飲料・飼料	4	0	4	3	0			0	0		0	0		0	0	0	0			
繊維	2	0	2	1	0				0		1			1	0		1			
木材・木製品	114	10	104	91	29	28		0	1		13	6		5	1	1	9			
家具・装備品	1		1	1	0		0		0		0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙	300		300	279	13			12	1		20			19	2		33			
印刷	0	0	0								0			0	0		0			
化学	14	0	14	12	5		5	0	0	0	2			2	0		7	5	5	
石油製品	6	4	2								2			2			2			
プラスチック	3		3	2	0	0					2	1		0	0		1			
ゴム製品	0	0	0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	21	0	21	16	8	4			4		5			5	0		8			
鉄鋼	12	1	12	1	0				0		11			3	8		11			
非鉄金属	115	0	115								115		111	1	2		115	111	111	
金属製品	9	1	7	1	0			0	0		7			4	2		7			
一般機械	13	1	12	2	0	0		0	0		10	0		10	0		11			
電気機械	1	0	1	1	0			0	0		0			0	0		0			
情報通信機械	5	0	5	3	0			0			2			2			2			
電子部品	17	1	16	7	0			0	0		9			8	0		9			
輸送機械	7	4	4	1	1	1		0	0		2			2	0		2			
その他	1		1	0	0			0			0			0	0		1			
電気・水道業	868	100	768	428	30	2		21	3	3	340	0		280	54	6	368			
電気業	428	100	328	1	0			0	0		327	0		268	54	6	327			
ガス業																				
上水道業	35		35	31	2	2		0	0	0	4			4	0	0	5			
下水道業	405		405	396	27	0		21	3	3	9			9	0		36			
その他の業種	33	6	27	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	23	0	0	

表7-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成25年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量											再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量					その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
		委託直接最終処分量					委託中間処理量							委託中間処理後量			処理主体の内訳				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)												
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 (M1) 最終処分量 (M2)									
		(O)												(Q)	(Q1)	(Q2)	(Q3)				
合計	772	98	88	10	98	0	674	649	26	354	320	617	588	28	659	242	115	15	111	14	788
建設業	284	16	10	5	16	0	268	268	0	268	1	264	250	14	278	29		6	24	3	279
製造業	107	24	23	2	24	0	82	82	0	40	43	59	54	4	94	144	115	2	27	2	116
食料品	4	1	0	0	1	0	3	3	0	2	1	1	1	0	1	1		0	1	1	1
飲料・飼料	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1
繊維	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	0		0
木材・木製品	8	3	3	0	3		6	6		6		5	3	1	37	4		0	4	1	47
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	3	3		3		31	31		4	27	31	31	0	31	3			3		31
印刷	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
化学	2	0		0	0	0	2	2		2	0	1	1	0	1	5	5	0	0	0	1
石油製品	2						2	2		2		0	0	0	0	0			0		4
プラスチック	1	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0		1
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
皮革																					
窯業・土石	8	4	4		4		5	5		4	0	4	4	0	8	4			4		8
鉄鋼	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	8		0	8		4
非鉄金属	4	2	2	0	2		1	1		1	0	0	0	0	0	113	111	0	2		0
金属製品	7	2	2	0	2		4	4		4	1	1	0	0	0	3		0	2		2
一般機械	11	1	0	0	1		10	10	0	2	8	5	5	0	5	1		0	0		6
電気機械	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
情報通信機械	2						2	2		2	0	1	0	0	0	0			0		0
電子部品	9	0	0	0	0		9	9		7	2	3	3	0	3	1		0	1		4
輸送機械	2	0		0	0		2	2		1	1	1	1	0	2	0		0	0		5
その他	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
電気・水道業	359	57	54	3	57	0	302	277	25	25	277	281	275	6	277	63		8	55	9	377
電気業	321	54	54	0	54		268	268		1	267	268	267	1	267	55		0	55	6	367
ガス業																					
上水道業	4	0	0	0	0	0	4	4		4		4	4	0	6	0		0	0	0	6
下水道業	33	3	0	3	3		30	5	25	20	10	9	4	5	5	8		8	0	3	5
その他の業種	23	1	1	0	1		22	21	1	22	0	14	9	5	9	6	0	0	6	0	15

表7-2 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成26年度＞

（その1）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量							自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(D)	自己中間処理後量					(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)		(処理先地域の内訳)		
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
						(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)											その他量 (E5)
合計	1,836	129	1,707	868	106	53	5	36	10	2	839	13	110	620	87	10	879	115	115	
建設業	298	1	297	22	21	20		1		1	275	6		252	15	2	270			
製造業	643	22	621	420	57	31	5	14	7	0	201	7	110	66	17	1	220	115	115	
食料品	11	0	11	7	1	0		0	0	0	4	0		3	0	1	4			
飲料・飼料	4	0	3	3	0			0	0		0	0		0	0	0	0			
繊維	2	0	2	1	0				0		1			1	0		1			
木材・木製品	108	9	98	86	28	26		0	1		12	6		5	1	1	8			
家具・装備品	1		1	1	0		0		0		0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙	299		299	279	13			12	1		20			19	2		33			
印刷	0	0	0								0			0	0		0			
化学	15	0	15	13	5		5	0	0	0	2			2	0		7	5	5	
石油製品	5	4	2								2			2			2			
プラスチック	3		3	2	0	0					1	1		0	0		0			
ゴム製品	0	0	0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	20	0	20	15	7	4			3		5			4	0		8			
鉄鋼	12	1	12	1	0				0		11			3	8		11			
非鉄金属	114	0	114								114		110	1	2		114	110	110	
金属製品	8	1	6	1	0			0	0		6			4	2		6			
一般機械	14	1	13	2	0	0		0	0		11	0		10	0		11			
電気機械	1	0	1	1	0			0	0		0			0	0		0			
情報通信機械	4	0	4	3	0			0			1			1			2			
電子部品	14	1	13	6	0			0	0		7			7	0		8			
輸送機械	8	4	4	2	1	1		0	0		2			2	0		2			
その他	1		1	0	0			0			0			0	0		1			
電気・水道業	862	100	762	422	28	2		21	3	1	341	0		281	54	6	366			
電気業	428	100	328	1	0			0	0		327	0		268	54	6	327			
ガス業																				
上水道業	35		35	30	2	2		0	0	0	4			4	0	0	5			
下水道業	399		399	390	26	0		21	3	1	9			9	0		34			
その他の業種	32	6	27	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	21	1	0	23	0	0	

表7-2 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成26年度＞

（その2）

（単位：千 t / 年）

区 分 業 種	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量					その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量						委託中間処理量							処理主体の内訳						
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量				処理主体の内訳						
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者				
												再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
合計	752	96	87	9	96	0	656	630	26	336	320	600	573	27	639	238	115	15	109	12	768
建設業	267	15	10	5	15	0	252	252	0	252	1	248	235	13	262	28		5	22	3	262
製造業	104	24	22	2	24	0	80	80	0	37	43	58	53	4	91	142	115	2	26	1	113
食料品	3	1	0	0	1	0	3	3	0	2	1	1	1	0	1	1		0	1	1	1
飲料・飼料	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1
繊維	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	0		0
木材・木製品	8	2	2	0	2		5	5		5		5	3	1	35	4		0	4	1	44
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	3	3		3		31	31		4	27	31	31	0	31	3			3		31
印刷	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
化学	2	0		0	0	0	2	2		2	0	1	1	0	1	5	5	0	0	0	1
石油製品	2						2	2		2		0	0	0	0	0			0		4
プラスチック	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0		1
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
皮革																					
窯業・土石	8	4	4		4		4	4		4	0	4	4	0	8	4			4		8
鉄鋼	11	8	8	0	8		3	3		0	3	3	3	0	3	8		0	8		4
非鉄金属	4	2	2	0	2		1	1		1	0	0	0	0	0	112	110	0	2		0
金属製品	6	2	2	0	2		4	4		3	0	1	0	0	0	2		0	2		2
一般機械	11	1	0	0	1		11	11	0	3	8	5	5	0	5	1		0	0		6
電気機械	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
情報通信機械	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		0
電子部品	8	0	0	0	0		8	8		6	1	3	2	0	2	0		0	0		4
輸送機械	2	0		0	0		2	2		1	1	1	1	0	2	0		0	0		5
その他	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
電気・水道業	359	57	54	3	57	0	302	277	25	25	277	281	275	6	277	63		8	55	8	377
電気業	321	54	54	0	54		268	268		1	267	268	267	1	267	55		0	55	6	367
ガス業																					
上水道業	4	0	0	0	0	0	4	4		4		4	4	0	6	0		0	0	0	6
下水道業	33	3	0	3	3		30	5	25	20	10	9	4	5	5	8		8	0	1	5
その他の業種	23	1	1	0	1		22	21	1	22	0	14	9	4	9	6	0	0	5	0	15

(その1)

(單位：千 t / 年)

[illegible]

(その2)

委託処理量

[illegible]

(その1)

[illegible]

(その2)

他量	資源化量
----	------

[illegible]